

国際観光都市機能整備調査事業

報告書

2020年3月

国際観光都市機能整備調査事業共同企業体

代表企業：EY 新日本有限責任監査法人

構成員：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

【 目 次 】

I. 本調査事業の概要	1
II. 国際観光都市に相応しい都市機能の検討	2
1 MICE 機能の概要	2
2 「MICE を核とした国際観光都市」に相応しい都市機能の国内外事例 ...	6
2-1 MICE 施設の事例	6
2-2 国際会議場の事例	27
2-3 展示場の事例	38
2-4 MICE 開催に使用されるホテル（宿泊施設）の事例	50
2-5 国内の MICE 施設で行われている機能面での特徴	56
3 中部国際空港やその周辺エリアにおける潜在市場規模や事業成立の可能性	59
3-1 対象エリア	59
3-2 潜在市場規模	61
III. 空港を起点とした周遊観光の検討	72
1 国内外における周遊観光の拠点となる施設の事例	72
1-1 国内外の事例調査	72
1-2 必要な機能の整理	90
2 来訪者ニーズに対応した観光資源との連携	94
2-1 観光資源の分布状況	94
2-2 モノづくり企業の集積状況	102
2-3 交通機関の状況	103
2-4 外国人旅行者の動向	106
2-5 大規模プロジェクトの動向	111
2-6 観光協会・DMO との連携	112
2-7 ターゲットを見据えた施策展開	115
3 中部国際空港やその周辺エリアで必要な機能	119

IV. 民間事業者等へのヒアリングの実施	121
1 ヒアリング対象	121
2 ヒアリング結果総括	121
V. まとめ	126
1 国際観光都市に相応しい都市機能の検討結果と考察	126
1-1 国内外の参考となる事例の収集	126
1-2 中部国際空港やその周辺エリアに相応しい施設の具体的な種類や 機能、主な施設仕様、運営条件等	129
2 空港を起点とした周遊観光の検討	134
2-1 周遊観光の拠点として必要な機能の整理	134
2-2 立地特性を活かした観光資源との連携	134
3 民間事業者等へのヒアリングの実施	134

I. 本調査事業の概要

(1)事業名

国際観光都市機能整備調査事業

(2)目的

愛知県では、中部国際空港やその周辺エリアにおいて、新たな交流、賑わい、集客の拠点となる「MICEを核とした国際観光都市」の実現を目指し、国際観光都市として相応しい機能整備について調査研究を進めている。

2017年度は、地元学識者による「国際観光都市としての機能整備に関する研究会」を設置して調査研究を行い、2018年度は愛知県及び空港周辺の地域特性や立地条件等の整理、民間事業者からアイデアの聴取などを実施した。

本調査事業では、これまでの調査研究を踏まえ、魅力ある機能整備の具体化に向けたさらなる検討を行った。

(3)事業内容

■国際観光都市に相応しい都市機能の検討

- ・都市機能の国内外事例
- ・中部国際空港やその周辺エリアにおける潜在市場規模や事業性等
- ・中部国際空港やその周辺エリアに相応しい施設の種類や機能等

■空港を起点とした周遊観光の検討

- ・国内外における周遊観光の拠点となる施設の事例
- ・来訪者ニーズに対応した観光資源との連携
- ・中部国際空港やその周辺エリアで必要な機能

■民間事業者等へのヒアリングの実施

(4)契約期間

2019年4月17日から2020年3月31日まで

(5)委託者

愛知県

(6)受託者

国際観光都市機能整備調査事業共同企業体

代表企業：EY 新日本有限責任監査法人
構成員：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

II. 国際観光都市に相応しい都市機能の検討

1 MICE 機能の概要

(1) MICE の定義

MICE とは

- Meeting 企業等の会議
- Incentive 企業等の行う報奨・研修旅行
- Convention 国際機関・団体、学会等が行う国際会議
- Exhibition/Event 展示会・見本市、イベント

の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称である。

図表 II-1 MICE の定義（観光庁による）

MICE（マイス）とは



MICEとは、ミーティング、インセンティブ、コンベンション、エキシビション/イベントを総称した用語。MICEには開催地における高い経済波及効果やビジネス機会、イノベーションの創出等が期待される。
※ インセンティブやコンベンションを含めて広義のミーティングとも一般的に呼称される。
欧米諸国などではMICE全般を指してビジネスミーティング・ビジネスイベントと称する場合も多い。

M

Meeting

主に企業がグループ企業やパートナー企業などを集めて行う企業会議、大会、研修会等の会合（＝コーポレートミーティング）を指す。

例：海外投資家向け金融セミナー、グループ企業の役員会議 等

I

Incentive

企業が従業員やその代理店等の表彰や研修などの目的で実施する旅行のことで、企業報奨・研修旅行と呼ばれる。

例：営業成績の優秀者を集めた旅行 等

C

Convention

いわゆる国際会議であり、学会や産業団体、さらには政府等が開催する大規模な会議を一般的に指す。

例：北海道・洞爺湖サミット、国連防災世界会議、世界水フォーラム、世界牛病学会 等

E

Exhibition
/Event

国際見本市、展示会、博覧会といったエキシビションや、スポーツ・文化イベントなど大小さまざまなものが含まれる広範な概念である。

例：東京国際映画祭、世界陸上競技選手権大会、国際宝飾展、東京モーターショー 等

出典：観光庁資料

(2) MICE がもたらす効果

1) 概説

MICEによる主な効果として、①ビジネス・イノベーションの機会の創造、②地域への経済効果、③国・都市の競争力向上の3つがあげられる。

図表 II-2 MICE の効果

項目	内容
①ビジネス・イノベーションの機会の創造	世界から企業や学会の主要メンバーが我が国に集うことは、我が国の関係者と海外の関係者のネットワークを構築し、新しいビジネスやイノベーションの機会を呼び込むことにつながる。
②地域への経済効果	MICE開催を通じた主催者、参加者、出展者等の消費支出や関連の事業支出は、MICE開催地域を中心に大きな経済波及効果を生み出す。 MICEは会議開催、宿泊、飲食、観光等の経済・消費活動の裾野が広く、また滞在期間が比較的長いと言われており、一般的な観光客以上に周辺地域への経済効果を生み出すことが期待されている。
③国・都市の競争力向上	MICE開催を通じた人や情報の流通、ネットワークの構築、集客力などはビジネスや研究環境の向上につながり、都市の競争力、国の競争力向上につながる。

出典：観光庁資料をもとに作成

2) 経済効果(試算例)

a) 国全体

観光庁によると、2016年の国際MICE全体の総消費額は約5,384億円、経済波及効果は約1兆590億円と推計している。内訳をみると国際会議が占める割合が高いことがわかる。

図表 II-3 国際MICE全体による経済波及効果（催事別）



出典：観光庁 プレスリリース (2018年4月18日)

国際会議の経済波及効果が高い理由として、①出席者が期間中に1都市に滞在することが多い、②支出に主催者分（会場費等）と参加者分があること、③参加者一人あたりの消費額が大きいこと等が指摘されている。

b) 国際会議（伊勢志摩サミット）の試算例

伊勢志摩サミットの開催による経済効果は約5,657億円と算出されており、一度の首脳級会議によって高い経済効果があることがわかる。

図表 II-4 伊勢志摩サミットの開催による経済効果

項目	内訳	試算結果
直接的な経済効果	(県内)	約483億円
	(県外)	約587億円
パブリシティ効果	(国内)	約1,874億円
	(海外)	約1,224億円
ポストサミットの経済効果	(県外観光客数の増加)	約1,485億円
	(国際会議の開催件数の増加)	約4億円
	合計	約5,657億円

出典：三重県HP（2016年9月15日公表）

※ここでのパブリシティ効果とはメディア露出による効果であり、同じ露出効果を得るために必要な広告費に該当する

c) 施設別の試算例

施設別の経済波及効果には、以下がある。

図表 II-5 展示場等施設の経済波及効果

	東京ビッグサイト 2012年	幕張メッセ 2014年度	パシフィコ横浜 2012年度
総消費額	3,028億円	1,536億円	約954億円
直接効果	2,983億円	1,462億円	約937億円
間接効果	4,564億円	2,038億円	約1,129億円
経済波及効果	7,547億円	3,500億円	約2,070億円

出典：観光庁 2017年度MICEの経済波及効果算出等事業報告書（2018年3月）

(3)各国の MICE への取り組み

こうした MICE の高い波及効果もあって、国では「日本再興戦略 - JAPAN is BACK - (2013 年 6 月閣議決定)」で“2030 年にはアジア No.1 の国際会議開催国”という目標を掲げている。

また海外でも戦略的に MICE に取り組んでいる。

図表 II-6 海外（アジア・大洋州地域）の MICE 戦略

都市	戦略的な注力分野	MICE 施設
シンガポール	・金融、バイオメディカル・ヘルスケア、環境・エネルギー等	Suntec Singapore Marina Bay Sands
シドニー (オーストラリア)	・グリーンテクノロジー、ツーリズム、デジタル産業、プロフェッショナルサービス業(会計士、弁護士等)、製造業分野	Sydney Convention and Exhibition Center
ソウル (韓国)	・再生可能エネルギーや鉱物資源、林業、漁業等の自然資源分野	COEX (コンベンション施設) KINTEX (展示施設)

出典：MICE 国際競争力強化委員会(観光庁) MICE 国際競争力強化委員会最終とりまとめ(2013 年 8 月)

2 「MICE を核とした国際観光都市」に相応しい都市機能の国内外事例

「MICE を核とした国際観光都市」に相応しい都市機能について国内外から参考となる事例を調査した。

2-1 MICE 施設の事例

我が国での代表的な MICE 施設を下表にまとめた。

それぞれに特徴があり（我が国最大の展示場面積を有する東京ビッグサイト、アリーナまで併設する幕張メッセ、日本最大級の国際会議場を持つパシフィコ横浜）、概ね敷地面積は 5～27 万 m²、延べ床面積は 13～32 万 m² といった規模を持っている。

図表 II-7 日本の主な MICE 施設の規模

名称	面積	展示場	会議場・会議室	その他
東京ビッグサイト	敷地 265,751 m ² 延床 316,990 m ²	115,420 m ²	大(1,000人) 中小 22 室	ホール
幕張メッセ	敷地 217,151 m ² 延床 164,919 m ²	72,000 m ²	大(1,664人) 中小 21 室	アリーナ (9,000人)
パシフィコ横浜	敷地 51,000 m ² 延床 167,700 m ²	20,000 m ²	大(5,002人) 中小 49 室	会議センター (1,004人)、 多目的スペース (1,312人)
インテックス大阪	敷地 128,986 m ² 延床 132,709 m ²	70,078 m ²	大(400人) 中小 24 室	
神戸コンベンションセンター	神戸国際展示場 敷地 26,807 m ² 延床 36,268 m ² 神戸国際会議場 敷地 6,759 m ² 延床 13,172 m ²	神戸国際展示場 13,600 m ²	神戸国際会議場 大(692人) 中小 21 室	コンベンションホール
西日本総合展示場・北九州国際会議場		7,000 m ² (本館) 8,000 m ² (新館)	北九州国際会議場 メイン (524人、 オブザーバー席 61人) イベント ホール	AIM (アジア太平洋 インポートマート： インキュベート施設 等の複合)
マリンメッセ福岡・福岡国際センター・福岡国際会議場	マリンメッセ福岡 敷地 28,191 m ² 延床 40,631 m ² 福岡国際センター 敷地 17,094 m ² 延床 5,052 m ²	マリンメッセ福岡 9,100 m ² 福岡国際センター 5,052 m ²	マリンメッセ福岡 大 (約 500人) 中小 5 室 福岡国際会議場 大(420人) 中小 12 室	マリンメッセ福岡 アリーナ 8,000 m ² 福岡国際会議場 最大 2,700 m ² 、 3,000人

出典：首相官邸 特定複合観光施設区域整備推進本部事務局

第 2 回特定複合観光施設区域整備推進会議 参考資料、各施設 HP

国内の代表的な MICE 施設は、展示場と会議場が近隣にない都市と、近接している都市とに分けることができる。

また、これら国内の代表的な MICE 施設は商業施設などを母都市に依存する都市型 MICE と呼ぶべき形態が多い。

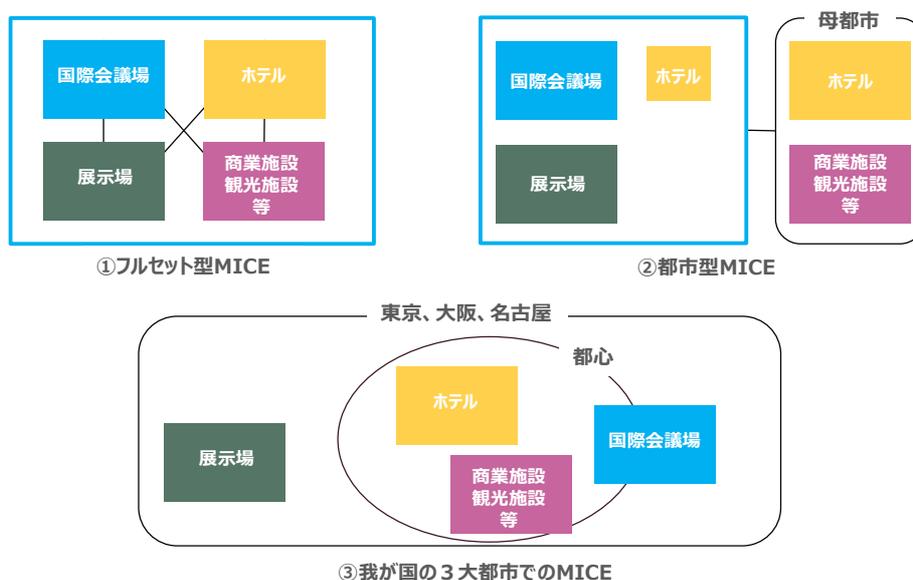
図表 II-8 代表的な展示場・会議場が近隣にない都市

都市名	展示施設	会議場
東京	東京ビッグサイト	東京国際フォーラム
大阪	インテックス大阪	大阪国際会議場
名古屋	ポートメッセなごや (名古屋市国際展示場)	名古屋国際会議場

図表 II-9 代表的な展示場・会議場が近接している都市

都市名	展示施設	会議場	その他
千葉	幕張メッセ (国際展示場)	幕張メッセ (国際会議場)	幕張メッセ (幕張イベントホール)
横浜	パシフィコ横浜	パシフィコ横浜	
神戸	神戸国際展示場	神戸国際会議場	ワールド記念ホール (アリーナ)
北九州	西日本総合展示場	北九州国際会議場	
福岡	マリンメッセ福岡 福岡国際センター	福岡国際会議場	福岡サンパレス(ホテル)

図表 II-10 MICE 形態の整理



図表 II-11 幕張メッセの位置図

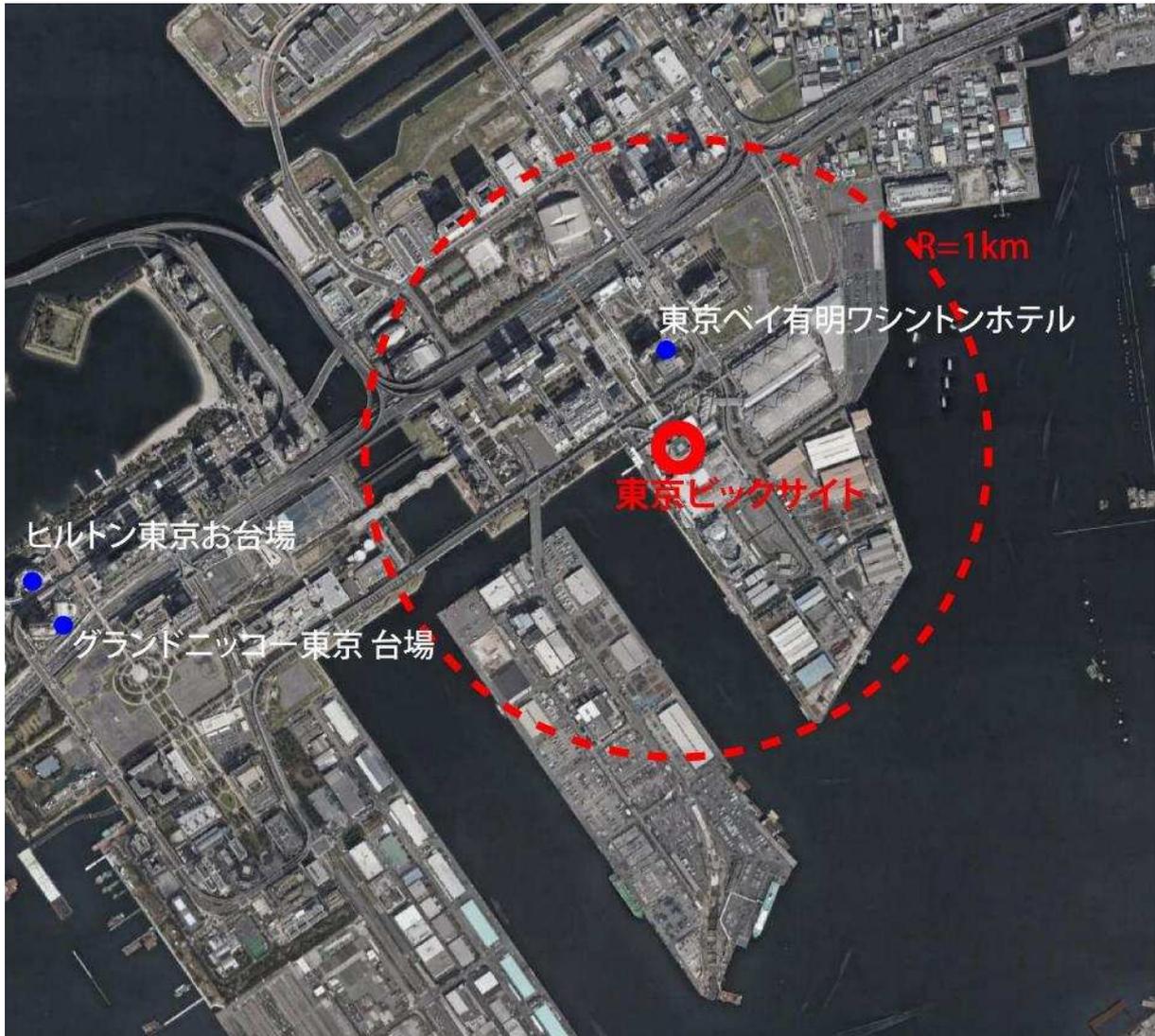


出典：基板地図は Google Earth Pro を利用

敷地面積	217,151 m ²
延床面積	164,919 m ²
展示場	72,000 m ²
会議場	1,390 m ² (最大 1,664 人)
会議室	635 m ² (最大 688 人) / 中小 20 室
ホール等	アリーナ 3,098 m ² (最大 9,000 人)
開業	1989 年
周辺施設	最寄り駅：海浜幕張 (JR 京葉線) ホテル：ホテルニューオータニ幕張、Hotel the Manhattan、 ホテルグリーンタワー幕張、アパホテル&リゾート東京ベイ幕張 その他：イオンモール幕張新都心、マリンスタジアム (野球場)

出典：当該施設ウェブサイトを参考に作成

図表 II-12 東京ビッグサイト周辺の位置図

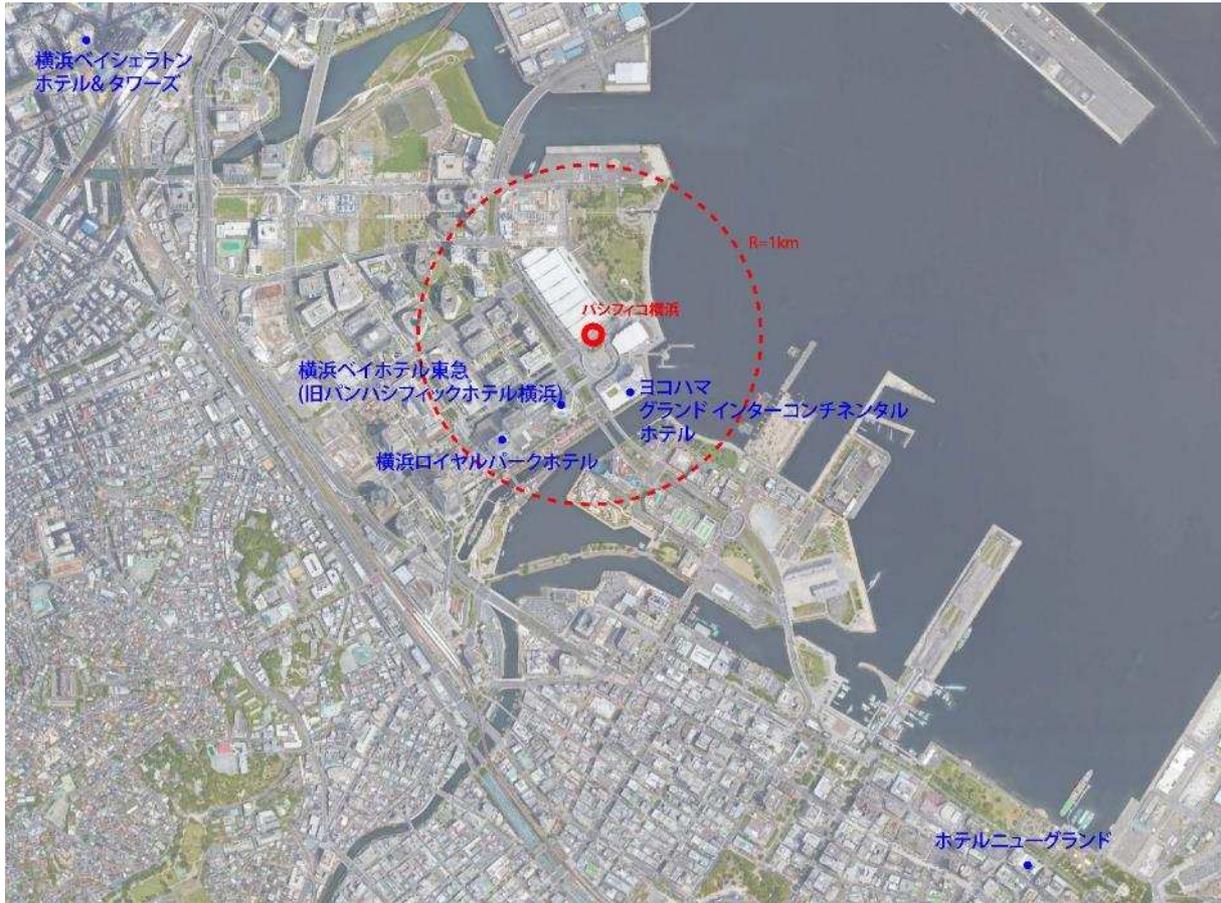


出典：基板地図は Google Earth Pro を利用

敷地面積	265,751 m ²
延床面積	316,990 m ²
展示場	計：115,420 m ² 6 ホール (51,380 m ²)、2 ホール (14,760 m ²)、4 ホール (29,280 m ²)、 4 ホール (20,000 m ²)
会議場	1,030 m ² (1,000 席)
会議室	中小 22 室
ホール等	1,700 m ²
開業	1996 年
周辺施設	最寄り駅：東京ビッグサイト (ゆりかもめ) ホテル：東京ベイ有明ワシントンホテル、ヒルトン東京お台場、 グランドニッコー東京 台場、ダイワロイネット東京有明、 東京都水の科学館、日本科学未来館、アクアシティお台場 など

出典：当該施設ウェブサイトを参考に作成

図表 II-13 パシフィコ横浜周辺の位置図

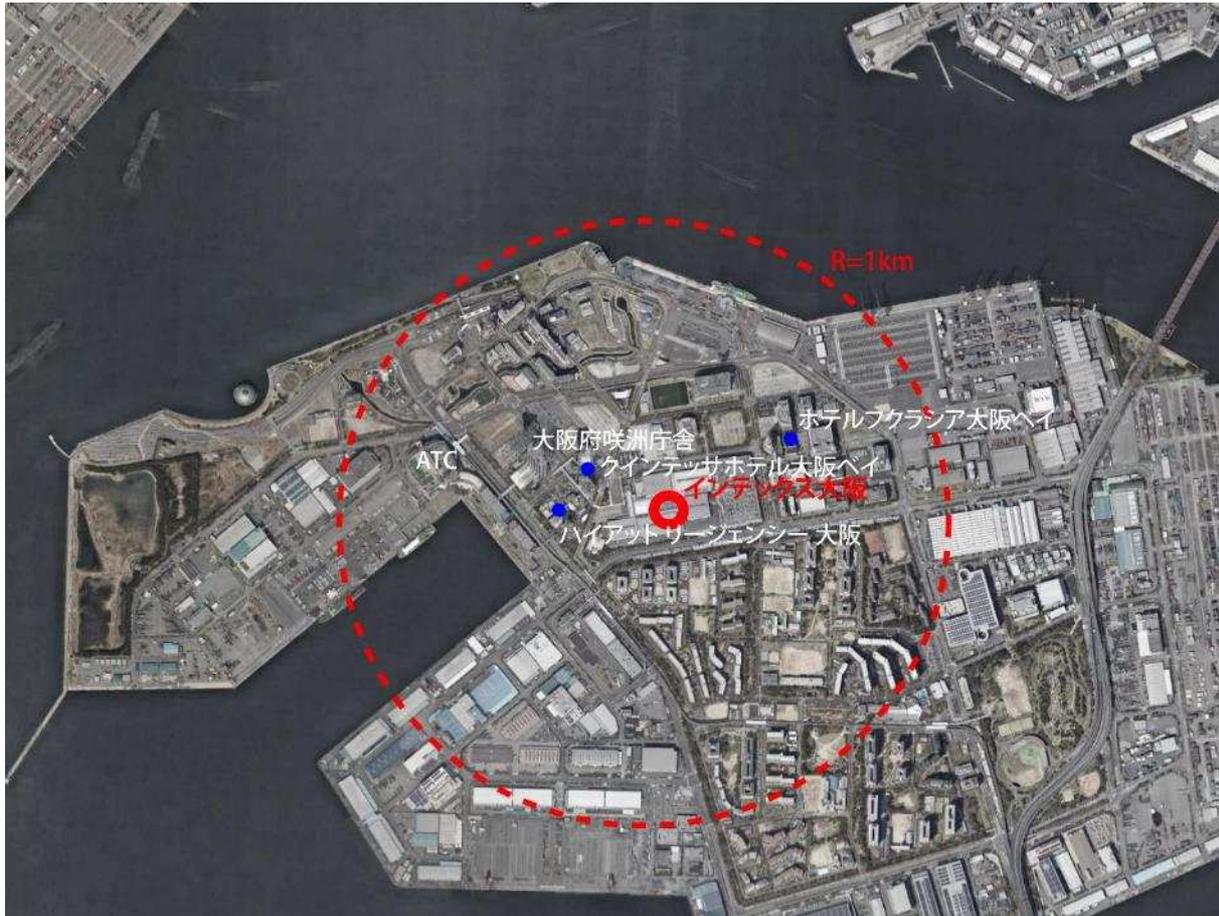


出典：基板地図は Google Earth Pro を利用

敷地面積	51,000 m ²
延床面積	167,700 m ²
展示場	20,000 m ²
会議場	5,002 人
会議室	中小 49 室
ホール等	会議センター 1,323 m ² (最大 1,004 人) 多目的スペース 1,350 m ² (最大 1,312 人)
開業	1991 年
周辺施設	最寄り駅：みなとみらい (横浜高速鉄道みなとみらい線) ホテル：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル、 横浜ベイホテル東急 (旧パンパシフィックホテル横浜)、 横浜ロイヤルパークホテル、ホテルニューグランド、 東京ベイシェラトンホテル&タワーズ その他：MARK IS みなとみらい、横浜ランドマークタワー など

出典：当該施設ウェブサイトを参考に作成

図表 II-14 インテックス大阪周辺の位置図



出典：基板地図は Google Earth Pro を利用

敷地面積	128,986 m ²
延床面積	132,709 m ²
展示場	70,078 m ²
会議場	414 m ² (400 名)
会議室	中小 24 室
ホール等	最大 294 人
開業	1985 年
周辺施設	最寄り駅：中ふ頭（大阪メトロ南港ポートタウン線） ホテル：ハイアットリージェンシー大阪、クインテッサホテル大阪ベイ、 ホテルフクラシア大阪ベイ その他：ATC（アジア太平洋トレードセンター）、 大阪府咲洲庁舎（旧 WTC）

出典：当該施設ウェブサイトを参考に作成

図表 II-15 神戸コンベンションセンター周辺の位置図

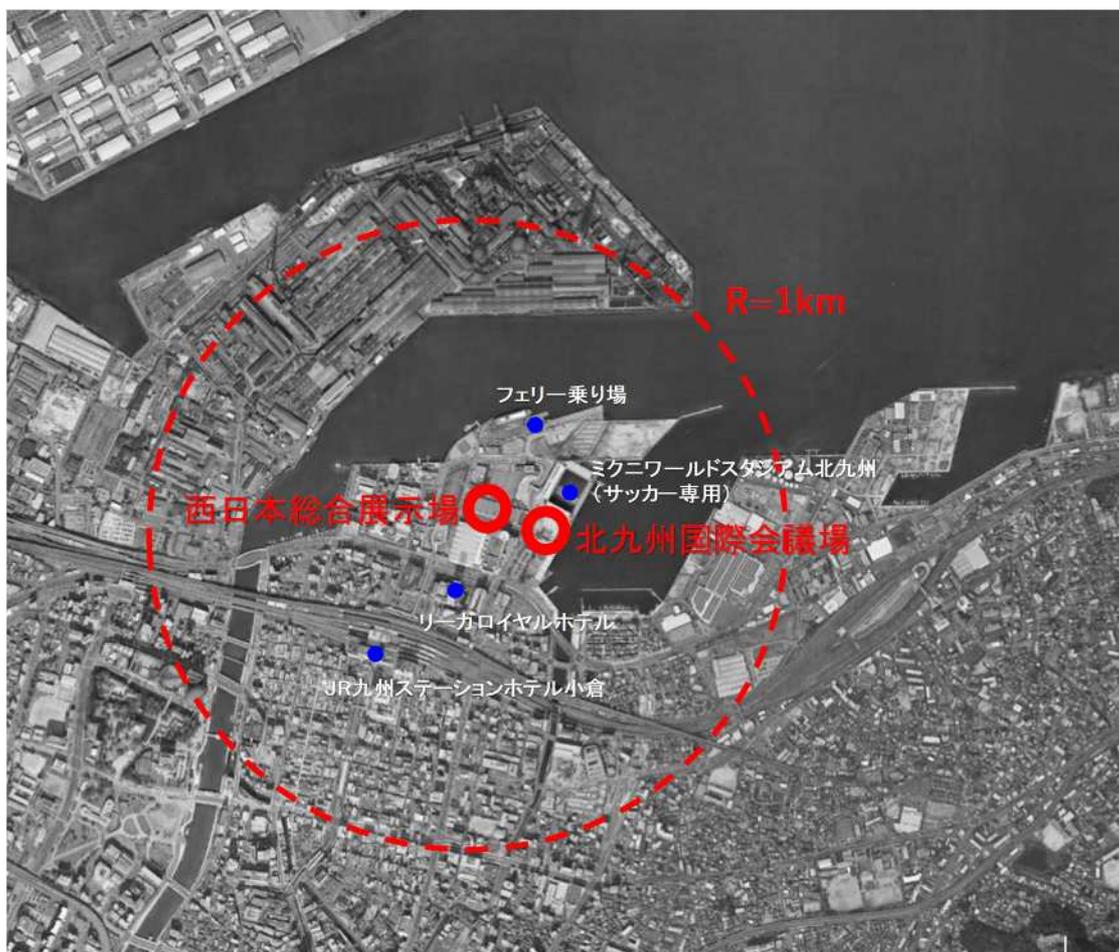


出典：基板地図は Google Earth Pro を利用

敷地面積	神戸国際展示場 26,807 m ² 、神戸国際会議場 6,759 m ²
延床面積	神戸国際展示場 36,268 m ² 、神戸国際会議場 13,172 m ²
展示場	13,600 m ²
会議場	575 m ² (692 人)
会議室	中小 21 室、(神戸国際展示場：会議室 6 室、パントリー 4 室)
ホール等	コンベンションホール (最大 4,000 人)
開業	1981 年
周辺施設	最寄り駅：市民広場 (神戸新交通ポートアイランド線：ポートライナー) ホテル：神戸ポートピアホテル、 アリソンホテル神戸 (旧クオリティホテル神戸)、 ホテルパールシティ神戸 ワールド記念ホール (アリーナ)

出典：当該施設ウェブサイトを参考に作成

図表 II-16 西日本総合展示場・北九州国際会議場周辺の位置図

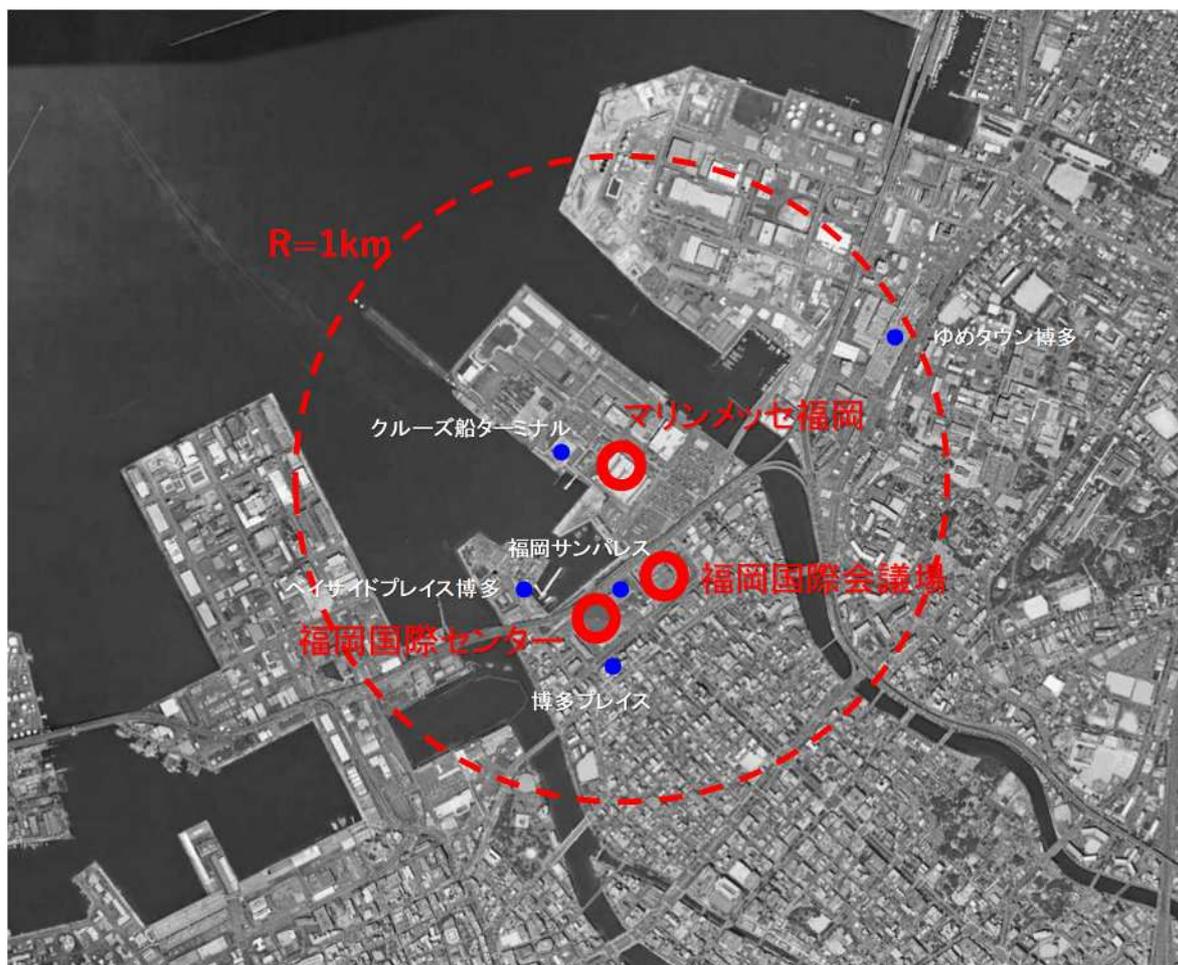


出典：基板地図は Google Earth Pro を利用

展示場	西日本総合展示場（本館）7,000 m ² 西日本総合展示場（新館）8,000 m ² AIM（アジア太平洋インポートマート） 1,376 m ²
会議場	北九州国際会議場 45～216 m ² メインホール（791 m ² ：客席 524 人、オブザーバー席 61 人） イベントホール 530 m ² 、国際会議室（216 m ² ）、中小 45 室
会議室	西日本総合展示場（本館）4 室 48～56 m ² 西日本総合展示場（新館）5 室 52～88 m ² AIM 5 室 87～146 m ² 北九州国際会議場 大中小 6 室
ホール等	北九州国際会議場 530～791 m ² （585 人）
開業	西日本総合展示場：1977 年、北九州国際会議場：1990 年
周辺施設	最寄り駅：小倉（JR） ホテル：リーガロイヤルホテル、JR 九州ステーションホテル小倉 その他：フェリー乗り場、 ミクニワールドスタジアム北九州（サッカー専用）

出典：当該施設ウェブサイトを参考に作成

図表 II-17 マリンメッセ福岡・福岡国際センター・福岡国際会議場周辺の位置図



出典：基板地図は Google Earth Pro を利用

展示場	マリンメッセ福岡 9,100 m ² (最大収容人数約 15,000 人) 福岡国際センター 5,052 m ² (最大収容人数約 10,000 人)
会議場	福岡マリンメッセ 約 500 人 福岡国際会議場 420 m ² (最大 420 人)
会議室	福岡マリンメッセ 大小 6 室 福岡国際会議場 大小 13 室
ホール等	マリンメッセ福岡 アリーナ 8,000 m ² 、約 12,000 人 福岡国際会議場 ホール 最大 2,700 m ² (3,000 人)
開業	マリンメッセ福岡：1995 年 福岡国際センター：1981 年 福岡国際会議場：2003 年
周辺施設	最寄り駅：呉服町 (地下鉄箱崎線) ホテル：福岡サンパレス、博多プレイス その他：ベイサイドプレイス博多、ゆめタウン博多、クルーズ船ターミナル

出典：当該施設ウェブサイトを参考に作成

海外の MICE 施設は、国際会議場・展示場が大きく、敷地内（あるいは近隣）にアフターコンベンション（飲食店や物販店などの商業施設やホテル、水族館など）を有している点が国内の MICE 施設との違いである。

図表 II-18 海外の主な MICE・コンベンションセンター等

名称	展示場	会議場・会議室	その他
Orange County Convention Center (アメリカ)	約 19 万 m ²	約 6,000 人	テーマパーク ICON Park/ Sea World Orlando ホテル
Georgia World Convention Center (アメリカ)	約 14 万 m ²	約 4,500 人	ジョージア水族館 メルセデスベンツスタジアム ホテル
George R Brown Convention Center (アメリカ)	約 7 万 m ²	約 3,150 人	トヨタセンター(アリーナ) ミニッツメイドパーク(野球スタジアム) BBVA スタジアム ホテル
Fira Gran Via (スペイン)	約 19 万 m ²	約 5,600 人	Gran Via 2(ショッピングモール) スペイン村(博物館・美術館) オリンピックスタジアム ホテル
Paris Nord Villepinte (フランス)	約 24 万 m ²	ホール(9 ホール)、カンファレンスセンター(2 室)、会議室(2 室)	ホテル レストラン
EUREXPO Lyon (フランス)	約 14 万 m ²	最大 4,200 人(ホール)、会議室 26 室(50~600 人)	7 レストラン
SÃO PAULO EXPO (ブラジル)	約 9 万 m ²	34 室	植物園
Rio Centro (ブラジル)	約 9 万 m ²	大(10,000 人) 28 室	ホテル(5 つ星、306 室、6 イベントルーム)
Singapore EXPO (シンガポール)	約 10 万 m ²	8,000 人 32 室	ホテル/ショッピングモール/レストラン
Asia World Expo (香港)	約 7 万 m ²	5,000 人	レストラン/ホテル/テーマパーク/ ショッピングモール

出典：各種ウェブサイトより作成

図表 II-19 Orange County Convention Center (アメリカ)の周辺位置図

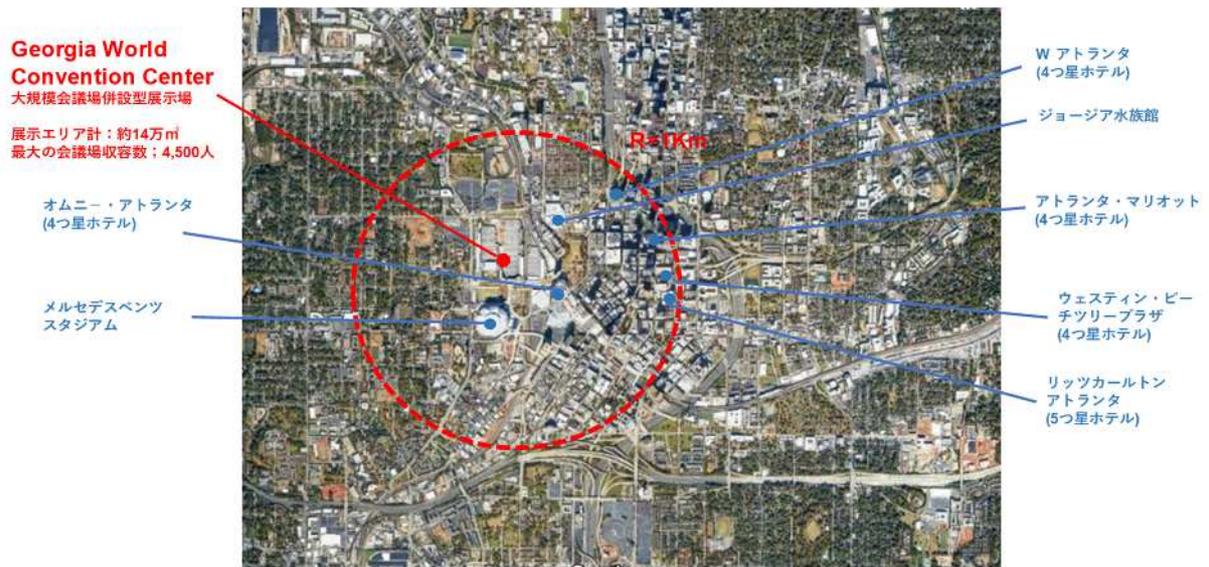


出典：基板地図は Google Earth Pro を利用

展示場	約 19 万㎡
会議場	約 6,000 人
周辺施設	ホテル：Rosen Plaza、Renaissance Orlando、Vista Cay by Millennium Hilton Orlando、Rosen Centre その他：ICON Park (テーマパーク)、 Sea World Orlando (テーマパーク)

出典：当該施設ウェブサイトを参考に作成

図表 II-20 Georgia World Convention Center (アメリカ)の周辺位置図

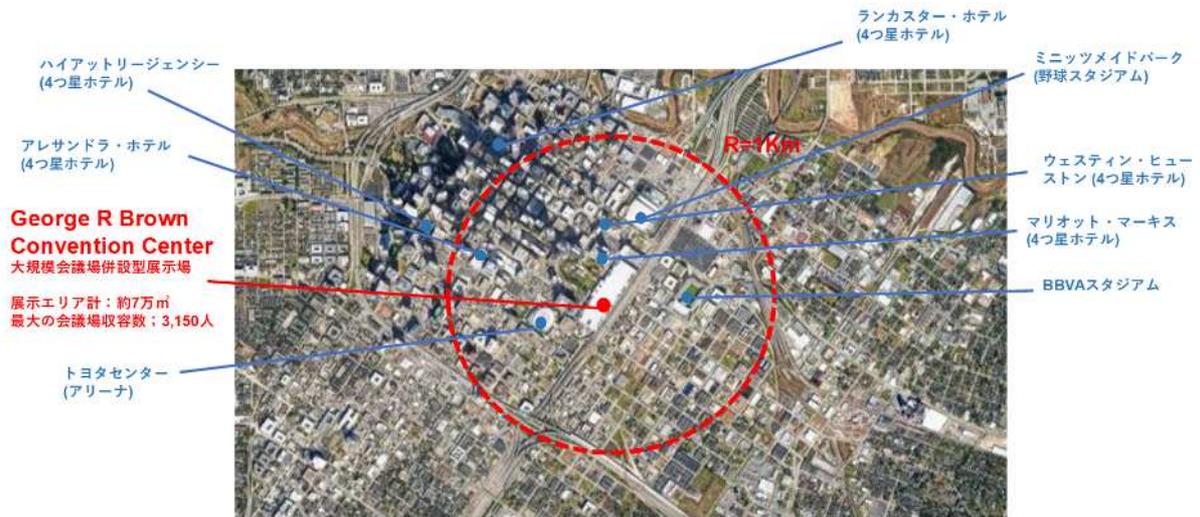


出典：基板地図は Google Earth Pro を利用

展示場	約 14 万㎡
会議場	約 4,500 人
周辺施設	ホテル：オムニーアトランタ、Wアトランタ、アトランタ・マリオット ウェスティン・ビーチツリープラザ、 リッツカールトン・アトランタ その他：メルセデスベンツスタジアム、ジョージア水族館

出典：当該施設ウェブサイトを参考に作成

図表 II-21 George R Brown Convention Center (アメリカ)の周辺位置図



出典：基板地図は Google Earth Pro を利用

展示場	約 7 万㎡
会議場	約 3,150 人
周辺施設	ホテル：ハイアットリージェンシー、アレサンドラ・ホテル、ウェスティン・ヒューストン、マリオット・マーキス、 その他：トヨタセンター（アリーナ）、ミニッツメイドパーク（野球スタジアム）、BBVA スタジアム

出典：当該施設ウェブサイトを参考に作成

図表 II-22 Fira Gran Via(スペイン)の周辺位置図

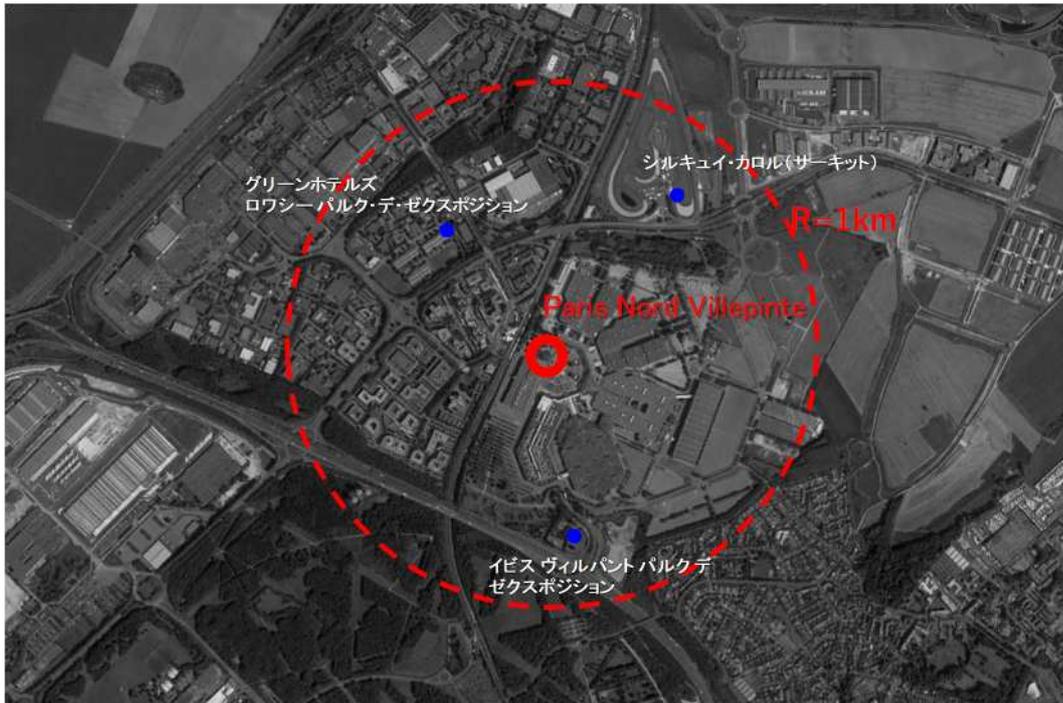


出典：基板地図は Google Earth Pro を利用

展示場	約 19 万㎡
会議場	約 5,600 人
周辺施設	ホテル：ルネッサンスバルセロナ、Hotel Porta Fina、Euro Hotel Gran Via、Hotel Fina Congress、AC Hotel Marriott Som、Hotel SB Plaza Europa その他：スペイン村（博物館・美術館）、オリンピックスタジアム、

出典：当該施設ウェブサイトを参考に作成

図表 II-23 Paris Nord Villepinte (フランス) の周辺位置図

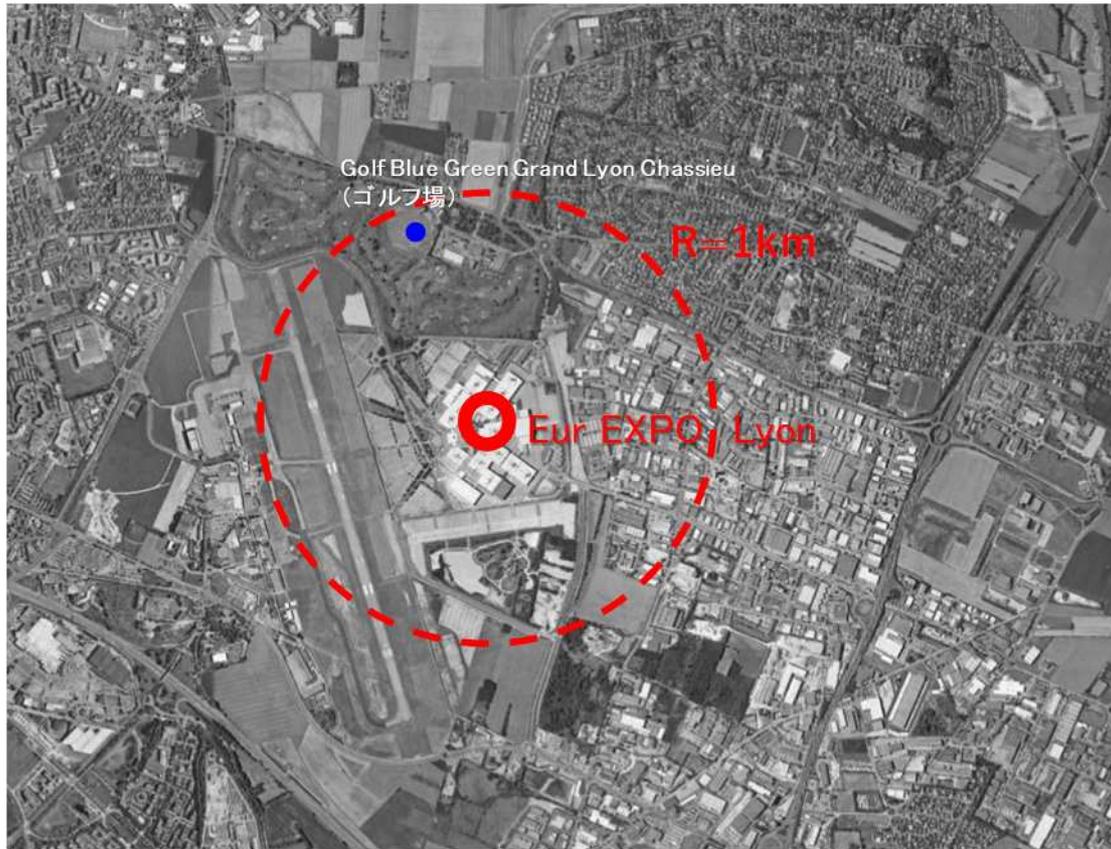


出典：基板地図は Google Earth Pro を利用

延床面積	約 24 万 m ²
会議場	カンファレンスセンター(2 室)、会議室(2 室)
ホール等	ホール(9 ホール)
周辺施設	ホテル: グリーンホテルズ ロワシー パルク・デ・ゼクスポジション、 イビス ヴィルパント パルク デ ゼクスポジション その他: シルクイ・カロール (サーキット)、 Aéroville (ショッピングモール)

出典：当該施設ウェブサイトを参考に作成

図表 II-24 EUREXPO Lyon（フランス）の周辺位置図



出典：基板地図は Google Earth Pro を利用

展示場	約 14 万㎡
会議場	最大 4,200 人（ホール）、会議室 26 室（50～600 人）
周辺施設	ホテル：－ その他：Golf Blue Green Grand Lyon Chassieu（ゴルフ場）

出典：当該施設ウェブサイトを参考に作成

図表 II-25 sao paulo expo (ブラジル) の周辺位置図

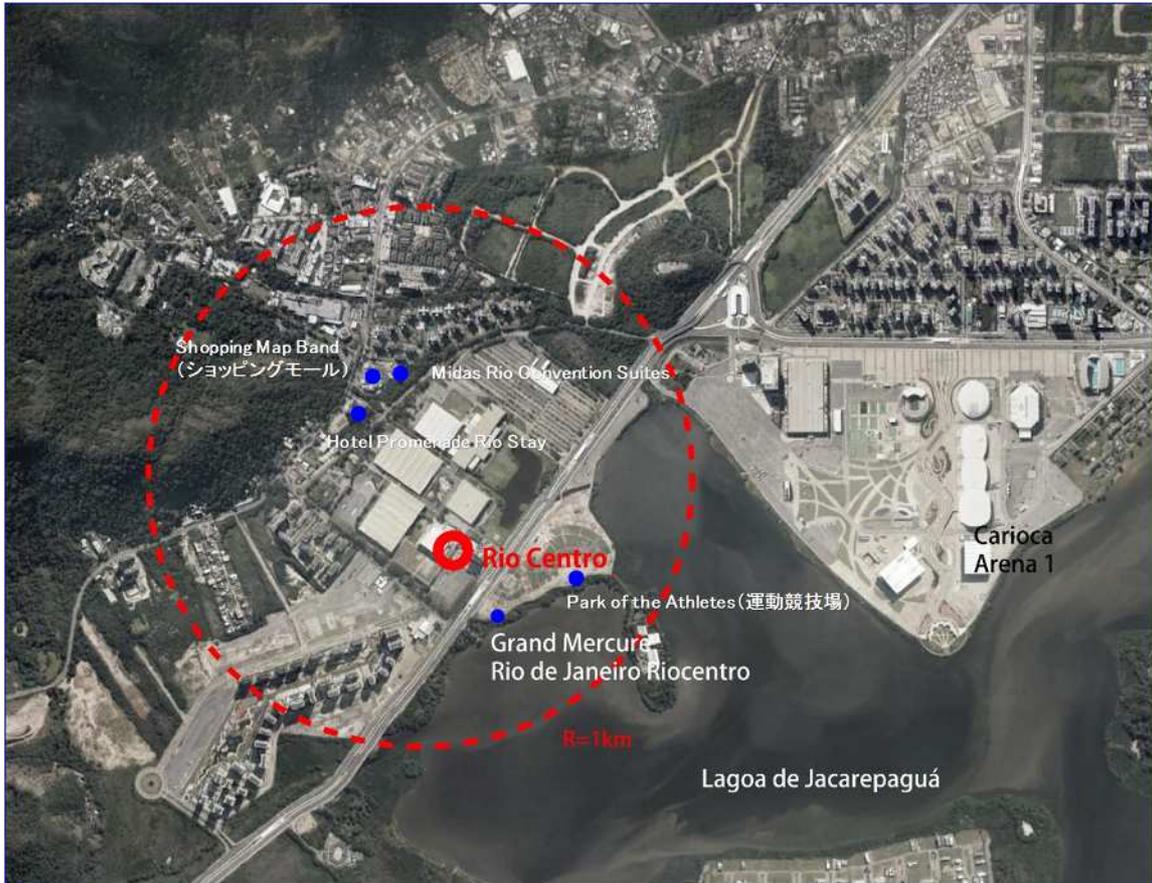


出典：基板地図は Google Earth Pro を利用

展示場	約 9 万 m ²
会議室	34 室
周辺施設	ホテル：－ その他：ボタニコ・デ・サン・パウロ庭園 (植物園)

出典：当該施設ウェブサイトを参考に作成

図表 II-26 Rio Centro (ブラジル) の周辺位置図



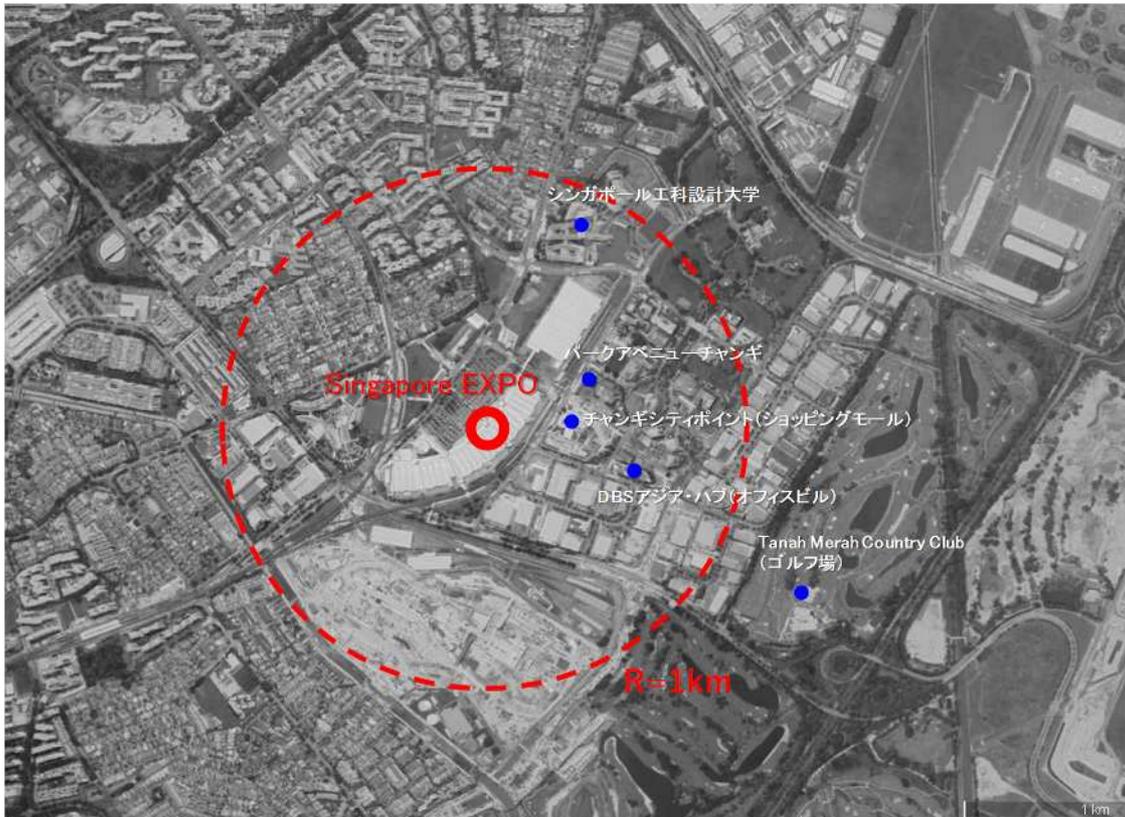
出典：基板地図は Google Earth Pro を利用

展示場	約 9 万 m ²
会議場	大(10,000 人)、会議室 (28 室)
周辺施設	ホテル：Midas Rio Convention Suites、Hotel Promenade Rio Stay その他：Park of the Athletes (運動競技場)、 Shopping Map Band (ショッピングモール)



※左から時計回りに展示場 4、駐車場、池、会議場、ホテルが並ぶ
出典：当該施設ウェブサイト

図表 II-27 Singapore EXPO(シンガポール)の周辺位置図

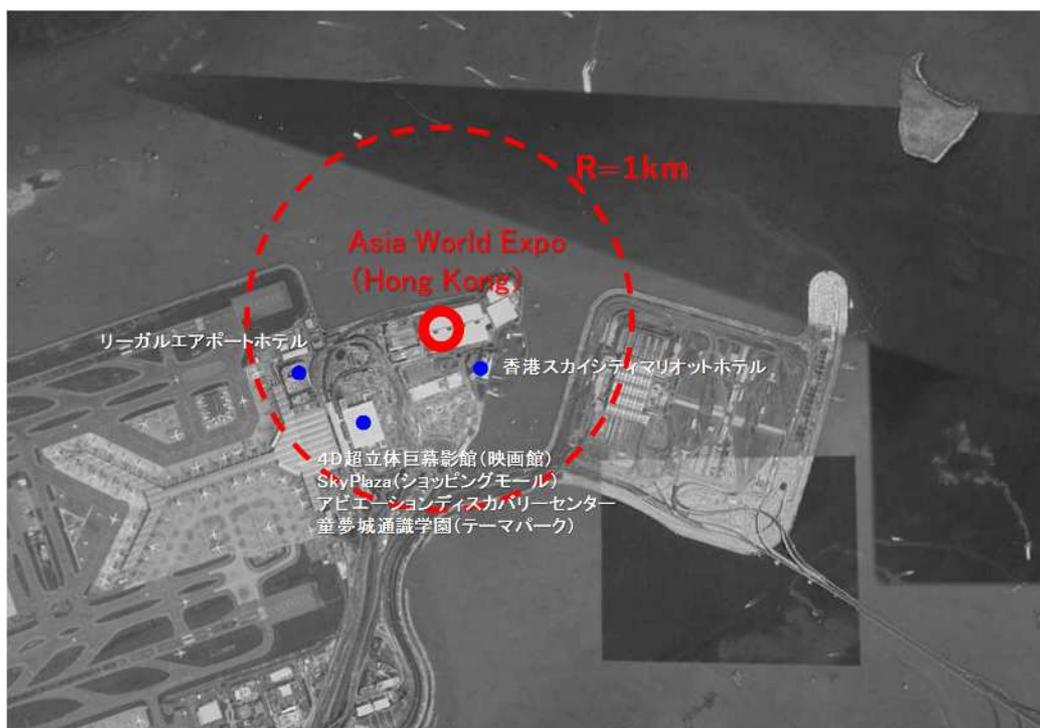


出典：基板地図は Google Earth Pro を利用

展示場	約 10 万 m ² 展示場ホール (10 室)
会議室	8,000 人 会議室 (32 室) (総面積 3,000 m ²)
周辺施設	ホテル：パークアベニューチャンギ その他：DBS アジア・ハブ (オフィスビル)、 チャンギシティポイント (ショッピングモール)、 Tanah Merah Country Club (ゴルフ場)、 シンガポール工科設計大学、

出典：当該施設ウェブサイトを参考に作成

図表 II-28 Asia World Expo (香港) の周辺位置図



出典：基板地図は Google Earth Pro を利用

延床面積	約 7 万㎡
会議場	5,000 人
ホール等	ホール(11 室)、ミーティングルーム
周辺施設	ホテル：香港スカイシティマリオットホテル、 リーガルエアポートホテル その他：4D 超立体巨幕影館（映画館）、 SkyPlaza（ショッピングモール）、 アビエーションディスカバリーセンター、 童夢城通識学園（テーマパーク）



フロアマップ

出典：当該施設ウェブサイト

図表 II-29 空港隣接型の集客施設

施設名	空港からのアクセス	施設規模	用途	付帯施設
アジア・ワールド・エキスポ (香港) 2005年開業	香港国際空港から 鉄道で5分	延床面積：70,000 m ² 駐車場：1,000台 ホール(11室)、ミーティングルーム	展示会、 国際会議、 イベント、 コンサート 等	レストラン、 ホテル 等
シンガポール・エキスポ (シンガポール) 1999年開業	チャンギ国際空港 から 鉄道で5分	① SINGAPORE EXPO 展示場ホール(10 室) ② Max Atria 会議室(32室)(総面 積3,000 m ²)	展示会、 国際会議、 コンサート 等	ホテル、 ショッピング モール、 レストラン 等
パリ・ノール見本市会場 (フランス)	シャルルドゴール 空港から 鉄道で5分	延床面積：242,000 m ² ホール(9室)、カン ファレンスセンター (2室)、会議室(2室)	コンサ ート、展示会、 国際会議 等	レストラン 等
パラダイスシティ (韓国) 2017年開業 2018年第1期完成	仁川空港から リニアモルトルで5分	敷地面積：330,000 m ² ホテル(地下2階、地 上10階)、カジノ、 コンベンションホー ル(大宴会場、中宴会 場(2室)、会議室(5 室)) 2018年予定：商業施 設、文化施設、プレ ミアムスパ、クラブ、 エンターテインメン ト施設、デザイナー ズホテル	宿泊、 レジャー、 カジノ、 コンベンシ ョン、 ウエディン グ、プライ ベートパー ティー	ホテル、 レストラン

出典：各種ウェブサイトをもとに作成

2-2 国際会議場の事例

(1) 国際会議の定義等

「国際会議（国際コンベンション）」の定義として以下がある。

図表 II-30 国際会議の定義

	JNTO コンベンション統計	ICCA 統計	UIA 統計
主催者	国際機関・国際団体（各国支部を含む）または国家機関・国内団体（民間企業以外）	3 カ国以上をローテーションする国際機関	①国際機関・国際団体の本部が主催または後援した会議 ②UIA により主催者が国際機関・国際団体でないと判断した会議
総参加者数	50 人以上	50 人以上	①50 人以上 ②300 人以上かつ主催国以外の参加者が全参加者数の 40%以上
参加国	日本を含む 3 カ国以上	—	① 3 カ国以上 ② 5 カ国以上
開催期間	1 日以上	定期的に行われる	① 1 日以上 ② 3 日以上

出典：観光庁 国際会議誘致ガイドブック 第2版（2014年3月）

国際会議を主催者に着目すると大きく二通りある。

図表 II-31 国際会議の内容

主催者		内容
Public	官公庁	・政治・経済等、政府間の調整を行うもの。 ・政府が取り組む重要事項についての協議等（サミット、APEC 首脳会議）
	国際機関	・加盟国・団体の協議、調整会議 ・年次総会（国連防災、COP3、ITU 全権委員会会議）
Association	学会	・年次総会等、定期的に行われる。 ・世界大会、アジア等の地域別会議（学術集会や研究発表会）
	業界団体	業界団体の年次総会やテーマごとの発表会

出典：観光庁 国際会議誘致ガイドブック 第2版（2014年3月）

国際会議の規模として観光庁の定義として以下がある。

図表 II-32 国際会議の規模

規模	目安となる参加者数	会議例
小規模	200 人まで	国際機関の理事会や委員会、学術会議など
中規模	200 人超 ～ 1,000 人	各種の学術会議、団体総会
大規模	1,000 人超 ～ 3,000 人	大型学会、大会等
超大型	3,000 人超	大型学会、業界団体・経営者団体の大会等

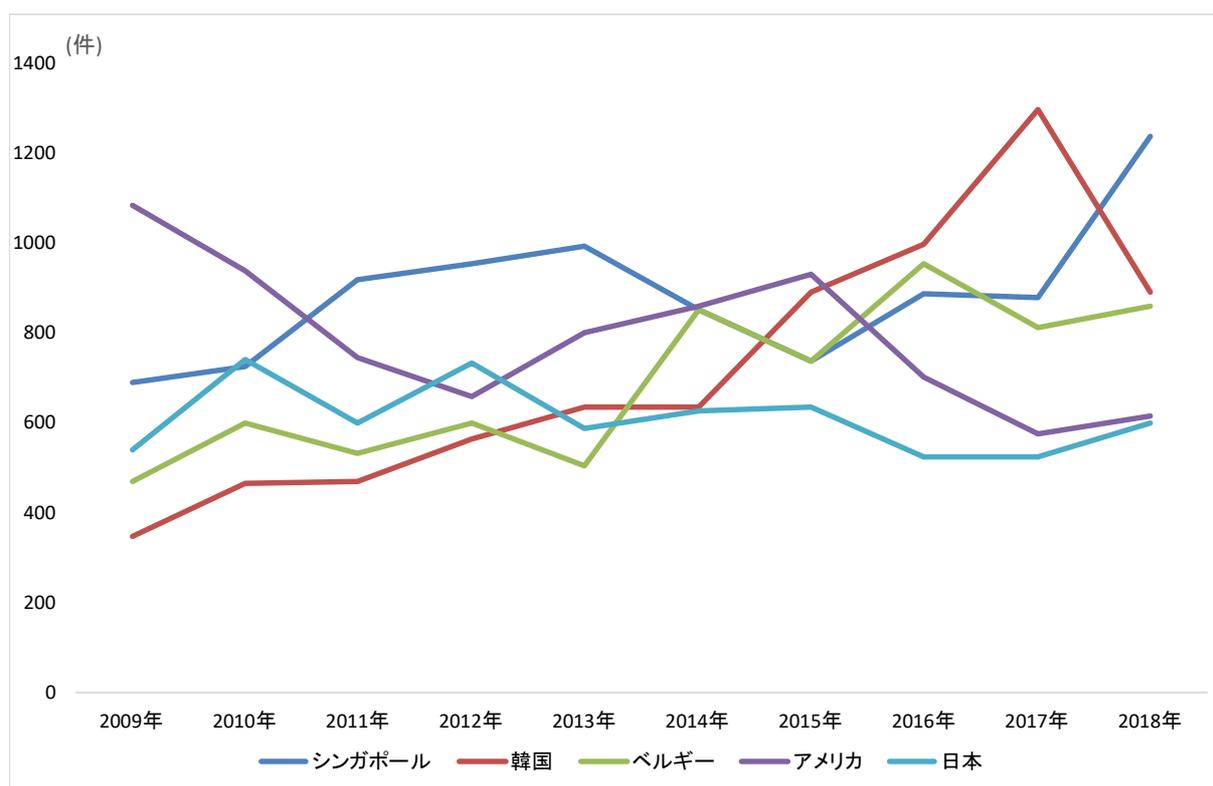
出典：観光庁 国際会議誘致ガイドブック 第2版（014年3月）

(2)国際会議の開催状況

1)主要国の状況

シンガポール、韓国、ベルギー、アメリカに次いで日本は世界で5位（2018年）となっている。

図表 II-33 国際会議の開催件数の推移（直近トップ5カ国）

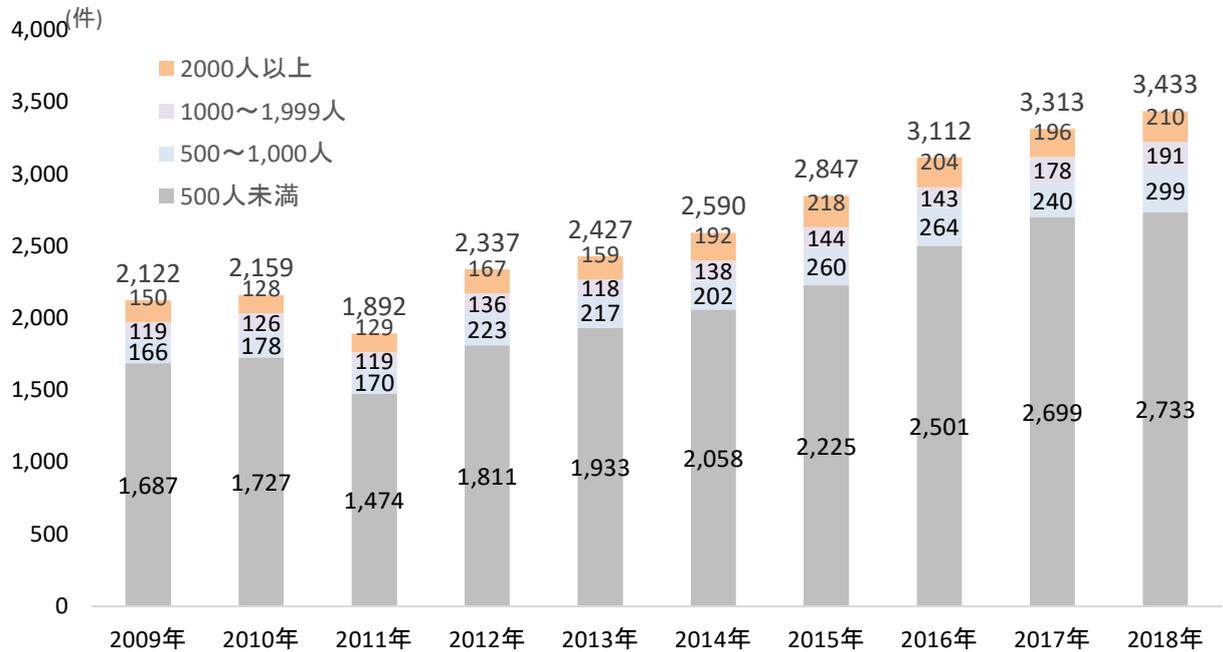


出典：日本政府観光局(JNTO) 2018年国際会議統計

2)国内の国際会議開催の概況

日本では 参加者数 500 人未満の会議が多く、2,000 人以上の会議は、ここ数年は 200 件前後で推移している。

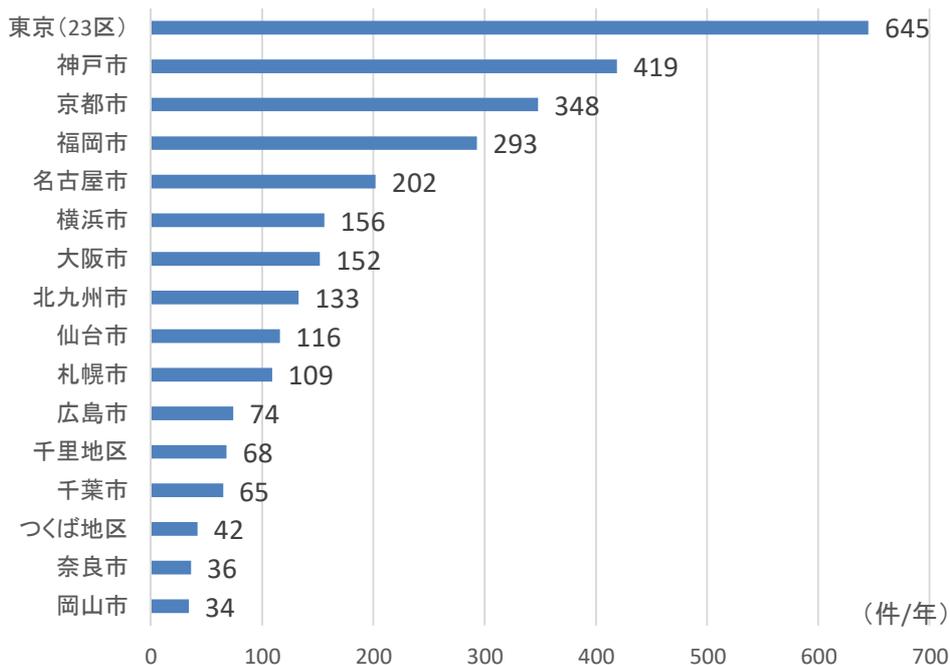
図表 II-34 規模別推移（国内・国際会議開催件数、2009～2018 年）



出典：日本政府観光局(JNTO) 2018年国際会議統計

国内の都市では東京、神戸が多く、京都、福岡、名古屋、横浜と続いている。

図表 II-35 国内の都市別 国際会議開催件数（2018 年）



出典：日本政府観光局(JNTO) 2018年国際会議統計

開催場所別では神戸大学が最も多く（180件、2018年）、次いで京都大学、九州大学と続くが、1件あたりの平均参加者数はいずれも200人未満と小規模なものとなっている。

下表は大学等を除いた施設別の開催実績を1件あたりの平均参加者数の上位から並べたものである。東京、神戸、大阪、横浜などでは1件あたりの平均参加者数は2,000人～3,500人程度となっている。

図表 II-36 国際会議開催件数（施設別・平均参加者総数順）

会場名	開催件数	参加者 総数	外国人 参加者数	平均参加者 (1件あたり)
東京国際フォーラム	20	69,017	4,711	3,451
神戸国際会議場	39	133,956	6,257	3,435
大阪府立国際会議場	49	124,841	3,121	2,548
福岡国際会議場	29	62,967	3,102	2,171
国立京都国際会館	41	83,575	16,410	2,038
パシフィコ横浜	104	201,512	13,307	1,938
名古屋国際会議場	19	31,638	1,841	1,665
仙台国際センター	29	44,668	3,243	1,540
コングレコンベンションセンター (うめきた)	16	19,863	478	1,241
岡山コンベンションセンター	17	17,735	637	1,043
札幌コンベンションセンター	20	17,502	2,314	875
北九州国際会議場	45	28,499	4,726	633
広島国際会議場	24	14,576	2,644	607
Fukuoka Growth Next	13	7,057	238	543
つくば国際会議場	31	15,939	2,803	514
ウイंकあいち	17	6,612	383	389
富山国際会議場	13	4,230	1,427	325
日本科学未来館	13	3,945	603	303
千里ライフサイエンスセンター	11	2,825	368	257
アクロス福岡	21	4,760	1,050	227
【以下、参考】				
神戸大学	180	20,976	2,190	117
京都大学	150	19,657	3,838	131
九州大学	114	19,808	3,111	174

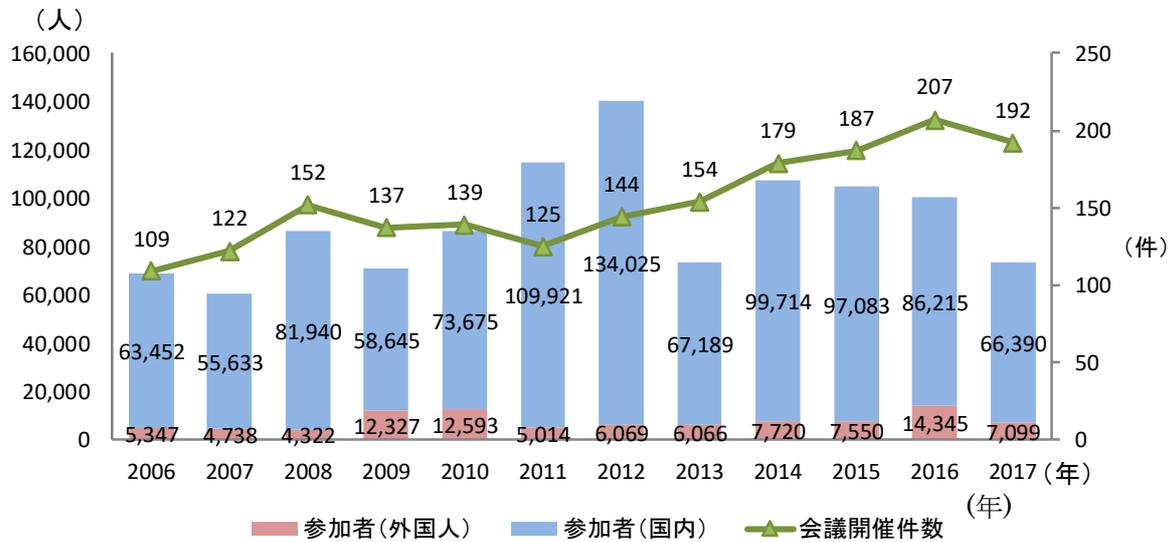
※主要な国際会議場。ホテル、大学、展示場は除く。なお、開催件数が上位3位である神戸大学、京都大学、九州大学は参考として記載。

出典：日本政府観光局(JNTO) 2018年国際会議統計

3)愛知県内の国際会議開催の概況

愛知県では国際会議の開催件数は増加傾向にある。

表 II-37 国際会議開催件数および参加者数（愛知県）



出典：JNTO 資料より作成

(3)国際会議の開催例

1)国内

参加人数は 5,000～10,000 人、参加国は 50～180 カ国で、期間は 3 日以上となる。

図表 II-38 国内で開催された国際会議の例

会議名称	主催	開催期間	場所	参加国	参加者
第7回アフリカ開発会議 (TICAD7)	日本政府、 国連、国連開発計画 (UNDP)、世界銀行及びアフリカ連合委員会 (AUC)	2019 年 8 月 28 日～30 日	パシフィコ横浜	アフリカ 53 カ国・日本 (42 名の首脳級が出席) 108 の国際機関他	10,000 名以上
第67国際通貨基金・世界銀行グループ年次総会 2012	国際通貨基金 (IMF)、世界銀行グループ	2012 年 10 月 12 日～14 日	東京国際フォーラム、帝国ホテル	180 カ国以上	11,600 名
生物多様性条約第10回締約国会議 (COP10)	生物多様性条約事務局、環境省、農水省、外務省他	2010 年 10 月 18 日～29 日	名古屋国際会議場	179 カ国	13,000 名
伊勢志摩サミット (G7 先進国首脳会議)	—	2016 年 5 月 26 日、27 日	志摩観光ホテル他	—	—
G20 大阪サミット	—	2019 年 6 月 28 日、29 日	インテックス大阪	20 カ国 (+招待国 8、国際機関 9)	—

出典：観光庁 国際会議誘致ガイドブック 第2版 (2014年3月)
各種ウェブサイトをもとに作成

図表 II-39 APEC 横浜の概要

会議名称	2010 年日本 APEC 横浜	
開催期間	2010 年 11 月 7 日～14 日	
場 所	パシフィコ横浜	
参加者	主要参加者： 約 10,600 名 政府関係の会議参加者 約 4,600 名 (21 の国・地域代表団、オブザーバー機関等) 経済界の会議参加者 約 1,700 名 メディア関係者 約 4,300 名	
同時開催	ABAC (APEC ビジネス諮問委員会) 会議	各国・地域の ABAC 委員、スタッフ 260 名が参加
	中小企業サミット	APEC メンバーにインド、フランスなど 25 の国・地域の閣僚や企業経営者ら約 600 名が参加
	CEO サミット	21 の国・地域から経済界の代表ら 900 名以上が参加 (14 のセッション)

出典：横浜市 2010 年日本 APEC 横浜開催の記録

2)愛知県内の国際会議開催の概況

参加者総数が1,000人以上の大型の国際会議は、ニューキャッスル・アライアンス会議（新城市）以外は全て名古屋市内で開催されていた。

図表 II-40 愛知県で開催された大型の国際会議（2018年）

会議名	会場	期間	参加者			
			総数	国内	外国人	国数
日本総合健診医学会 第46回大会	ウインクあいち	1/26～1/27	1,500	1,497	3	4
第67回 高分子学会年次大会	名古屋国際会議場	5/22～5/25	3,500	3,450	50	9
第21回日本臨床救急医学会 総会・学術集会	名古屋国際会議場	5/31～6/2	3,313	3,300	13	5
第59回日本心身医学会	名古屋国際会議場	6/8～6/9	1,000	992	8	9
第58回日本臨床化学会年次 学術集会	名古屋国際会議場	8/24～8/26	1,000	995	5	3
第1回名古屋オートモーティ ブワールドセミナー	ポートメッセ なごや	9/5～9/7	8,450	8,357	93	11
第52回日本作業療法学会	名古屋国際会議場	9/6～9/9	6,000	5,997	3	3
空気・調和衛生工学会大会	大同大学	9/12～9/10	1,400	1,350	50	6
第79回応用物理学会秋季 学術講演会	名古屋国際会議場	9/18～9/21	6,237	6,037	200	20
ニューキャッスル・ アライアンス会議	新城市役所、 新城市文化会館、 愛知県民の森	10/3～10/9	2,120	2,000	120	13
第68回 日本泌尿器科学会中部総会	名古屋国際会議場	10/3～10/7	1,000	998	2	3
自動車技術会 2018年秋季大会	名古屋国際会議場	10/17～10/19	3,000	2,970	30	5
第34回 日本義肢装具学会学術大会	名古屋国際会議場	11/9～11/11	1,800	1,795	5	5

※参加国には日本を含む。参加者総数が1,000人以上のものを抜粋。

出典：日本政府観光局(JNTO) 2018年国際会議統計

(4)国際会議場施設の事例

国内の主な国際会議場を下表に抽出した。会議室の最大人数（大会議室）の概ね2倍が当該施設の全体の定員となっている。

図表 II-41 我が国の主な国際会議場施設の概要

	施設名	会議室の最大定員	施設全体の定員
1	東京国際フォーラム	5,012	10,642
2	パシフィコ横浜 ※1	5,002	11,276
3	シーガイアコンベンションセンター	3,300	5,959
4	名古屋国際会議場	3,012	9,868
5	福岡国際会議場	3,000	5,047
6	大阪府立国際会議場	2,754	8,578
7	大宮ソニックシティ	2,505	5,023
8	札幌コンベンションセンター	2,500	5,637
9	国立京都国際会館 ※2	1,840 (4,684)	11,754
10	長良川国際会議場	1,689	2,412

※1 2021年拡張予定

※2 メインホールの他に近接するホールの合計値

出典：首相官邸 特定複合観光施設区域整備推進本部事務局

「第2、12回 特定複合観光施設区域整備推進会議 参考資料」

アジア圏の5,000人以上の会議室を有する施設では、施設全体の定員がシンガポールの約3万人と、日本と比べて大規模となっているものもある。

図表 II-42 アジア・大洋州の国際会議場

施設名	都市	会議室の最大定員	施設全体の定員
Marina Bay Sands	シンガポール	7,000人	約31,000人
COEX	韓国・ソウル	7,000人	約16,000人
Suntec Singapore	シンガポール	6,200人	14,396人
IMPACT Arena	タイ	6,076人	
China National Convention Center	中国・北京	5,700人	
Melbourne Convention and Exhibition Centre	メルボルン	5,564人	
AsiaWorld Expo Management Limited	香港	5,000人	

※会場の最大会議室の収容人数が5,000人以上のもの。

※各施設の公表するボールルームの最大収容人数

出典：首相官邸 特定複合観光施設区域整備推進本部事務局

第2回特定複合観光施設区域整備推進会議 参考資料

(5)会場施設に必要な機能・要素

国際会議では全体会議（プレナリー）と分科会（セッション）による場合が多い。そのため全体会議用の大会議室と、同数程度の人数が収容できる分科会用の中小会議室によって構成される国際会議場が多い。

大会議室・中小会議室いずれも、国際機関、政府間、経済界、学術など様々な分野の国際会議等に対応できる機能（同時通訳など）が必要となる。また利用の汎用性を高めるため固定席ではなく、ポスターセッションなどにも利用できる平床式とする事例が多い。

大会議室はプレナリー以外に参加者数の多いセッションや講演会に用いられることもあり、中小会議室はセッションの人数に応じて間仕切りを変化できる構造となっているものが多い（例：20人室と20人室を1室化できるようにしておくことで、40人も対応可）。

なお、国際会議にふさわしいデザインとする必要があり、また、国際会議では晩餐会などにける飲食サービスの提供への配慮も必要である。

図表 II-43 国際会議場の会議室構成



他にも以下の機能・要素が必要となる。

図表 II-44 会場施設に必要な機能・要素

区分	機能・要素
会議	<ul style="list-style-type: none"> ・受付 ・通訳用ブース（参加国の言語数。参考：国連の公用語 中国語、英語、フランス語、ロシア語、スペイン語、アラビア語） ・各種会議室（国内 MICE 施設例から 20 室以上） 会議室はプレスルーム、ドキュメントセンター（印刷・コピー室）としても利用 ・その他（クローク、コインロッカー など）
宿泊ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・要人向けサービスの提供 ・多様な参加者への対応（比較的低価格からラグジュアリーまで、多言語対応） ・飲食（ハラールなどの文化性への対応可能性）
インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な電気、通信
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・警備対応

出典：観光庁資料をもとに作成

2-3 展示場の事例

(1) 定義等

1) 欧米と日本との違い

日本では見本市と展示会とを区別しないで議論することが多いが、欧米では展示会を示す Exhibition には Trade Fair (BtoB show、ドイツ語で Messe、日本では「見本市」に該当) と Public Show (「展示会」に該当) に区分してとらえられる。特に見本市は業界関係者のみへの公開といったニュアンスがあるとされる。

これはヨーロッパ (特にドイツ) での見本市産業の形成過程と関係するが、展示場運営者などからは、国内外で展示場の利用ニーズが異なることが指摘される。

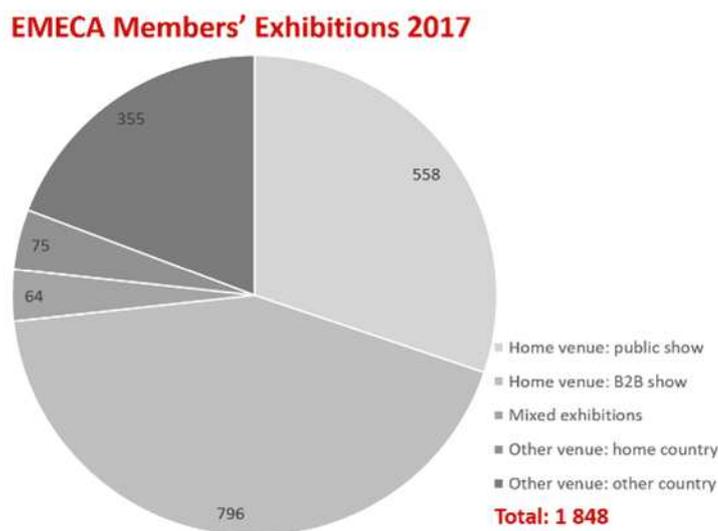
そのため展示場における国際比較では、これらの違いを考慮して考察していく必要がある。

図表 II-45 国内外での見本市・展示会の内容の違い

	国内	海外
出展者・来場者	国内が中心	国内と国外
展示会の目的	広告・宣伝が中心 商談は別に実施	国内外企業との取引の場 半年～1年分の買い付けを行う場

ヨーロッパにおける施設での見本市、展示会と開催件数は概ね
見本市 > 展示会 > 混合
となっている。例えば、ヨーロッパの Exhibition の開催状況をみると B2B show、Public Show の順になっている (下図)。

図表 II-46 ヨーロッパにおける展示会の内訳 (開催件数・2017年)

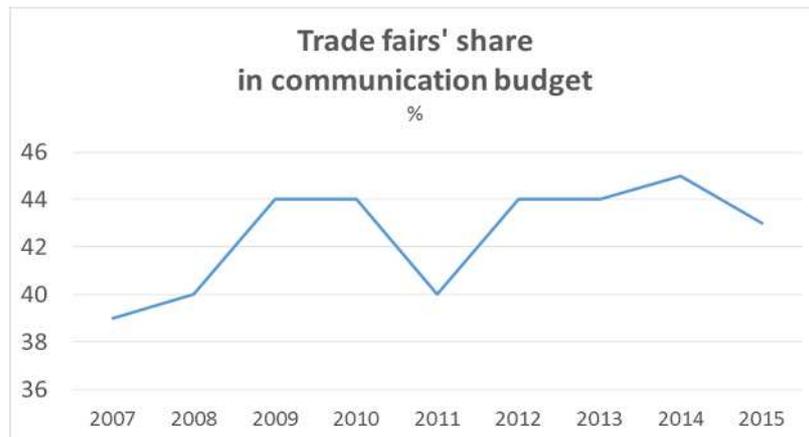


出典：EMECA HP

※EMECA European Major Exhibition Centres Association 加入施設における 2017 年での件数内訳。上から時計回りに Public show 558、B2B show 796 等となっている。

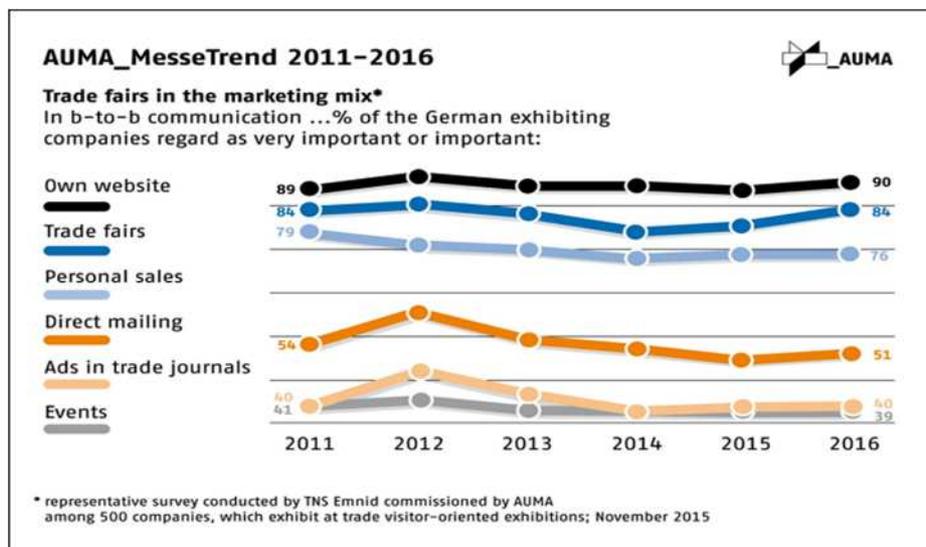
また海外（特にヨーロッパ）では企業活動において見本市が重視されている。
 例えばドイツ企業ではコミュニケーション（PR等）の予算の4割近くを見本市に充てている。自社のWebサイトでの情報発信とほぼ同レベルで見本市を重視する姿勢がうかがえる。

図表 II-47 企業におけるコミュニケーションの予算の割合の推移(ドイツ・2017年)



出典：AMUA (Original)、CENTREX Trade Fairs in Marketing Mix Germany2015-16

図表 II-48 ドイツ企業の展示会を重視する割合の推移（2011～2016年）



出典：AMUA (Original)、CENTREX Trade Fairs in Marketing Mix Germany2015-16

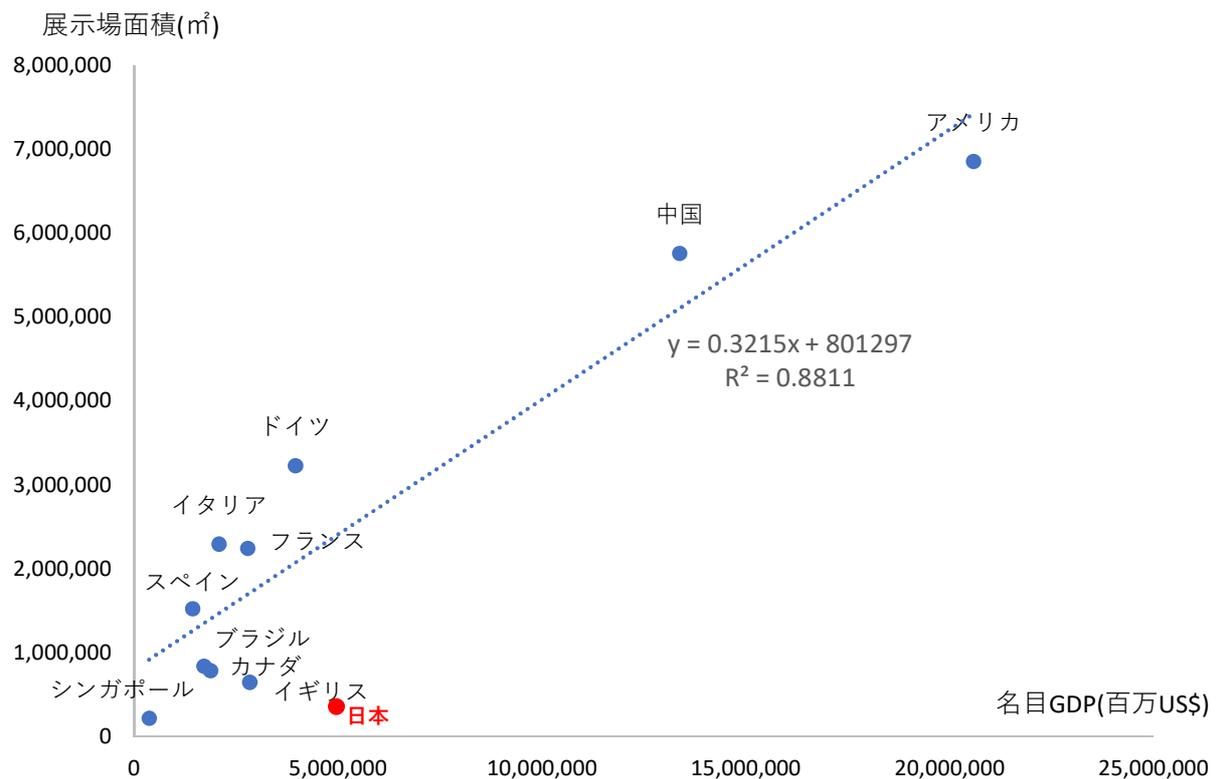
2)経済規模と展示場との相関性

展示場面積の上位国における GDP と展示場面積の相関グラフ（図表 II-49）を見ると、展示場面積と GDP の相関性が高いことがわかる。

一方で、ドイツやフランス、イタリアなどと比べると、日本は展示場面積が GDP に対して相当小さいということがわかる。

また愛知県の GDP はシンガポールと同規模程度であり（愛知県：358,267US\$、シンガポール：364,139US\$）、これらのことから、愛知県には展示場面積の拡大において潜在的な可能性の余地があるといえる（愛知県：約 9.4 万㎡、シンガポール：約 22 万㎡）。

図表 II-49 GDP と展示場面積との相関（主要国）



※名目 GDP は IMF 統計による（2018 年値）、額は 100 万米ドル

対象国はアメリカ、中国、ドイツ、イギリス、フランス、イタリア、ブラジル、カナダ、スペイン、シンガポール。相関分析では日本を除いた。

※展示場規模は UFI ; Union de Foires International（国際見本市連盟）による。

3)規模の定義

展示場の規模の目安として以下がある。展示面積が10万㎡を超える施設は稀な存在となる。

図表 II-50 展示場の規模の定義

規模	展示面積	世界の展示場数
Small	20,000 ㎡未満	738(61%)
Medium	20,000～100,000 ㎡未満	417(34%)
Large	100,000 ㎡以上	62(5%)

出典：UFI World Map of Venues 2017

(2)展示会の開催状況

1)主要国の状況

世界全体での開催件数は約3万2,000件、来場者数は約3億人であり、出展者は約450万者となっている（UFIによる）。来場者、出展者とも欧州、北米、アジア・太平洋で占められている。

なお、ドイツ全体で展示会来訪者は年間1,000万人程度、日本は約500万人程度である（日本展示会協会調）。

※施設単位での利用者数をみると、例えば東京ビッグサイトは年間約1,470万人であるが、これは展示会以外のイベント人数を含んでいるためである。

図表 II-51 展示会の開催件数（世界・2018年実績）

	来場者数（単位：千人）	出展者数（単位：千社・団体）
欧州	112,000 (37.0%)	1,340 (29.6%)
北米	91,200 (30.1%)	1,600 (35.3%)
アジア/太平洋	81,500 (26.9%)	1,210 (26.7%)
中南米	9,900 (3.3%)	217 (4.8%)
中東	6,250 (2.1%)	125 (2.8%)
アフリカ	2,100 (0.7%)	42 (0.9%)
合計	302,950	4,534

出典：日本展示会協会 オクスフォードエコノミクスおよび UFI（2019年）

展示会が盛んな国は、伝統的にヨーロッパの大陸国（ドイツなど）とされ、近年では中国の台頭が顕著である。これらは以下のように説明されることがある。

・地理的優位性（交通便利）

北米・欧州・アジアから集まりやすく、かつ欧州の中央に位置するドイツは展示場ビジネスでは有利であり、逆に英国は地理的に不利とされる。

この考えに従えばシンガポールはアジアと中東、欧州との中継地点であり、エアラインのハブ空港といった交通利便性をいかしていると考察できる。

・先発優位性

見本市は同一都市で開催を繰り返す（恒例化する）ため、新規施設は利用者確保（誘致効果）の発揮が難しいとされる。欧米市場の大きさも先発グループである有利性によるものと考察できる。

・後発国の対応

地理的に不利な国や地域では、エクスカージョンやユニークベニユーの提供といった周辺環境のPRが誘致等において重要との認識がある（韓国など）。ヨーロッパも観光と一体となった誘致を続けており、シンガポールも後発ということから、より強く意識された事業展開がなされている。

2)ハノーバーでの見本市の開催状況

世界最大のハノーバー国際見本市会場における1年間の催事名、貸出面積などは以下のとおりであった。

貸出面積は平均5万㎡で、10万㎡を超える展示会は3件であった。

図表 II-52 ハノーバー国際見本市会場のイベント例（2018年）

イベント名	貸出面積(㎡)	出展者数	来場者数
abf with B. I. G. - The big leisure fair	43,586	779	90,553
ALTENPFLEGE - The Care Fair	13,815	554	24,032
CeMAT - World Leading Trade Fair for Intralogistics & Supply Chain Management	35,622	623	71,867
didacta - The trade fair for education and training	30,247	811	73,320
DOMOTEX - The World of Flooring	107,734	1,553	45,110
EnergyDecentral - International trade fair for innovative energy supply	10,399	332	30,372
EuroBLECH - International Sheet Metal Working Technology Exhibition	89,878	1,507	56,307
EuroTier - with Energy Decentral - First in Animal Farming	120,675	2,574	154,948
HANNOVER MESSE	173,302	5,063	188,914
Hannover Messe: Digital Factory	21,356	517	89,734
Hannover Messe: Energy	37,288	1,003	84,067
Hannover Messe: Industrial Supply	22,605	1,267	68,009
Hannover Messe: Integrated Automation, Motion & Drives	69,853	1,497	133,184
Hannover Messe: Research & Technology	8,672	367	59,886
infa - Information and Sales Exhibition	32,339	1,297	160,233
Pferd & Jagd - Europe's biggest exhibition for equestrian sports, hunting and fishing	27,958	896	94,257
平均	52,833	1,290	89,050
合計	—	20,640	1,424,793

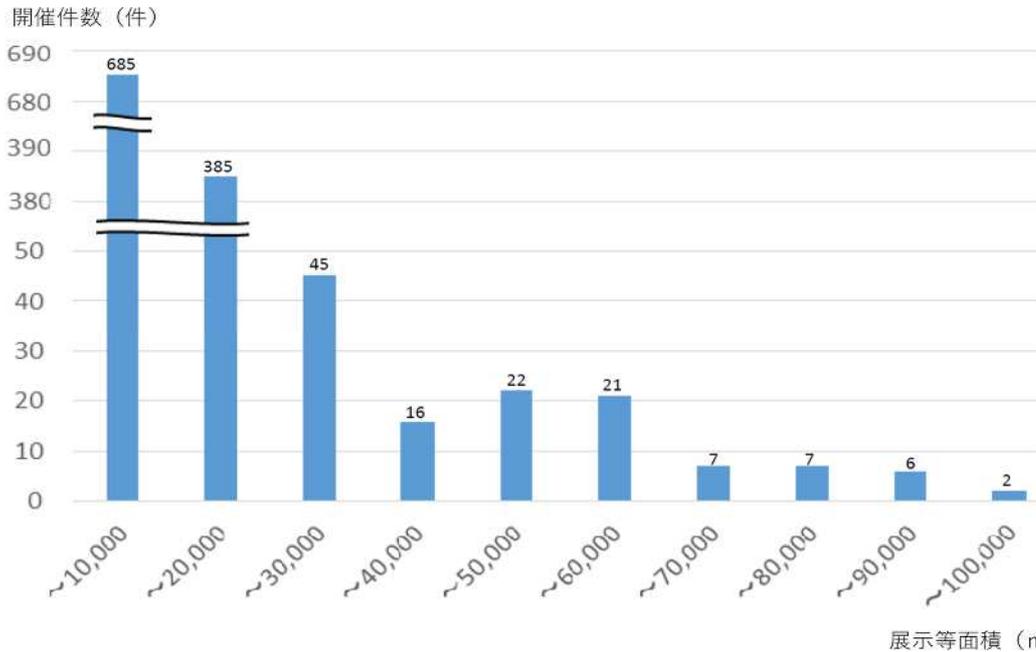
出典：UFI Euro Fair Statistics 2018

3)国内の開催状況

展示場施設の主たる展示会の規模は、展示面積 10,000 m²未満が大半となっている。

なお、Aichi Sky Expo の展示面積 6 万 m²は、概ね 9 割をカバーできることを目的としており、大規模な展示会を意図した施設であると言える。

図表 II-53 展示会等の規模別開催件数※（国内・2015 年～2017 年計）

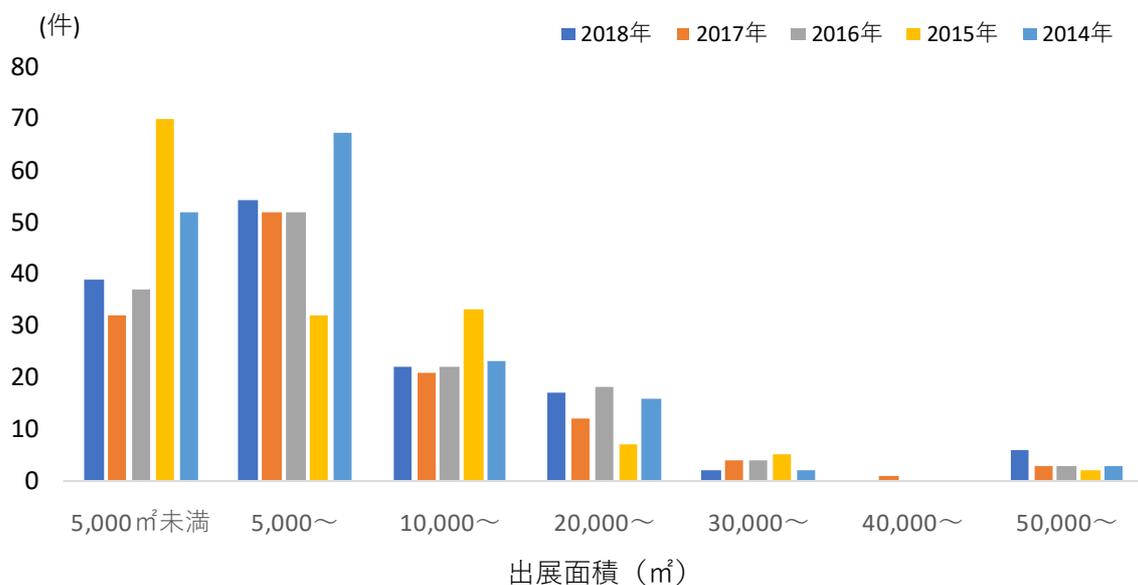


※有効展示等面積 7 万 m²以上の施設（東京ビッグサイト、幕張メッセ、インテックス大阪）で行われたものの集計。

※展示等面積が不明の展示会等は除く。ただし、一部、展示等面積区分が分かっているものについては判明している区分ごとの開催件数で割付け。

出典：首相官邸 特定複合観光施設区域整備推進本部事務局
第 12 回特定複合観光施設区域整備推進会議 参考資料

図表 II-54 展示面積別件数（国内 2014～2018 年）



出典：日本展示会協会

日本展示会協会の展示会の開催件数をみると 2016 年に落ち込みがあったものの近年は回復基調にあるといえる。

東京ビッグサイトが圧倒的に多く、次いでインテックス大阪、幕張メッセが続き、展示面積の大きな展示場に集中しているともいえる。

図表 II-55 展示会実績件数(年度)

施設名	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年
東京ビッグサイト	195	124	124	184	206
インテックス大阪	39	8	19	62	62
幕張メッセ	21	19	10	48	49
ポートメッセなごや	5	4	7	7	16
パシフィコ横浜	11	7	8	8	9
西日本総合展示場	8	7	-	-	8
さいたまスーパーアリーナ	5	5	7	5	4
コングレコンベンションセンター	2	-	1	5	4
堺市産業振興センター	4	4	5	4	4
神戸国際展示場	3	3	4	3	3
夢メッセみやぎ	4	3	4	3	3
京都パルスプラザ	3	3	3	3	3
ツインメッセ静岡	3	4	3	3	3
吹上ホール	3	3	3	3	3
その他	53	45	-	31	30
合計	359	239	145*	369	407

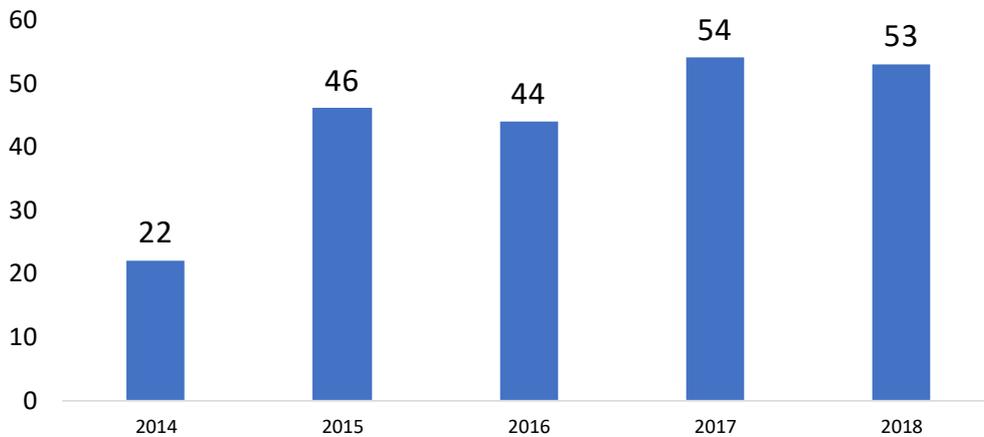
※合計値は原資料のとおり。2016 年のみ合計値の集計方法が異なるものと推測される。

出典：日本展示会協会公表資料より作成（2018 年度上位会場を基準に作成）

4)国内で新規展示会の推移・内容例

国内の新規展示会は、2015年以降50件程度立ち上げられている。

図表 II-56 新規展示会数の推移



出典：日本展示会協会事務局 新規見本市展示会の立ち上げ状況（2014年～2018年）

図表 II-57 新規見本市の立ち上げ状況

2018年（抜粋）

展示会名	会場
第1回 WEB 販促 EXPO（販促ワールド2018春）	幕張メッセ
INTERMOLD 名古屋/金型展名古屋/金属プレス加工技術展名古屋	ポートメッセなごや
第1回「名古屋」スマート工場 EXPO	ポートメッセなごや
第1回「名古屋」ロボテックス（ロボット開発・活用展）	ポートメッセなごや
「名古屋」オートモーティブワールド 2018	ポートメッセなごや
メデイカルジャパン 2018 東京	幕張メッセ

2017年（抜粋）

展示会名	会場
関西農業ワールド 2017	インテックス大阪
名古屋ものづくりワールド	ポートメッセなごや
ファインケミカルジャパン	東京ビッグサイト
ライセンスングエキスポジャパン 2017	東京ビッグサイト
IFF MAGIC JAPAN 2017 Spring	東京ビッグサイト
ワールドマーケット&ツーリズム 2017	西日本総合展示場

出典：日本展示会協会事務局 新規見本市展示会の立ち上げ状況（2014年～2018年）

(3) 展示場施設の事例

1) 施設数及び規模の国際比較

施設数は、ヨーロッパと北米が多く、次いでアジアとなっている。

規模別では上位 10 施設のうち、ドイツと中国が多い。

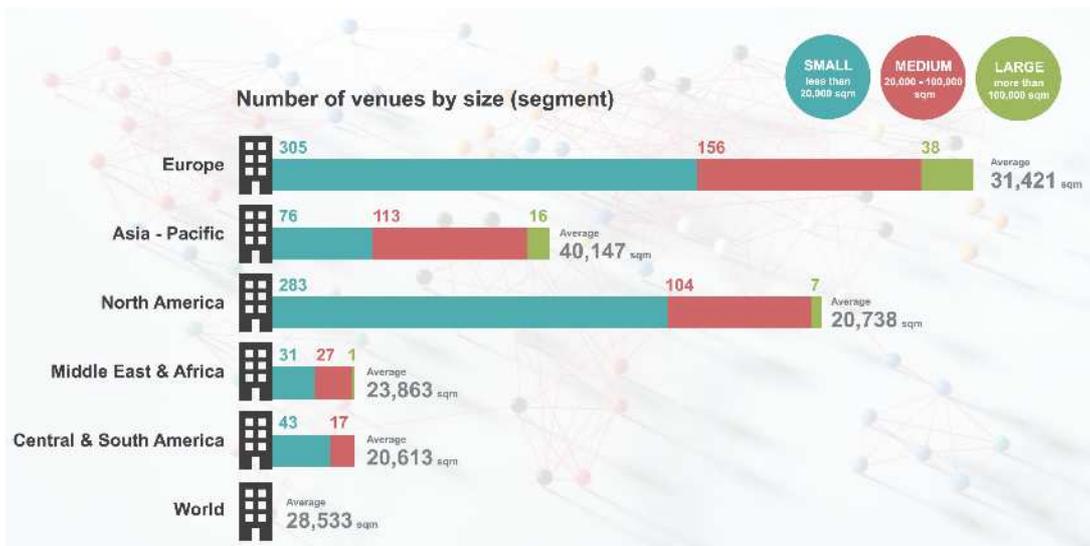
なお、アジアでは中国を除くと、タイ、韓国、シンガポールでは 10～13 万㎡が各国内での最大規模となっている。

こうした大規模化は、展示会の質を規模に求める傾向が業界にあるためと思われる。

図表 II-58 展示場施設数(規模別・地域別・世界)

	欧州	アジア/太平洋	北米	中東/アフリカ	中南米	世界全体
大 100,000 ㎡以上	38	16	7	1	—	62
中 20,000 ㎡～	156	113	104	27	17	417
小 20,000 ㎡未満	305	76	283	31	43	738
合計	499	205	394	59	60	1,217
平均 (㎡)	31,421	40,147	20,738	23,863	20,613	28,533

出典：日本展示会協会 UFI World Map of Exhibition Venues 2017 Edition



出典：UFI World Map of Exhibition Venues 2017 Edition

図表 II-59 展示場 規模別ランク（世界） 抜粋

順位	名称	都市	国	展示面積 (m ²)
1	Messe Hannover	ハノーバー	<u>ドイツ</u>	463, 275
2	National Exhibition and Convention Center (Shanghai)	上海	中国	404, 400
3	Messe Frankfurt	フランクフルト	<u>ドイツ</u>	366, 637
4	Fiera Milano	ミラノ	イタリア	345, 000
5	China Import & Export Fair Complex	常州	中国	338, 000
6	Kunming Dianchi Convention & Exhibition Center (DCEC)	昆明	中国	310, 000
7	Koeln messe	ケルン	<u>ドイツ</u>	284, 000
8	Messe Duesseldorf	デュッセルドルフ	<u>ドイツ</u>	261, 817
9	Paris Nord Villepinte	パリ	フランス	246, 312
10	McCormick Place	シカゴ	アメリカ	241, 548
【以下、抜粋】				
18	Orange County Convention Center	オーランド	アメリカ	195, 096
27	Porte de Versailles	パリ	フランス	149, 233
29	EUREXPO	リヨン	フランス	138, 336
30	IMPACT Arena, Exhibition and Convention Center	バンコク	タイ	137, 000
46	Korea International Exhibition Center (KINTEX)	ソウル	韓国	108, 049
53	Messe Stuttgart	シュトゥットガルト	ドイツ	105, 200
61	Singapore Expo	シンガポール	シンガポール	100, 000
67	東京ビッグサイト*1	東京	日本	95, 420
71	São Paulo Expo	サンパウロ	ブラジル	90, 000
82	幕張メッセ	千葉	日本	72, 000
84	インテックス大阪	大阪	日本	70, 079
91	Helexpo	テッサロニキ	ギリシャ	60, 000
	愛知県国際展示場	愛知	日本	60, 000

*1：拡張前の値

出典：UFI World Map of Exhibition Venues 2017 Edition

2)国内

国内では東京ビッグサイトの約11万5千㎡が最大であり、愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)は現在、国内4番目の規模である。

図表 II-60 我が国の主な展示施設の概要

順位	施設名	有効展示等面積 (㎡)	来場者数
1	東京ビッグサイト	115,420 ^{*1}	1,470
2	幕張メッセ	75,098	721
3	インテックス大阪	70,078	—
4	愛知県国際展示場 (Aichi Sky Expo)	60,000	250 ^{*2}
5	ポートメッセなごや (名古屋市国際展示場)	33,946	178
6	パシフィコ横浜	20,000	413
7	石川県産業展示館	17,718	—
8	西日本総合展示場	16,517	80
9	神戸国際展示場	13,600	89
10	マリンメッセ福岡+福岡国際会議場	13,540	137

*1：2019年7月後の値

*2：想定来場者数（愛知県「愛知県大規模展示場基本構想」）

出典：各施設HPなど

(4)展示場に必要な機能・要素

概ね愛知県国際展示場と同等程度の機能、内装が不可欠となる。

展示機能	<ul style="list-style-type: none"> 多目的利用にも対応できるように、一部のホールを無柱・ワンスパンとする
会議機能	<ul style="list-style-type: none"> 展示会に付随するセミナー・会議需要を考慮しつつスペースを確保する レストランや商業施設と一体的な整備を検討
ロビー・ホワイエ	<ul style="list-style-type: none"> 展示ホール、会議室による適正規模を確保する ホール、会議室との一体利用を可能とする 複数イベント時の動線に配慮する 周辺動線との関係性を重要視する
控え室	<ul style="list-style-type: none"> 展示ホールの隣接に設置する 大小規模、及び応接に対応可能とする

付带的にホテルのスイートルームのような商談スペースが海外の展示場では設けられているケースが多い。

2-4 MICE 開催に使用されるホテル(宿泊施設)の事例

ホテルは MICE 参加者の宿泊需要を満たすだけでなく、商談や会議、レセプションといった機能も果たし、ホテルのイメージが当該 MICE のイメージを左右することにもつながり、また収益力の点からも MICE の中核施設と位置づけることができる。

また首脳会議などの国際会議においては、スイートルームを有するハイクラスからビジネスクラスまでの幅広さが求められる。

(1)ホテルの客室数・スイートルームの設置率

一般にホテルの客室には、上位からペントハウス (Penthouse)、スイート (suite) の順でクラス分けされることが多く、スイートとはベッドルームとリビング等から構成される客室を指す。

1)国内

国内のホテル客室数では、品川プリンスホテルが最も多いがスイートは1室のみとなっている。これは近接する高輪プリンスホテルと客層を分担していることによる(そのため品川プリンスホテルはシングルルームが多い)。

客室数が多い大規模ホテルは総じてスイートの割合が少ない。一方でハイクラスのホテル(いわゆる5つ星など)では、客室数は1,000室を下回り、The Ritz Carlton、Four Seasons では10%がスイートとなっている。

図表 II-61 ホテル客室数(国内)

名称	総客室数	スイート数	割合
品川プリンスホテル	3,560	1	0.03%
アパホテル&リゾート<横浜ベイタワー>	2,311	6	0.26%
アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>	2,007	3	0.1%
ホテルニューオータニ	1,479	63	4.3%
京王プラザホテル	1,438	21	1.5%
苗場プリンスホテル	1,224	4	0.3%
サンシャインシティプリンスホテル	1,109	12	1.1%
ヒルトン福岡シーホーク	1,053	68	6.5%
東京ドームホテル	1,006	50	5.0%
帝国ホテル東京	931	56	6.0%
ホテルオークラ東京	381	22	5.8%
グランドプリンスホテル京都	310	27	8.7%
Conrad Osaka	164	8	4.9%
The Ritz Carlton Kyoto	134	17	12.7%
Four Seasons Hotel Kyoto	123	13	10.6%

出典：首相官邸 特定複合観光施設区域整備推進本部事務局

第12回特定複合観光施設区域整備推進会議 参考資料、各ホテルの公式ウェブサイト

2)愛知県内

図表 II-62 ホテル客室数（名古屋市内主要）

名称	総客室数	スイート数	割合
名古屋マリオットアソシアホテル	774	17	2.2%
ホテルナゴヤキャッスル	195	7	3.6%
名古屋 JR ゲートタワーホテル	350	0	0%
三井ガーデンホテル名古屋プレミア	295	0	0%
名鉄グランドホテル	241	1	0.4%
キャッスルプラザ	236	2	0.8%
名古屋プリンスホテルスカイタワー	170	0	0%
名鉄ニューグランドホテル	156	0	0%
ロイヤルパークホテルザ名古屋	153	1	0.7%
ストリングスホテル名古屋	125	2	1.6%
名古屋東急ホテル	564	16	2.8%
ヒルトン名古屋	460	15	3.3%
アパホテル〈名古屋栄〉	400	1	0.3%
名古屋観光ホテル	369	7	1.9%
名古屋国際ホテル	259	10	3.9%
アパホテル〈名古屋錦〉 EXCELLENT	250	1	0.4%
ホテルトラスティ名古屋	242	2	0.8%
ホテルトラスティ名古屋栄	204	1	0.5%
ホテル名古屋ガーデンパレス	178	1	0.6%
ベストウェスタンホテル名古屋	140	1	0.7%
KKR ホテル名古屋	106	1	0.9%
ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋	246	7	2.8%
名古屋金山ホテル	156	2	1.3%
ホテルメルパルク名古屋	243	3	1.2%

図表 II-63 ホテル客室数（愛知県内主要）

名称	総客室数	スイート数	割合
名鉄小牧ホテル	73	1	1.4%
ホテルトヨタキャッスル	151	3	2.0%
名鉄トヨタホテル	99	3	3.0%
岡崎ニューグランドホテル	90	1	1.1%
ホテルアソシア豊橋	222	1	0.5%
ホテルアークリッシュ豊橋	91	2	2.2%
蒲郡クラシックホテル	27	5	18.5%

出典：愛知・名古屋 MICE 推進協議会 ホテルガイド

図表 II-64 ホテル客室数（空港島内）

名称	総客室数	スイート数	割合
中部国際空港セントレアホテル	381	7	1.8%
コンフォートホテル中部国際空港	346	0	0%
東横 INN 中部国際空港 1	1,001	0	0%
東横 INN 中部国際空港 2	1,286	0	0%
チューブ・スクエア（カプセルホテル）	138	0	0%
フォーポイントバイシェラトン名古屋 中部国際空港	319	1	0.3%
合計	3,471	8	0.2%

※セントレアホテル、フォーポイントバイシェラトンのスイート共に 70 m²

出典：各施設への問合せ

3)国外

国外のハイクラスホテルも国内と同様に客室数は 1,000 室を下回っている。

スイートの割合は Inter Continental New York Times Square を除けば 10～30%程度となっている。

図表 II-65 ホテル客室数（国外）

名称	総客室数	スイート数	割合
JW Marriott Hotel Singapore The South Beach	634	47	7.4%
Westin Singapore	305	16	5.2%
The St. Regis Shanghai Jingan	491	67	13.6%
Waldorf Astoria Shanghai on the Bund	260	53	20.4%
Four Seasons Hotel Pudong, Shanghai	187	15	8.0%
Four Seasons Hotel Beijing	313	66	21.1%
Park Hyatt New York	210	92	43.8%
Four Seasons Hotel New York Downtown	189	28	14.8%
InterContinental New York Times Square	611	4	0.7%
Four Seasons Hotel London at Park Lane	193	42	21.8%
Four Seasons Hotel London at Ten Trinity Square	100	11	11.0%
Conrad London St. James	256	15	5.9%
InterContinental London - The O2	453	59	13.0%
Shangri-La Hotel Paris	100	37	37.0%
平均値	307.3	39.4	16.0%
中央値	258.0	39.5	13.3%

出典：首相官邸 特定複合観光施設区域整備推進本部事務局

第 12 回特定複合観光施設区域整備推進会議 参考資料

4)MICE 周辺

MICE 施設に近接する主要ホテルについて整理した。なお、例えば東京国際フォーラムに近接するホテル（例えば帝国ホテルなど）は、MICE 施設との関係性があると言いきにくいことから、以下の会議場とその周辺ホテルをとりあげた。

図表 II-66 ホテル客室数（国内 MICE 施設周辺）

国際会議場名	ホテル名	総客室数	スイート
パシフィコ横浜	ヨコハマグランドインターコンチネンタル	594	39
	パンパシフィック	480	21
	横浜ロイヤルパークホテル	603	13
	ホテルニューグランド	238	12
	ベイシェラトン	348	7
東京ビッグサイト	東京ベイ有明ワシントンホテル	830	—
	相鉄グランドフレッサ 東京ベイ有明	912	20
	ダイワロイネットホテル 東京有明	368	—
幕張メッセ	ホテルニューオータニ幕張	418	37
	Hotel the Manhattan	130	13
	アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>	2,007	3
	ホテルグリーンタワー幕張	202	2
インテックス大阪	ハイアット リージェンシー 大阪	480	46
	ホテルフクラシア大阪ベイ (旧ホテルコスモスクエア国際交流センター)	320	—
	クインテッサホテル大阪ベイ	190	14
	さきしまコスモタワーホテル	371	
神戸コンベンションセンター	神戸ポートピアホテル	746	49
	クオリティホテル神戸	121	—
	ホテルパールシティ神戸	372	2

出典：各ホテルの公式ウェブサイト、聞き取りによる

(2)客室規模

国内ホテルの最小客室面積について、全体では大規模ホテルで10～25 m²程度、ハイクラスホテルで50 m²程度となっている。スイートは一部を除いて50～80 m²程度となっている。

図表 II-67 最小客室面積（国内：全体・スイート別）

ホテル名	最小客室面積 (m ²)	
	全体	スイート
品川プリンスホテル	13.2	53
アパホテル&リゾート<横浜ベイタワー>	10	33
アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>	11	89.2
ホテルニューオータニ	23	71
京王プラザホテル	23.5	71
苗場プリンスホテル	18.9	66.6
サンシャインシティプリンスホテル	16.6	75
ヒルトン福岡シーホーク	19	54
東京ドームホテル	26	33
Conrad Osaka	50	100
InterContinental Osaka	47	59
The Ritz Carlton Kyoto	45	62
The St. Regis Osaka	43	87
Four Seasons Hotel Kyoto	49	71

出典：首相官邸 特定複合観光施設区域整備推進本部事務局

第12回特定複合観光施設区域整備推進会議 参考資料、各ホテルの公式ウェブサイト

国外のハイクラスホテルの最小客室面積は、全体では 23～50 m²程度、スイートは一部を除いて 50～80 m²程度となっている。

図表 II-68 最小客室面積（国外：全体・スイート別）

ホテル名	最小客室面積(m ²)	
	全体	スイート
JW Marriott Hotel Singapore The South Beach	23	74
Inter Continental Singapore Robertson Quay	23	36
Westin Singapore	40	66
Four Seasons Hotel Beijing	46	73
Conrad Beijing	46	87
InterContinental Beijing Sanlitun	45	70
Waldorf Astoria Shanghai on the Bund	50	55
Four Seasons Hotel Pudong, Shanghai	36	88
The St. Regis Shanghai Jingan	46	65
InterContinental Shanghai Expo	42	75
InterContinental Shanghai Hongqiao NECC	40	58
InterContinental Shanghai Jing' An	45	74
The Ritz Carlton Hong Kong	51	75
Park Hyatt New York	46	65
Four Seasons Hotel New York Downtown	37	67
Inter Continental New York Times Square	33	51
Four Seasons Hotel London at Park Lane	25	49
Four Seasons Hotel London at Ten Trinity Square	28	65
Shangri-La Hotel at the Shard London	30	60
Shangri-La Hotel Paris	36	55
平均値	38.4	65.4
中央値	40.0	65.5

出典：首相官邸 特定複合観光施設区域整備推進本部事務局
第12回特定複合観光施設区域整備推進会議 参考資料

(3) ホテルに必要な機能・要素

特に国外での MICE 施設におけるホテルは、国際会議や展示会等での商談スペースといった多目的利用を可能とするケースが多い。

2-5 国内の MICE 施設で行われている機能面での特徴

国内の MICE 施設について、国際会議・国際展示会誘致のために実施されている取り組みや工夫点について整理した。

図表 11-69 国内の MICE 施設で行われている誘致のための機能と内容

機能	取り組み内容
参加者向けサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・交通インセンティブ（※2016年7月の実証事業）：会議の外国人参加者1,000名に対し、観光、体験、飲食等の特典付みなどみらい線1日乗車券を配布。【パシフィコ横浜】 ・交通インセンティブ： 札幌市と株式会社エア・ドゥが締結した「札幌市の観光・MICE振興に関する連携協定」にもとづき、札幌市のMICE誘致の促進を目的として株式会社エア・ドゥが割引運賃を提供。【札幌コンベンションセンター】 ・周辺商業施設でのインセンティブ： 展示会開催時において、幕張メッセ周辺の商業施設との連携が進んでおり、展示会参加者が、参加者であることを証明するバッジを提示すれば割引等が受けられるようなサービスも展開されている。【幕張メッセ】
周辺地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内機能の設置： 東京都と連携し、東京観光窓口として案内所を設置する他、外国人旅行者向けの東京観光案内デジタルサイネージを設置。【東京国際フォーラム】 ・ホテル連携： 隣接する宿泊施設「サンパレス福岡」が小規模のため、オークラや日航等とタイアップした誘致を行っている。【福岡国際会議場、マリンメッセ福岡、福岡国際センター】 ・エリアブランディング： 大手町・丸の内・有楽町（大丸有）エリアへの都心型MICE誘致促進を目的とする組織「DMO 東京丸の内」に参画し、同エリアの魅力をプロモーション施設である「Marketing Suite」等で発信。【東京国際フォーラム】 ・地元工芸品の活用： 2018年10月に開業したニューホールに、京都市と連携し地元の伝統産業等の技法を活かした家具・調度品等を設置し、京都らしい設えを演出。【国立京都国際会館】 ・MICE ビジネス人材育成組織の組成： 大阪観光局が事務局、展示場、当会議場の運営会社が幹事会社となり、ホテルやイベント企画、旅行、運輸等の企業が参画する「大阪 MICE アカデミー」を発足。【大阪国際会議場】

機能	取り組み内容
主催者満足度向上	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な運営体制： 24 時間対応、休館日も主催者の要望にあわせて開館。【名古屋国際会議場】 ・ワンストップサービスの提供： 看板製作、映像・音響機器の手配・設営等をワンストップで担う。【名古屋国際会議場】 ・独自の助成金制度の創設： 託児室設置助成、シャトルバス助成等、行政機関にはない柔軟な助成金制度を用意。【名古屋国際会議場】 ・一括精算システムの導入： 会議場への支払い（施設利用料、備品利用料）と会議場委託業者への支払い（舞台照明、音響技術料、看板製作費等）が一括で可能。【大阪国際会議場】
多様性対応	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟なケータリングサービス： 帝国ホテルによるケータリングサービスを提供し、細かな要望（個別のグルテンフリー対応等）にも対応可能。【東京国際フォーラム】 ・オーダーメイドのケータリングサービス： ベジタリアン、ムスリム、アレルギー対応等、多様なニーズに対応可能。京都市内ホテルとも連携。【国立京都国際会館】 ・礼拝スペース： イスラーム用の礼拝スペースを有する。【東京ビッグサイト】
質的向上への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの実施： 施設面及びサービス面への利用者の声を運営に活かすため、催事開催後にアンケートを実施。【国立京都国際会館】 ・AIPC（※）が実施するアンケートへのエントリー： 世界スタンダードを目標に課題を明確化・改善。【国立京都国際会館】 ※International Association for Convention Center。 会議場の管理運営、振興・発展を目的とした非営利国際団体。世界 170 以上の会議施設が加盟しており、日本では国立京都国際会館が唯一加盟。 ・オリジナルセミナー・シンポジウムの開催： 自主的に企画開催を行い、専門家、大学等とのネットワークを維持・構築。（例：医学界の各分野の専門家を講師に迎えたセミナー、愛知・名古屋の環境を考えるシンポジウム）【名古屋国際会議場】
施設機能	<ul style="list-style-type: none"> ・本館・別館の連動性： 本館と 3 棟の別館は屋根付き通路で結ばれている他、全館及び隣接ホテル間ではデジタルネットワーク構築によるライブ中

機能	取り組み内容
施設機能	<p>継・データ配信により 10,000 名以上の大型会議が可能。【国立京都国際会館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の一体感： 会議場、展示場、ホテル間が回廊で結ばれており、安全でスムーズな利用が可能【神戸コンベンションセンター】 ・レセプションホール： 展示会に付随して開催されるレセプションを行うためのレセプションホールも有している。床にカーペットを敷いており、ある程度の高級感を有している。【東京ビッグサイト】 ・ゆとりあるロビースペース： 参加者同士が話す場所が多くあることで、ネットワークづくりに寄与し、満足度向上につながる。【国立京都国際会館】 ・可動席の配備： 可動席を有し、階段状のコンベンションホールにも変更可能（展示場 2 号館）【神戸コンベンションセンター】 ・広い荷捌き場： 搬出入しやすい広い荷捌き場を有し、出展者からの評価が高い。（展示場 3 号館）【神戸コンベンションセンター】 ・可動席の配備： 大ホールを展示場としてのみならず、可動席により最大 2,500 人まで対応可能な会議場として活用可能。【札幌コンベンションセンター】

出典：施設ヒアリング、下記資料より作成

(参考)

- ・横浜観光コンベンションビューロー、パシフィコ横浜、横浜高速鉄道 記者発表資料
<http://www.welcome.city.yokohama.jp/ja/ycvb/file/press/161205.pdf>
- ・東京国際フォーラムウェブサイト <https://www.t-i-forum.co.jp/company/report/>
- ・帝国ホテルウェブサイト
<https://www.imperialhotel.co.jp/j/recruit/works/comprehensive012.html>
- ・NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会ウェブサイト
http://ligare.jp/event_report/dmotokyomarunouchi/
- ・国立京都国際会館ウェブサイト https://www.icckyoito.or.jp/about_us/csr/
- ・(株)コングレ「指定管理者としての施設管理・運営～名古屋国際会議場の取組み～」(2016 年)
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/040/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2016/07/28/1374644_1.pdf
- ・グランキューブ大阪ビジネスレポート <https://www.gco.co.jp/corporate/financials/>
- ・神戸コンベンションビューローウェブサイト
<https://kobe-convention.jp/ja/planning/venues-and-accommodations/kcc/>
- ・札幌市「札幌 MICE 総合戦略」(2015 年)
<https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/mice/senryaku.html>
- ・札幌コンベンションビューローウェブサイト
https://www.conventionsapporo.jp/j/choose_sapporo/img/terms_of_service_27.10.26.pdf

3 中部国際空港やその周辺エリアにおける潜在市場規模や事業成立の可能性

3-1 対象エリア

空港島の利活用可能な県有地等約 50 ha（図の赤枠内）とする。

図表 II-70 対象エリア



図表 II-71 対象エリアの法令等の制限

項目		概要	
所在地		愛知県常滑市セントレア 4 丁目及び 5 丁目地内	
法令等に基づく制限 (都市計画等)	都市計画区域	市街化区域	
	用途地域	準工業地域	商業地域
	建ぺい率	60%	80%
	容積率	300%	500%
	高度指定	なし	なし
	防火地域	準防火地域	防火地域
	特別用途地区	なし	
	高さ制限	45m (航空法)	

出典：常滑市 HP

3-2 潜在市場規模

(1) 潜在市場規模

図表 II-72 に、日本の主要な展示場を擁する各自治体の県内総生産、人口、展示面積及び年間来場者数を示した。¹

図表 II-72 主要展示場を擁する自治体の GRP、人口、展示面積、年間来場者数

都府県名	県内総生産 (生産側、名目) (単位 100 万円)	人口 (人)	展示面積 (㎡)	来場者数 (万人/年)
千葉県／幕張メッセ	20,391,622	6,235,725	75,098	721
東京都／東京ビックサイト	104,470,026	13,623,937	115,420 ^{*1}	1,470
神奈川県／パシフィコ横浜	34,609,343	9,144,504	20,000	413
愛知県／名古屋市国際会議場	39,409,405	7,506,900	33,946	178
愛知県／愛知県国際展示場			60,000	(2019年8月開業)

愛知県の県民総生産は千葉県、神奈川県より多く、東京都に次ぐ規模であり、その人口は千葉県より多い。

愛知県においては、輸送機器を中心とした多様な産業の集積や、大都市のマーケットの大きさに恵まれるとともに、中部国際空港や、リニア中央新幹線整備等による広域交通アクセスの発展も期待されている。

さらに、2019年8月には国内第4位の展示面積(60,000㎡)を持つ愛知県国際展示場が開業した。こうした状況を踏まえると、愛知県における潜在的な市場規模は非常に大きいと言える。

¹ 大阪府はインテックス大阪の来場者数が公表されていないため、除外。

(2)開発可能面積の検証

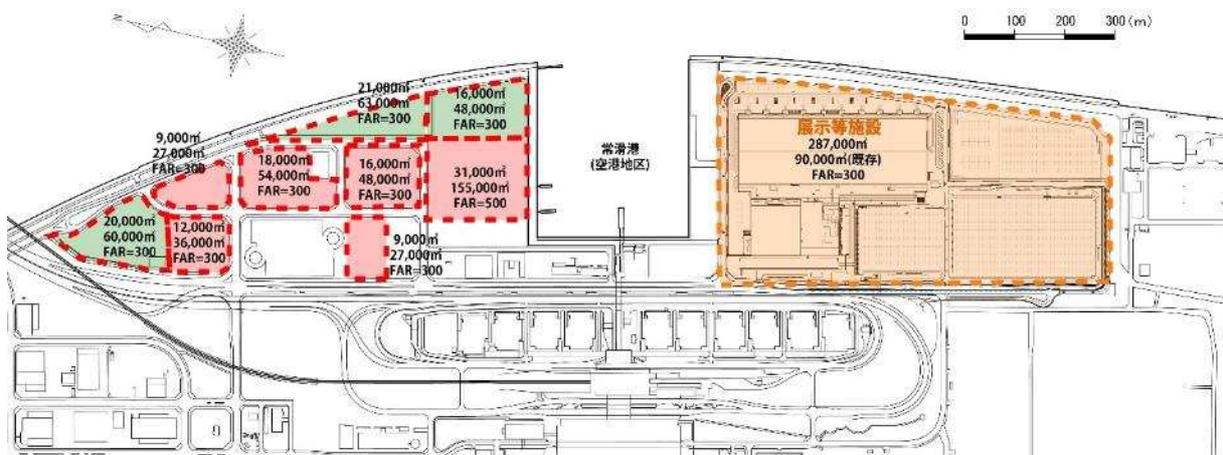
1)開発可能な延べ床面積の算出

空港島の利活用可能な県有地に対して、都市計画で定める容積率から開発可能な最大延べ床面積を算出した。

ここでは下図の区画を対象に開発可能な最大延べ床面積を求めた。常滑港（空港地区）南側は、愛知県国際展示場の敷地面積を、北側は建物が建てられていない空き地面積を算出に用いた。

結果として延べ床面積として約 93 万 m²の開発余地があることを得た（展示場の延べ床面積：90,000 m²を除いた値）。

図表 II-73 想定した利用可能区域



図表 II-74 利用可能床面積（街区別）

	敷地面積 (m ²)	容積率	最大可能延べ床面積 (m ²)	備考
宅地	31,000	500%	155,000	
	16,000	300%	48,000	
	18,000	300%	54,000	
	9,000	300%	27,000	
	9,000	300%	27,000	
	12,000	300%	36,000	
緑地	16,000	300%	48,000	
	21,000	300%	63,000	
	20,000	300%	60,000	
		小計	171,000	
展示場	① 287,000		(90,000)	現施設
	② 150,000			※1
	(①—②) 137,000	300%	411,000	※2
合計			929,000	展示場除く
			1,019,000	現展示場あり

※1 建ぺい率より現展示場面積に必要な建築面積

※2 現展示場を除いて建築可能面積と延べ床面積

図表 II-75 利用可能床面積（まとめ）

	緑地を含む	緑地を含まない
展示場を除く	929,000 m ²	758,000 m ²
展示場を含む	1,019,000 m ²	848,000 m ²

2)常滑港(空港地区)南側での展示場拡張余地

現在の愛知県国際展示場がある街区は、同展示場の建築確認申請における建築面積となっている。展示場のある街区で拡張等を考える場合、建ぺい率による制限を考慮しておく必要がある。

そこで、いくつかのシナリオを想定した。

a) シナリオ1：現展示場の平屋建による増築

一敷地一建物の原則より、現展示場を増築するシナリオを考える。

街区面積と建ぺい率から可能な最大建築面積が得られ、現展示場の建築面積との差より、建築面積で約8万m²の増築が可能となる（この場合の展示場の建築面積は172,200 m²となる）。延べ床面積では約77万m²が増築可能面積となる。

街区面積	287,000 m ²	
最大建築面積①	172,200 m ²	287,000×0.6 建ぺい率 60%
最大延べ床面積②	861,000 m ²	287,000×3 容積率 300%
展示場の建築面積③	90,000 m ²	
増築可能な建築面積	82,200 m ²	①—③
増築可能な最大延べ床面積	771,000 m ²	②—③

b) シナリオ2：現展示場と同一敷地としない場合

現展示場がある街区を2分した場合について、同様の計算を行った。

シナリオ1との違いは利用できる延べ床面積の違いであり、これは現展示場の上空にある未利用面積（未利用容積率）の差による。

街区面積④	287,000 m ²	
展示場の建築面積	90,000 m ²	
展示場に必要最小敷地面積⑤	150,000 m ²	90,000÷0.6 建ぺい率 60%
余剰地面積⑥	137,000 m ²	④—⑤
余剰地での建築面積	82,200 m ²	⑥×0.6
余剰地での最大延べ床面積	411,000 m ²	⑥×3 容積率 300%

なお、いずれのシナリオでも駐車場台数について考慮していない。

参考：「大規模開発地区関連交通計画マニュアル」他による駐車場台数等の算出

大規模商業施設等の開発では以下の手法によって来訪者数や駐車場台数を推定し、交通対策を検討することが多い。

(手法)

- ・「大規模開発地区関連交通計画マニュアル」改訂版、2014年6月、国土交通省都市局（以下「マニュアル」という。）
- ・「大規模小売店舗を設置する者が配慮すべき事項に関する指針」、2007年2月1日経済産業省告示16号。

※計算例が「交通対策に関するケーススタディ」2000年12月、通商産業省産業政策局流通産業課（以下「ケーススタディ」という。）となる。

1) 「大規模開発地区関連交通計画マニュアル」による方法

マニュアルは、現行でのショッピングモールなどの開発における影響評価で用いられている方法であり、自動車の発生集中量（どれだけの台数が来るか）を推計する方法である。

なお、実務では、整備する駐車台数を所与として、整備予定台数の場合の渋滞長や混雑度などを試算し、交差点改良や敷地内への引き込み長を長くするなどに生かすことが多い。

ケーススタディが商業施設に限られるのに対して、商業施設以外に住宅、ホテルの原単位が示されている点も大きく異なる。

1)–1 条件の確認：対象となる都市区分

マニュアルにおいて愛知県であれば、市区町村単位の昼間人口が3,000人/k²を超える地域は「三大都市圏郊外部および中枢都市」、これ以外は「三大都市圏周辺部および地方都市」と定義される。

常滑市区の昼間人口密度：1,035人/k²であるので「三大都市圏周辺部および地方都市」となる。

1)–2 商業施設の発生集中原単位

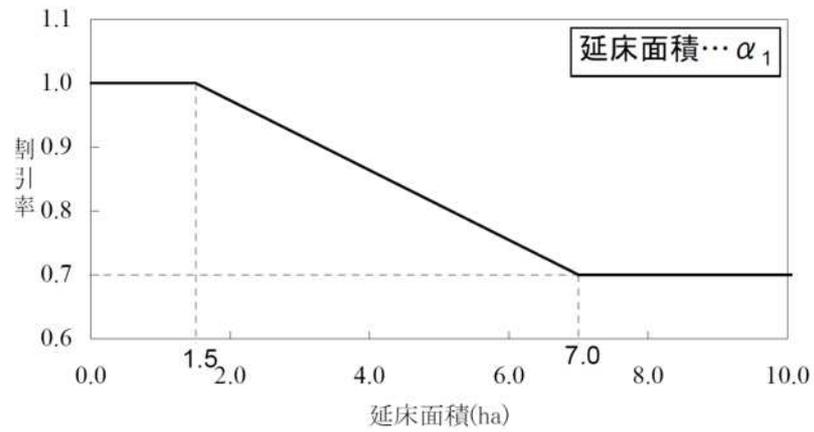
- ・平日

「三大都市圏周辺部および地方都市」での商業施設・平日の発生集中原単位は次式より求まる。

$$10,600 \times \alpha 1 \times \alpha 2 \quad (\text{単位：人 T. E}^*/\text{ha} \cdot \text{日}) \\ = 10,600 \times 0.7 \times 1.0 = 7,420 \quad (\text{人 T. E}/\text{ha} \cdot \text{日})$$

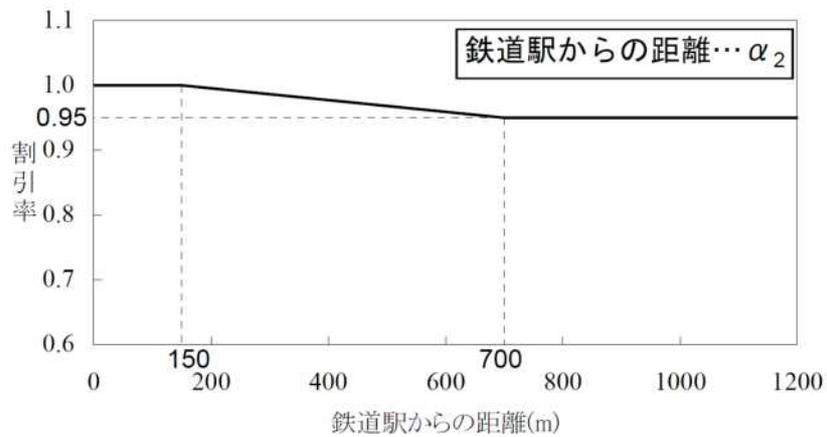
※人 T. E^{トリップ エンド}：人ベースの発生集中交通量

$\alpha 1$: 延床面積による割引率



7.0ha 以上 : 0.7

$\alpha 2$: 鉄道駅からの距離による割引率



150m 以下 : 1.0

・休日

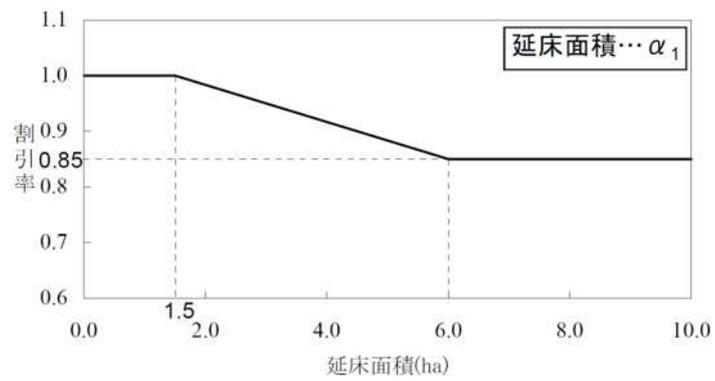
休日の発生集中原単位も同様に以下の設定式より求まる。

$$16,100 \times \alpha_1 \text{ (人 T.E/ha・日)}$$

$$= 16,100 \times 0.85$$

$$= 13,685 \text{ (人 T.E/ha・日)}$$

α_1 : 延床面積による割引率



6.0ha 以上 : 0.85

2) マニュアルでの駐車場台数の算定方法

2)–1 交通手段(機関)分担率

マニュアルでは交通手段分担率をパーソントリップ調査(以下、PT調査)での値を採用することとしている。ここでは以下の値が該当する。

- ・中京都市圏パーソントリップ調査(平成23年) 平日：発生集中量集計
- ・ゾーン区分：代表交通手段(分類B)、中ゾーン・縣市ゾーン(常滑市)
- ・トリップ属性：発生量・集中量・発生集中量(分類B)
- ・施設：商業系施設
- ・目的：日常的な家事・買物

図表 II-76 平日：発生集中量(単位：トリップ)

	鉄道	バス	自動車	原付 ・バイク	自転車	徒歩	不明
トリップ	273	0	6,796	0	66	422	0
構成比	3.6%	0.0%	89.9%	0.0%	0.9%	5.6%	0.0%

この値は空港島内だけではないので、自動車の比率が空港島の実態より高いと思われる。そこで自動車利用率を80%とした。

2)–2 台数換算係数

マニュアルにおける商業施設(平日)で設定されている以下の値を採用する。

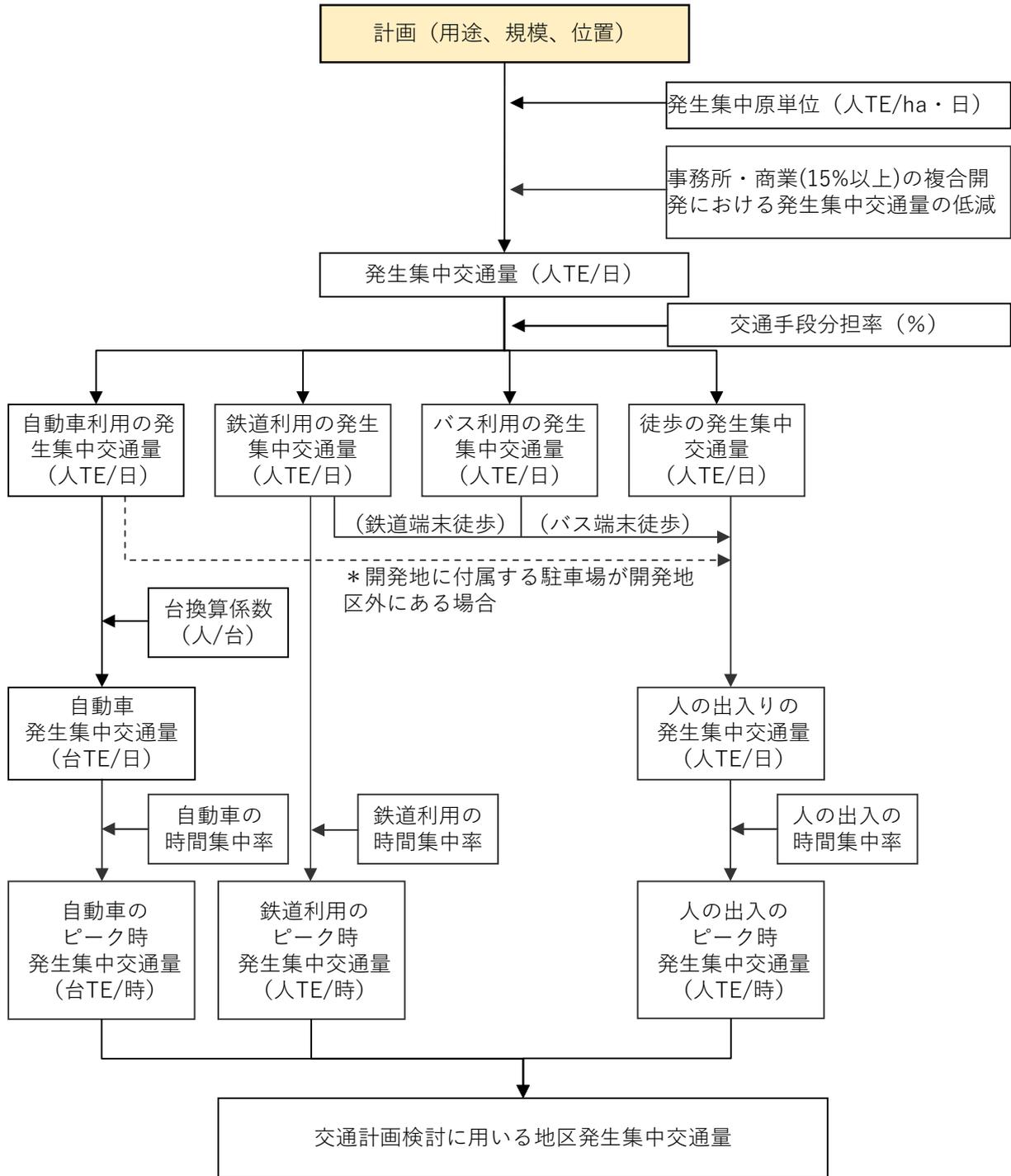
商業施設(平日) 1.5人/台

2)–3 ピーク率

マニュアルでは以下のピーク時交通量が示されている。

	午前	午後
自動車(平日)	7% (9, 10時台)	10% (13~17時台)
自動車(休日)	—	12% (15~17時台)

図表 II-77 「大規模開発地区関連交通計画マニュアル」での検討フロー



3) 「交通対策に関するケーススタディ」による方法

商業施設の影響についてまとめた「大規模小売店舗を設置する者が配慮すべき事項に関する指針、平成19年2月1日経済産業省告示16号」があり、この計算例としてケーススタディが示されている。

特に必要駐車場台数が得られる方法として利用されることが多いが、原単位等設定の調査データが古いこと、商業施設への適用に限られていることに留意がいる。

3)–1 店舗面積当たり日来店客数原単位(単位:人/千㎡)

常滑市は人口40万人未満であり、対象面積は5千㎡以上であることから

$$\text{店舗面積当たり日来店客数原単位} = 950 \text{ (人/千㎡)}$$

とする。

図表 II-78 店舗面積当たり日来店客数原単位

	商業地区	その他地区
人口 40 万人以上	1,500 – 20S (S < 20)	1,400 – 40S (S < 10)
	1,100 (S ≥ 20)	1,000 (S ≥ 10)
人口 40 万人未満	1,100 – 30S (S < 5)	
	950 (S ≥ 5)	

※Sは店舗面積(千㎡)

3)–2 ピーク率

5.7%と指定されている。

3)–3 自動車分担率

60% (人口40万人未満の都市で、駅からの距離300mでの値)

3)–4 平均乗車人員(単位:人/台)

下表より平均乗車人員は2.5(人/台)とする。

図表 II-79 店舗面積別・平均乗車人員

店舗面積	平均乗車人員
10,000 ㎡未満	2.0
10,000 ㎡以上 20,000 ㎡未満	1.5 + 0.05S
20,000 ㎡以上	2.5

※: Sは店舗面積(千㎡)

4) マニュアル、ケーススタディによる商業施設利用者数の推定

(1) マニュアルによる推定式

$$\begin{aligned} \text{想定来訪者数 (／日)} &= \text{平日の発生集中原単位} \times \text{商業施設延べ床面積} \div 2 \\ \text{想定駐車場台数} &= \text{想定来訪者数 (／日)} \times \text{自動車利用率 (機関分担率)} \times \text{台数換} \\ &\quad \text{算係数} \times \text{ピーク率} \end{aligned}$$

・ 平日

$$\begin{aligned} \text{想定来訪者数 (／日)} &= 7,420 \times \text{商業施設延べ床面積 (ha)} \div 2 \\ \text{想定駐車場台数} &= \text{想定来訪者数 (／日)} \times 0.8 \times (\div 1.5) \times 0.07 \\ \text{平日の発生集中原単位} & 7,420 \text{ (人 T.E/ha・日)} \\ \text{自動車利用率 (機関分担率)} & 80\% \\ \text{台数換算係数} & 1.5 \text{ 人／台} \\ \text{ピーク率} & 7\% \end{aligned}$$

・ 休日

$$\begin{aligned} \text{想定来訪者数 (／日)} &= 13,685 \times \text{商業施設延べ床面積 (ha)} \div 2 \\ \text{想定駐車場台数} &= \text{想定来訪者数 (／日)} \times 0.8 \times (\div 1.5) \times 0.12 \\ \text{休日の発生集中原単位} & 13,685 \text{ (人 T.E/ha・日)} \\ \text{自動車利用率 (機関分担率)} & 80\% \\ \text{台数換算係数} & 1.5 \text{ 人／台} \\ \text{ピーク率} & 12\% \end{aligned}$$

(2) スタディによる推定式

$$\begin{aligned} \text{想定来訪者数 (／日)} &= \text{店舗面積当たり日来店客数原単位} \times \text{商業施設延べ床面積} \\ &= 950 \times \text{商業施設延べ床面積 (千m}^2\text{)} \\ \text{想定駐車場台数} &= \text{想定来訪者数} \times \text{自動車分担率} \times \text{平均乗車人員} \times \text{ピーク率} \\ &= \text{想定来訪者数} \times 0.6 \times (\div 2.5) \times 0.157 \\ \text{店舗面積当たり日来店客数原単位} & 950 \text{ (人／千m}^2\text{)} \\ \text{自動車分担率} & 60\% \\ \text{平均乗車人員} & 2.5 \text{ (人／台)} \\ \text{ピーク率} & 15.7\% \end{aligned}$$

例えば商業施設の延べ床面積が 50 千㎡、75 千㎡の場合には、以下の値となる。

図表 II-80 マニュアル・ケーススタディによる想定来訪者数（単位：人/日）

商業施設 延べ床面積(想定)	マニュアル		ケーススタディ
	(平日)	(休日)	
50 千㎡	37,100 人/日	68,425 人/日	47,500 人/日
75 千㎡	55,650 人/日	102,638 人/日	71,250 人/日

駐車場台数は以下となる。

図表 II-81 マニュアル・ケーススタディによる想定駐車場台数（単位：台）

商業施設 延べ床面積(想定)	マニュアル		ケーススタディ
	平日 ピーク率 7%	休日 ピーク率 12%	
50 千㎡	693 台	2,190 台	1,790 台
75 千㎡	1,039 台	3,284 台	2,685 台

III. 空港を起点とした周遊観光の検討

1 国内外における周遊観光の拠点となる施設の事例

「MICE を核とした国際観光都市」への来訪者が、空港を起点として様々な地域に足を運べるよう、国内外の観光拠点や観光案内施設の事例調査等により、来訪者のニーズに対応する魅力的な観光資源との連携方策や、空港やその周辺エリアで賑わいを高めていくために必要な機能について検討した。

1-1 国内外の事例調査

文献調査等を踏まえ、「MICE を核とした国際観光都市」として、観光の拠点あるいは周遊観光の拠点としての参考となる国内外の先進事例を調査した。

図表 III-1 国内外の事例調査対象

■PR 施設

ミラノ万博日本館／ジャパン・ハウス／NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI／パリ日本文化会館／韓国観光公社 K-style Hub

■観光案内所・旅行手配等

JR EAST Travel Service Center / 東京シティアイ / 東京都台東区立浅草文化観光センター / 東京観光情報センター バスタ新宿 / TIC TOKYO / 京都総合観光案内所「京なび」 / TRAVEL HUB MIX (トラベルハブミックス) / YANESEN Tourist Information & Culture Center / GLOCAL CAFÉ IKEBUKURO / JTB 「観光型 MaaS」

(1)PR施設

1)ミラノ万博日本館

図表 III-2 ミラノ万博日本館

施設概要 ・コンセプト	2015年ミラノ万博に出展された、日本を紹介するパビリオン
運営主体	農林水産省及び経済産業省を幹事省、国土交通省を副幹事省とし、ジェットロも参画
開所日	2015年5月1日～10月31日(184日間)
所在地・アクセス	イタリア共和国ミラノ市郊外 トレニタリア者列車停車駅：Rho-Fiera Milano EXPO 2015 所要時間：各駅停車からフレッチャビアンカ（特急）まで運行。最速約10分。
施設内容	<u>5シーン9ゾーンに分かれる（展示場、レストラン、催事場）</u> 第一展示室 日本の食の産地を表現 第二展示室 日本食 第三展示室 日本のクリエイティブ・ソリューション 第四展示室 クールジャパンダイニング 第五展示室 地球食をテーマとしたショー
規模（床面積等）	敷地面積 4,170 m ² 延床面積 4,390 m ² 地上2階
営業日・時間	11:30 ～ 22:30
周遊を促す工夫	日本館公式アプリと、館内の「ダイバーシティの滝」を組み合わせた <u>バーチャル・リアル融合型の展示</u> <u>日本の食材を活用したレストランを併設し、欧州他各国からの来館者に、日本の食文化の素晴らしさを体感してもらう</u>
その他	総来場者数2,150万人のうち、日本館は228万人の来館者。 2,000 m ² 超の自己建築型パビリオンの展示デザイン部門で金賞受賞
参考 URL	https://www.meti.go.jp/policy/exhibition/milano2015.html



出典：農林水産省資料

https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/syokusan/bukai_18/pdf/data5.pdf

2) ジャパンハウス

図表 III-3 ジャパンハウス

施設概要 ・コンセプト	日本の最高のアートやデザイン、イノベーション、テクノロジー等を紹介することを通して、日本への認知度や理解を培うことを目指している。
運営主体	外務省が設置し、現地の民間企業に委託 ※外務省には学者やデザイン、食、伝統芸能等の専門家から成る「ジャパン・ハウス有識者諮問会議」が設置されており、専門的見地に基づき、ジャパン・ハウスの展示や運営等に対する助言をおこなっている。
開所日	サンパウロ：2017年5月6日 一部公開開始 ロサンゼルス：2017年12月一部先行開館、 2018年8月24日全館開館 ロンドン：2018年6月21日
所在地・アクセス	サンパウロ：(Av. Paulista 52 - 2° andar - Bela Vista 地下鉄 Brigadeiro 駅から徒歩3分)、1階、中2階、2階 ロサンゼルス：(Hollywood & Highland Center 6801 Hollywood Boulevard, 2F and 5F) ハリウッド・ハイランドモール2階・5階 ロンドン：(101-111 Kensington High Street, Kensington, London W8, UK ハイストリートケンジントン駅から徒歩約1分) 地下1階、1階、2階
施設内容	サンパウロ：展示スペース、多目的スペース、セレクトショップ、レストラン、書籍、カフェ ロサンゼルス：セレクトショップ、ギャラリー、カフェ、レストラン、ライブラリ、ラウンジ、多目的サロン ロンドン：ギャラリー、シアター、セレクトショップ、レストラン、ライブラリ ⇒ 身体を通して日本文化を感じ、消費欲求が喚起される活動を展開
規模（床面積等）	サンパウロ：2,496 m ² （総面積） ロサンゼルス：ハリウッド&ハイランドセンター2階（560 m ² ）、5階（740 m ² ） ロンドン：約2,700 m ² （施設面積）地下1階-地上2階までの3フロア
営業日・時間	サンパウロ：火～土曜日 10:00～20:00 日曜日・祝日 10:00～18:00、閉館日（月曜日） ロサンゼルス：5階ライブラリー及びサロン 月～土曜日

	<p>(10:00~20:00)、日曜日 (12:00~19:00) 閉館日 (感謝祭、クリスマス・デー、アカデミー賞授賞式全日及び当日) ロンドン : 月~土曜日 (10:00~20:00)、日曜日 (12:00~18:00)</p>
その他	<p>平昌 2018 大会で設置された Tokyo 2020 JAPAN HOUSE では、東京 2020 大会 PR コーナー、開催都市東京 PR コーナー、日本文化体験コーナー (ORIGINAL “ORIGAMI”)、THE TOKYO TRAVELLERS コーナー、東京 2020 大会に向けた取組紹介コーナー、東京 2020 大会 追加競技イメージフォトコーナー等が設けられた。</p>
参考 URL	<p>https://www.japanhouse.jp/what/ https://tokyo2020.org/jp/special/pyeongchang-to-tokyo/japanhouse/</p>



ジャパンハウス (左 : サンパウロ、中 : ロサンゼルス、右 : ロンドン)

出典 : 外務省 HP

https://www.mofa.go.jp/mofaj/p_pd/pds/page24_000421.html

3)NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI

図表 III-4 NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI

施設概要 ・コンセプト	日本各地にある国宝などの文化財や史跡、観光資産の魅力を最先端の表現技術を用いて体験できる、情報発信と価値創造の共創拠点
運営主体	凸版印刷
開所日	2018年6月7日
所在地・アクセス	東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル1階/2階 JR「有楽町駅」国際フォーラム口より徒歩2分 東京メトロ有楽町線「有楽町駅」D3出口より直結
施設内容	オリエンテーションラウンジ、ツーリズムギャラリー、VRシアター、VRテクノロジーギャラリー、露地、スーパープレゼンテーションルーム、フューチャーギャラリー、イベントルーム
規模（床面積等）	東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル1階/2階 約2,000平方メートル（敷地面積）
営業日・時間	月～金曜日（土・日・祝日/凸版印刷定休日は休館） 10:00～18:00（イベントルームは9:00～18:00）
観光情報の紹介方法・対応言語	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>VRシアター</u> ・写真集、書籍、映像を集めたライブラリー ・プロジェクションマッピング ・マルチ画面タッチパネルサイネージ ・三次元計測器 ・55インチモニター8Kディスプレイ 対応言語： <u>音声による多言語コミュニケーションサービス</u> <u>（音声で11カ国語、テキストでは30カ国語）</u>
その他	・ <u>完全予約制</u> （凸版印刷社員による事前予約制）
参考 URL	https://www.toppan.co.jp/nippongallery/

4)パリ日本文化会館

図表 III-5 パリ日本文化会館

施設概要 ・コンセプト	世界最大の日本文化センター
運営主体	国際交流基金
開所日	1997年5月13日
所在地・アクセス	パリ 101 bis, quai Branly 75015 Paris, France フランス・パリ：エッフェル塔より徒歩約5分 メトロ6番線 Bir-Hakeim（ビラケム駅）、 RER C線 Champ de Mars-Tour Eiffel（シャン・ド・マル ス＝トゥール・エッフェル駅）
施設内容	地上6階、地下5階 大ホール、フォワイエ、小ホール、教室、展示ホール、図 書館、日本語教室、茶室、厨房スペース、レセプションホ ール
規模（床面積等）	総床免責7,500㎡、うち一般公開スペース4,500㎡、 地上6階を含む全11階建て
営業日・時間	火～土曜日（12:00～20:00）、年末年始休館日（2018年12 月28日（金）～2019年1月3日（木））（*図書館は2018 年12月22日～2019年1月3日まで休館）
周遊を促す工夫	展示、公演、映画、講演会、図書館、日本語事業、 <u>子供向 け事業</u> 、アトリエ教室（茶道・書道・生け花・折り紙・マ ンガなど体験型学習）など
その他	<u>会員サービスあり（年会費、特典つき、1年間有効）</u> 貸出可能な図書が約9千冊 公演、イベントは公演日の30日前からホームページ予約 可能。
参考 URL	https://www.mc.jp.fr/

5)韓国観光公社 K-style Hub

図表 III-6 韓国観光公社 K-style Hub

運営主体	韓国観光公社
開所日	2016年4月
所在地・アクセス	ソウル特別市 中区 清溪川路 40 韓国観光公社 2～5階 ソウル地下鉄1号線「鐘閣駅」5番出口より徒歩約5分／ ソウル地下鉄2号線「乙支路入口駅」2番出口より徒歩約5分／ ソウル地下鉄5号線「光化門駅」5番出口より徒歩約10分
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2階 観光案内センター・医療観光広報センター 旅行相談の他、AR・VR体験が可能。韓国の先端医療観光情報・体験（自分の体質にあった韓方茶の試飲、肌チェック、体の状態チェック、ストレス数値チェック）も提供。カフェ併設。 ・3階 韓食文化展示館 24節気とそれに伴う歳時風俗、料理の発達に関する展示、伝統的なチャントクデ（瓶置き場）の再現 外国語（英・日・中）での解説サービスを実施（予約不要、現地申込可） ・4階 韓食文化館 韓国固有の食材で料理して味わう「韓食料理クラス」、韓食や伝統茶菓、伝統酒などが味わえる「韓食体験マダン」、韓食に関する各種の資料が揃う「韓食舎廊房（サランバン）」（体験は有料、要事前予約） ・5階 韓国ローカル観光体験館 韓国各地のローカル観光関連の情報、企画展示の観覧、韓服体験、工芸体験など
営業日・時間	<p>年中無休</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2階 9:00～20:00 ・3階 9:00～19:00(平日)、9:00～20:00(週末) ・4階 10:00～20:00 ・5階 9:00～19:00 ※韓服、工芸体験は9:00～18:00
その他	入場料無料、団体客で解説を希望する場合は要予約、礼拝室あり
参考 URL	https://japanese.visitkorea.or.kr/jpn/TMC/TE_JA_7_5.jsp?cid=2388757



出典：観光庁 外国人観光案内所先進事例調査について（2018年6月）

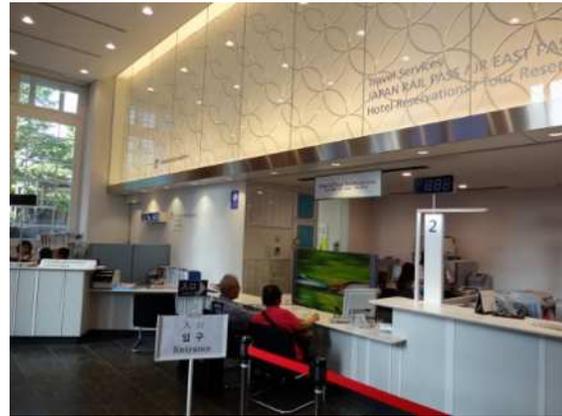
<https://www.mlit.go.jp/common/001243000.pdf>

(2)観光案内所・旅行手配等

1)JR EAST Travel Service Center (Tokyo Station)

図表 III-7 JR EAST Travel Service Center (Tokyo Station)

運営主体	トラベックスジャパン株式会社
開設日	2012年10月1日
所在地・アクセス	東京都千代田区丸の内1-9-1 JR東京駅丸の内北口
施設内容	外貨両替機：1台、窓口：2つ
提供サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内・旅程相談： <u>JR 東日本エリアを中心に全国の観光情報に対応</u> ・旅行カウンター（JR EAST PASS の引き換え等） ・手荷物関連サービス ・外貨両替、ATM ・取り扱い通貨 33 通貨
対応言語	英語、中国語、韓国語のガイドが常駐
規模（床面積等）	41.6 m ²
営業日・時間	7:30～20:30 （ATM は 7:30～22:00）
参考 URL	https://www.tokyoinfo.com/access/jretsc.html



2)東京シティアイ

図表 III-8 東京シティアイ

運営主体	JTB
開設日	2013年3月
所在地・アクセス	東京都千代田区丸の内2丁目7-2 KITTE 地下1階、1階 東京駅地下道で直結、東京駅丸の内南口より徒歩1分
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェ：旅行ガイドブックが閲覧可能 ・イベントスペース（約200㎡） ・ビジネスゾーン：外国企業や外国人企業家向けのビジネス支援等
提供サービス	観光案内、各種手配（ <u>宿泊予約や当日チケット、乗車券の手配等</u> ）、日本文化体験、インターネットサービス、イベント情報、
対応言語	日本語・中国語・英語・韓国語
営業日・時間	8:00～20:00 休館日：1月1日、毎年6月最終日曜日
その他	JNTO 認定カテゴリー3
参考 URL	https://www.tokyocity-i.jp/



3)東京都台東区立浅草文化観光センター

図表 III-9 東京都台東区立浅草文化観光センター

運営主体	台東区
開設日	2012年4月20日
所在地・アクセス	東京都台東区雷門2丁目18-9（浅草雷門前） 東武伊勢崎線（東武スカイツリーライン）浅草駅から徒歩5分 東京メトロ銀座線 浅草駅（出口2）から徒歩1分 都営浅草線 浅草駅（A4出口）から徒歩2分 つくばエクスプレス 浅草駅（A1出口）から徒歩10分
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地上8階、地下1階 ・外貨両替所 ・観光情報コーナー ・多目的スペース ・展示スペース、イベントスペース、展望テラス、カフェ、授乳室
提供サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨両替 ・観光情報コーナー ・無料Wi-Fi ・AC電源
対応言語	日本語・英語・韓国語・中国語（案内カウンター）
規模（床面積等）	326.23 m ² ※敷地面積
営業日・時間	営業時間：9:00～20:00 定休日：なし カフェ：10:00～20:00
参考URL	http://www.city.taito.lg.jp/index/bunka_kanko/oyakudachi/kankocenter/a-tic-gaiyo.html



4)東京観光情報センター バスタ新宿

図表 III-10 東京観光情報センター バスタ新宿

運営主体	公益財団法人 東京観光財団
開設日	2016年4月
所在地・アクセス	東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-55 バスタ新宿3階 JR 新宿駅新南口から徒歩1分 バスタ新宿待合室に隣接
施設内容	外貨両替機
提供サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内サービス ・Wi-Fi スポット ・PC 利用 ・<u>チケット各種手配</u> ・<u>宅配・手荷物預かり配送</u> ・両替 ・電源
対応言語	日本語・英語・中国語・韓国語（観光案内サービスのみ）
規模（床面積等）	313㎡/うち事業者用面積約29㎡（うちバックヤード※約8㎡を含む） ※宅配・手荷物預かり業務の荷物預かりスペース
営業日・時間	営業時間：6：30～23：00 年中無休
その他	人型ロボット「Pepper」が出迎え、館内のサービスや全国の観光地を案内
参考 URL	https://tokyotouristinfo.com/detail/J0005



図表 III-11 TIC TOKYO

運営主体	森トラスト・ホテルズ・リゾーツ株式会社
開設日	2009年6月1日
所在地・アクセス	東京都千代田区丸の内1丁目8-1 丸の内トラストタワーN館 1階 東京駅・日本橋口より徒歩1分 地下鉄東京メトロ東西線 大手町駅B7出口より徒歩1分 または 日本橋駅A3より徒歩4分
施設内容	コンシェルジュカウンター、無料情報端末・パンフレット閲覧スペース、大型スクリーン、カフェスペース、イベントスペース
提供サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・東京および全国の観光案内 ： <u>地方の観光案内所と Skype で繋ぐことで信頼性・即時性のある、桜開花状況・積雪状況等のリアルタイム情報、周辺スポットや交通案内等を提供し、現地への周遊を促進。</u> ・ <u>観光地、観光ルートの紹介</u> ・交通アクセスの案内 ・ <u>宿泊施設の予約</u> ・ <u>外国人向けツアーの予約</u> ・ <u>割引チケットの販売</u> ・情報端末での情報提供 ・無料Wi-Fiスポット/インターネット利用 ・TIC TOKYO 隣接カフェでのフリースペース利用
対応言語	日本語・英語・フランス語・中国語（観光案内窓口）
規模（床面積等）	約120㎡
営業日・時間	営業時間：9:00～18:00 定休日：年末年始及びビルが指定する日
その他	加盟契約（120万円/年）を行った地方観光地のパンフレット設置、ポスター掲示、動画放映を行う他、マーケティング情報を提供。
参考URL	https://www.tictokyo.jp/



6)京都総合観光案内所「京なび」

図表 III-12 京都総合観光案内所「京なび」

運営主体	京都市、京都府
開設日	2010年3月16日
所在地・アクセス	京都府京都市下京区東塩小路町 塩小路下る (京都駅ビル 2F 南北自由道路沿い)
提供サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内・相談（京都市を含む府全域の案内） ・観光情報発信 ・公共交通乗車券・催事チケット等、観光関連チケット販売 ・当日の宿泊施設紹介・斡旋
対応言語	英語・中国語・韓国語・朝鮮語
規模（床面積等）	約 280 m ²
営業日・時間	営業時間：8:30～19:00 年中無休
その他	JNTO 外国人観光案内所カテゴリー3 認定
参考 URL	https://ja.kyoto.travel/information/



7) TRAVEL HUB MIX(トラベルハブミックス)

図表 III-13 TRAVEL HUB MIX (トラベルハブミックス)

運営主体	(株)パソナ ※共同企画運営会社：株式会社 TOKYOJP 会員企業（2017年7月末時点）：サッポロビール(株)、 Ctrip.com international Ltd.、パナソニック(株)、(株)handy Japan
開設日	2017年8月1日
所在地・アクセス	東京都千代田区大手町2-6-2 JOB HUB SQUARE 1階 (東京駅日本橋口すぐ)
施設内容	大型マルチモニター、ライブキッチンカウンター、 インターネット放送局、コミュニティスペース、
提供サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>空港即日配送窓口、荷物預かりサービス</u> ・ 観光用スマートフォンの無料貸出し（日本初） ・ 旅関連書籍ライブラリーの無償貸し出し ・ <u>VRによる仮想旅行体験</u> ・ トラベルガイド ・ 日本のお土産買い物ツアー等、様々なテーマのツアーガイド ・ 観光タクシー等の2次交通手配 ・ ライブラリー
対応言語	日本語・英語・中国語
規模（床面積等）	約 360 m ² （約 110 坪）
営業日・時間	【観光案内】月曜～土曜／10:00～18:00（日曜定休） 【コミュニティスペース】月曜～日曜／8:00～23:00
周遊を促す工夫	<u>地域外の観光地を疑似体験することで、周遊に繋げることを目的に VR を設置</u>
参考 URL	https://travelhubmix.com/access/



出典：Tokyo Tourist Information WEB サイト

8)YANESEN Tourist Information & Culture Center

図表 III-14 YANESEN Tourist Information & Culture Center

運営主体	株式会社 和ライフ
所在地・アクセス	東京都台東区谷中 3-13-7 東京メトロ千代田線 千駄木駅 2 番出口から徒歩 4 分、 JR 各線、京成線 日暮里駅北改札出口から徒歩 7 分
コンセプト	一期一会 : 外国人旅行者と日本文化の出会い「一期一会」をコンセプトに、また、「文化は暮らしの中に」をモットーに日本の伝統文化体験を提供。
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi スポット・電源 ・日本文化体験：料理・茶道・水墨画・書道等、約 20 のプログラムを用意。ネット上での予約も可能。当日予約が可能なメニューもあり。 <u>地域を巻き込んだ国際交流の拠点となっている。</u> ・周辺飲食店案内 ・日本各地の観光ボランティアガイド紹介・手配 ・お土産コーナー ・谷根千日本語学校：長期滞在者向けの日本文化を体験しながら日本語を学ぶ講座、旅行者向けの「旅の日本語レッスン・2 時間コース」を開講
提供サービス	伝統文化体験プログラム、 地域の案内（谷中、根津、千駄木の店舗、観光案内） 日本各地の観光ボランティア紹介
対応言語	日本語・英語 ※地域の無料ガイドマップは英語・フランス語・韓国語・中国語に対応
規模 (床面積等)	1 階：インフォメーションセンター 2 階：文化交流スペース（日本語教室、文化教室） 3 階：歌舞伎体験スタジオ
営業日・時間	10:00～18:00 年中無休
その他	地域と外国人旅行者をつなぐモデル事業として、下町文化の残る当該地域に開設
参考 URL	https://www.ti-yanesen.jp/ja/



出典：Tokyo Tourist Information WEB サイト

9)GLOBAL CAFÉ IKEBUKURO

図表 III-15 GLOBAL CAFÉ IKEBUKURO

運営主体	株式会社グローカルポイント
開設日	2018年3月21日
所在地・アクセス	東京都豊島区1 豊島区 東池袋 3丁目11 サンシャインシティ アルパ1階 東池袋駅（東京メトロ有楽町線）より徒歩約3分 池袋駅（JR・東京メトロ・西武線・東武線）より徒歩約8分
コンセプト	世界（Global）と地域（Local）をつなぐ「グローバルマインド&ローカルハーツ」
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェ席数100席以上、4つのエリア（※）で構成 ※ダイニングエリア、イベントエリア、ラウンジエリア、HANARE ・Wi-Fiスポット ・PC利用 ・両替 ・電源あり
提供サービス	VRを使った日本各地の観光体験、セミナー、トークショー、イベント（※）、展示会、レンタルスペースとしての貸切利用 ※世界と日本の文化・食・音楽等のテーマでセミナーやトークショー、試飲食企画等を開催。 <u>地元池袋の交流の場にもなっている。</u>
対応言語	日本語・英語・中国語・韓国語
規模（床面積等）	不明
営業日・時間	平日：7:30～22:00 土日祝：8:30～22:00
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・JNTO 外国人観光案内所カテゴリー3 認定 ・GLOBAL CAFÉ は池袋の他、2016年4月に青山に1号店をオープンしており、青山と日本各地、世界をつなぐ文化イベントの開催実績がある。
参考URL	https://glocalcafe.jp/ikebukuro/

10) JTB「観光型 MaaS」

図表 III-16 JTB「観光型 MaaS」

サービス概要	MaaS ² の概念を観光に活用するもので、 <u>観光拠点からのアクセスについて、利用期間・区間に合わせた周遊パスの導入、交通以外の観光の予約決済と連携した地域での周遊を促進する仕組み。</u>
運営主体	JTB
実証実験例	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県豊見城市（2017年11～12月）： 観光客に対するバスルート案内サービスと移動支援等の情報提供 ・広島県（2018年1月）： 周遊乗車券を購入した外国人旅行者が自ら登録するパーソナルデータと交通系 IC カード「PASPY」を連携させ、バスやタクシー、旅行などのサービス事業者が「IoT おもてなしクラウド」から情報提供される訪日外国人のパーソナルデータに基づき、各自に適したサービスを提供する仕組みを検証 ・福島県会津若松市（2018年3月）： 観光客と生活者の双方が利用できるシェアリング交通として、AI 運行バスを活用。 ・静岡県伊豆地域では、日英2カ国語に対応したアプリ「Izuko」を利用し、伊豆急行と伊豆箱根鉄道駿豆線、伊豆箱根バスと東海バスを検索でき、AI オンデマンド乗合交通やレンタサイクル、レンタカーの予約もできる仕組み。運賃の決済はキャッシュレスで、2種類のデジタルフリーパスや観光施設入場券の購入を通して行う。 <div data-bbox="1118 987 1394 1267" style="text-align: right;">  <p>伊豆の旅行が、 かつてないほど便利に。</p> </div> <p style="text-align: right;">出典：静岡県資料</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・JTB と株式会社未来シェアが資本業務提携締結（2019年3月）： 未来シェアが開発したオンデマンド・リアルタイム配車サービス「SAVS (Smart Access Vehicle Service)」を利用し、港や観光地でデマンド型の乗合いタクシーによって交通課題の解決に向けた実証を実施。 ・JTB の今後の取り組み <ol style="list-style-type: none"> ①外国船が寄港する港における「クルーズ型 MaaS」の推進 ②MICE や大型イベントなどの短期間で一時的な交通課題に対応することが可能な「イベント型 MaaS」の推進 ③他の MaaS プラットフォーマーと「観光型 MaaS」領域の連携 ④観光客の 2 次・3 次交通のオンデマンド提供により集積されるビッグデータを活用した観光地のマーケティング

² MaaS (Mobility as a Service) とは、ICT を活用し、あらゆる交通手段による移動を一つのサービスとしてとらえ、シームレスにつながり新たな「移動」の概念であり、利用者はスマートフォンのアプリを用いて、交通手段やルートを検索、利用し、運賃等の決済を行う事ができる。

参考 URL

[https://www.jtbcorp.jp/scripts_hd/image_view.asp?menu=news
&id=00239&news_no=238](https://www.jtbcorp.jp/scripts_hd/image_view.asp?menu=news&id=00239&news_no=238)

1-2 必要な機能の整理

「MICE を核とした国際観光都市」として相応しい、観光の拠点あるいは周遊観光の拠点となるために必要な事項として、項目別に整理する。

図表 III-17 機能整理

項目	概要	参考施設
ワンストップ機能	<ul style="list-style-type: none"> ・利用期間・区間に合わせた周遊パスの導入 ・交通以外の観光の予約決済と連携した地域での周遊を促進する仕組み 	JTB「観光型 MaaS」
	公共交通乗車券・催事チケット等、観光関連チケット販売	京都総合観光案内所「京なび」
	各種手配(宿泊予約や当日チケット、乗車券の手配等)	東京シティアイ
	チケット各種手配	バスタ新宿
旅行計画の提案	訪日外国人のパーソナルデータに基づき、各自に適したサービスを提供	JTB「観光型 MaaS」
スタッフによる多言語案内	観光情報を多言語にて対応	JR EAST Travel Service Center (英語、中国語、韓国語)
		東京シティアイ (日本語・中国語・英語・韓国語)
		東京都台東区立浅草文化観光センター (日本語・英語・韓国語・中国語)
		バスタ新宿 (日本語・英語・中国語・韓国語)
		TIC TOKYO (日本語・英語・フランス語・中国語)
		京都総合観光案内所「京なび」 (英語・中国語・韓国語・朝鮮語)
		TRAVEL HUB MIX (日本語・英語・中国語)
		YANESEN Tourist Information &

		Culture Center (日本語、英語)
		GLOCAL CAFÉ IKEBUKURO (日本語・英語・中国語・韓国語)
情報端末 (タブレット等) による多言語案内	多言語による解説サービス	韓国観光公社 K-style Hub
	音声、テキストによるコミュニケーションサービス	NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI
文化の発信	日本食の体験	ミラノ万博日本館
	展示スペース、多目的スペース、ギャラリー、シアター、ライブラリ	ジャパンハウス (サンパウロ)
		ジャパンハウス (ロサンゼルス)
		ジャパンハウス (ロンドン)
日本文化の紹介 (茶道・書道・生け花・折り紙・マンガなど体験型学習)	パリ日本文化会館	
物販・飲食	セレクトショップ	ジャパンハウス (サンパウロ)
		ジャパンハウス (ロサンゼルス)
		ジャパンハウス (ロンドン)
	レストラン・カフェ	ジャパンハウス (サンパウロ)
		ジャパンハウス (ロサンゼルス)
		ジャパンハウス (ロンドン)
		TIC TOKYO
交流	イベントスペース	TIC TOKYO
	コミュニティスペース	TRAVEL HUB MIX
	セミナー、トークショー、イベント展示会、レンタルスペースとしての貸切利用	GLOCAL CAFÉ IKEBUKURO
接客	コンシェルジュカウンター	TIC TOKYO
体験・コンテンツの提供	日本の食材を活用したレストランを併設し、欧州他各国からの来館者に、日本の食文化の素晴らしさを体感してもらう	ミラノ万博日本館
	オリエンテーションラウンジ、イベントルーム	NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI
	ライブキッチンカウンター	TRAVEL HUB MIX
	韓国ローカル観光体験館：韓国各地のローカル観光	韓国観光公社 K-style Hub

	関連の情報、企画展示の観覧、韓服体験、工芸体験など	
	<ul style="list-style-type: none"> ・韓食文化館：韓国固有の食材で料理して味わう「韓食料理クラス」 ・韓食や伝統茶菓、伝統酒などが味わえる「韓食体験マダン」 ・韓食に関する各種の資料が揃う「韓食舎廊房（サランバン）」 	韓国観光公社 K-style Hub
	韓食文化展示館：24 節気とそれに伴う歳時風俗、料理の発達に関する展示、伝統的なチャントクデ(瓶置き場)の再現	韓国観光公社 K-style Hub
AR・VR等 最先端技術の 導入	バーチャル・リアル融合型の展示	ミラノ万博日本館
	<ul style="list-style-type: none"> ・写真集、書籍、映像を集めたライブラリー ・プロジェクションマッピング ・マルチ画面タッチパネルサイネージ 	NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI
	観光情報、韓国の先端医療観光情報	韓国観光公社 K-style Hub
	地域外の観光地を疑似体験	TRAVEL HUB MIX
	日本各地の観光体験	GLOCAL CAFÉ IKEBUKURO
	地方の観光案内所とのSkype 接続による信頼性・即時性のある情報(桜開花状況・積雪状況等)	TIC TOKYO
観光ルートのご案内	周辺スポットや交通案内等を提供し、現地への周遊を促進	TIC TOKYO

以上で整理した項目を、機能別に整理すると、以下の4つに分類される。

図表 III-18 機能整理 (4分類)

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">■ 観光案内機能<ul style="list-style-type: none">・ 利用者の関心等に応じ、旅行計画を提案し、必要なサービスの手配をワンストップで実施。■ 多言語対応機能<ul style="list-style-type: none">・ 英語を含め複数の外国語（対面、表示等）で提供。■ 情報提供機能<ul style="list-style-type: none">・ 多数の来訪客に対応できる情報提供・接客や待合のスペースを具備。■ 観光コンテンツ表示機能<ul style="list-style-type: none">・ 日本各地の観光の魅力や旅行者に必要な情報を、VR等の最先端技術等を活用し、効果的・適切な方法で発信。 |
|--|

「MICEを核とした国際観光都市」の実現に向け、周遊観光の拠点となる施設を整備するとともに、上記で整理した機能を具備していくことが望ましい。

2 来訪者ニーズに対応した観光資源との連携

MICE の来訪者が余暇時間を過ごすために、中部国際空港周辺、名古屋市、あるいは愛知県内の観光資源の情報を提供し、それらの観光資源を体験してもらうことが必要となる。

ただし、来訪者のニーズは、愛知県で提供出来る観光コンテンツ以外にも及ぶことから、愛知県だけでなく、岐阜県や三重県といった東海地域の資源、あるいは昇龍道エリアや東京、大阪も含めた広範の観光地も含め、提供していくことが、真の来訪者の満足度に繋がる。

中部国際空港から名古屋駅を経由すれば、高速交通ネットワークが充実しており、各地への移動もしやすい強みを活かしながら、周遊観光を促していく。

上記の観点を念頭におき、提供出来る観光資源を整理するため、愛知県、岐阜県、三重県および周辺地域において、入込客数の多い観光地について、空港からの所要時間の確認や客観的な評価をした（投稿サイトにおけるクチコミ件数、評価）。

また、空港から各地への二次交通の状況、当該地域に来訪する外国人の動向、今後行われる大規模プロジェクトの動向について整理した。

2-1 観光資源の分布状況

中部国際空港を起点として、来訪が期待出来る観光資源について、中部国際空港からの到達時間、評価とともに、入込客数の多い施設について整理を行った。

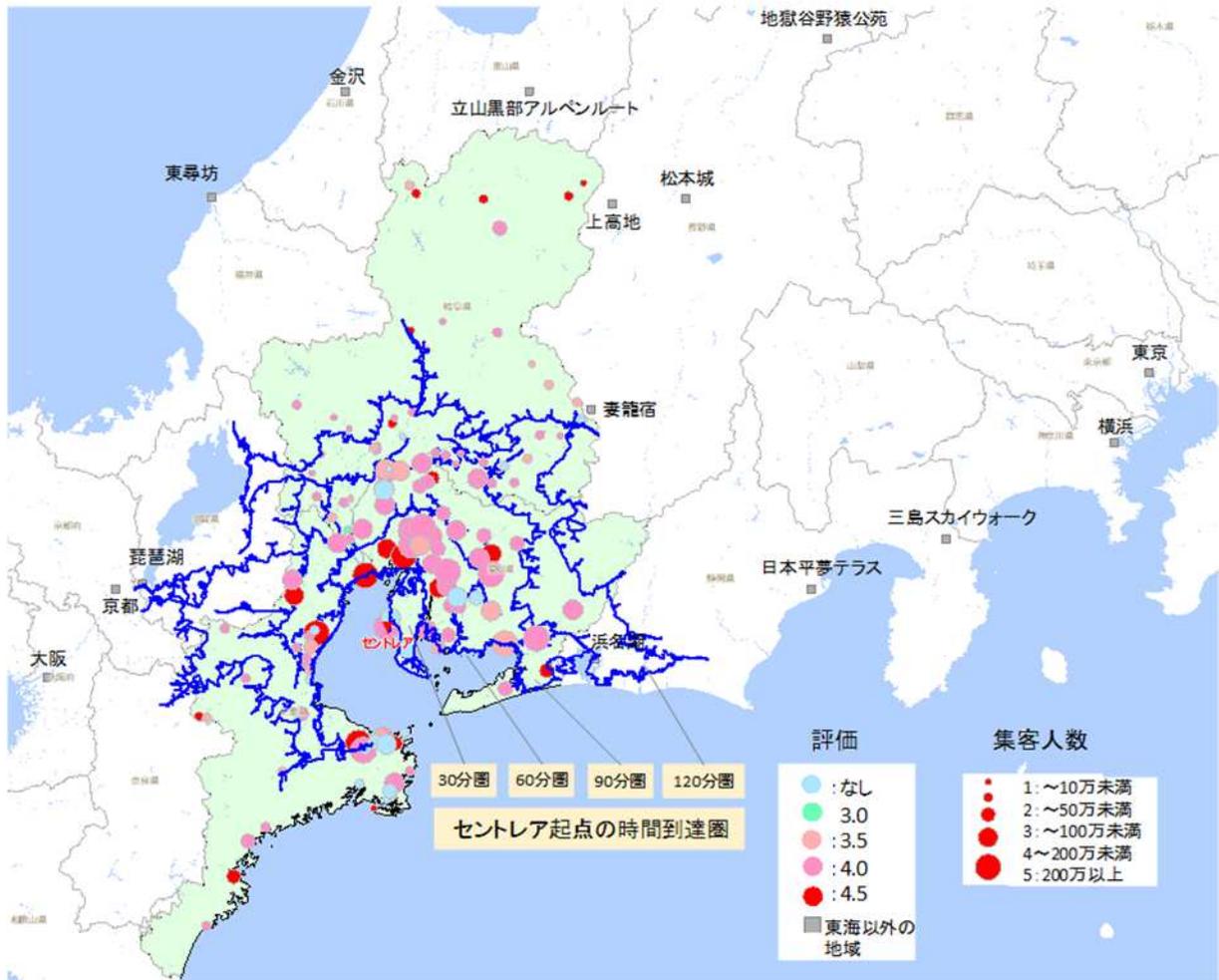
(1)調査方法

以下に示す方法で調査を行った。

- ・愛知県、岐阜県、三重県の各県の観光統計をもとに、入込客数の多い観光資源を抽出（2017年時点のものを活用）。また、3県以外にも、昇龍道エリアを中心に、主要な観光地を抽出した。
- ・GoogleMap を用いて、中部国際空港からのアクセス（所要時間および交通機関（車もしくは鉄道））を算出。
- ・旅行情報サイト「トリップアドバイザー」にて、各施設のクチコミ件数および評価を整理（2019.6.30時点）。

(2)観光資源の分布状況

図表 III-19 観光資源の分布状況



■愛知県

図表 III-20 愛知県の観光資源

NO	市町村	観光資源名	観光入込客数	所要時間(分)	交通機関	口コミ件数	評価
1	常滑市	中部国際空港来場者	11,830,000	—	—	420	4.0
2	常滑市	めんたいパークとこなめ	1,257,854	5	車	137	—
3	美浜町	えびせんべいの里	1,269,432	20	車	138	—
4	名古屋市	熱田神宮	7,090,427	30	鉄道	1,642	4.0
5	碧南市	あおいパーク	1,009,659	30	車	17	4.0
6	豊明市	中京競馬場	1,208,479	37	車	56	4.0
7	刈谷市	刈谷市交通児童遊園	1,345,331	39	車	52	4.5
8	西尾市	西尾市憩の農園	693,338	40	車	15	4.0
9	名古屋市	瑞穂運動場	1,449,293	41	車	30	3.5
10	名古屋市	久屋大通庭園(フラリエ)	625,073	41	車	66	4.0
11	名古屋市	名古屋城	1,830,404	42	鉄道	3,367	4.0

NO	市町村	観光資源名	観光入込客数	所要時間(分)	交通機関	口コミ件数	評価
12	知立市	三河三弘法・遍照院	1,271,000	44	車	10	4.0
13	名古屋市	名古屋市農業センター	643,564	44	車	81	4.0
14	刈谷市	刈谷ハイウェイオアシス	8,848,000	45	車	374	4.0
15	名古屋市	にっぽんど真ん中まつり	2,250,000	45	鉄道	17	4.0
16	名古屋市	名古屋港水族館	2,195,051	45	車	1,208	4.5
17	名古屋市	愛知県美術館	1,169,140	45	車	78	4.0
18	西尾市	一色さかな広場	711,000	45	車	56	3.5
19	稲沢市	尾張大國霊神社(国府宮)	1,006,431	46	鉄道	41	4.0
20	名古屋市	名古屋市科学館	1,277,909	47	車・鉄道	964	4.0
21	安城市	デンパーク	551,168	48	車	120	4.0
22	名古屋市	農業文化園・戸田川緑地	1,075,147	49	車	16	4.5
23	岡崎市	NEOPASA 岡崎	6,254,011	50	車	99	4.0
24	名古屋市	東山動植物園	2,512,291	50	車	712	4.0
25	長久手市	愛・地球博記念公園	1,598,160	50	車	142	4.0
26	一宮市	一宮七夕まつり	1,178,000	54	鉄道	—	—
27	安城市	堀内公園	525,099	54	車	52	4.0
28	安城市	安城七夕まつり	1,120,000	56	車	—	—
29	豊田市	鞍ヶ池公園	1,268,300	57	車	97	4.5
30	岡崎市	道の駅藤川宿	1,178,875	58	車	41	3.5
31	岡崎市	桜まつり	668,000	59	車	—	—
32	名古屋市	ナゴヤドーム	3,954,618	60	鉄道	385	4.0
33	豊田市	豊田スタジアム	1,675,008	60	車	150	4.0
34	尾張旭市	愛知県森林公園	924,283	60	車	33	4.0
35	豊田市	愛知県緑化センター	656,800	60	車	22	4.0
36	犬山市	博物館明治村	512,320	63	車	462	4.5
37	一宮市	真清田神社	1,208,853	65	鉄道	94	4.0
38	津島市	津島神社	1,015,420	66	車	51	4.0
39	豊田市	香嵐溪	762,564	66	車	304	4.0
40	犬山市	犬山城	573,034	69	鉄道	982	4.5
41	小牧市	田縣神社	540,000	69	車	70	4.0
42	犬山市	大縣神社	572,700	70	車	35	4.0
43	新城市	もっくる新城	1,245,720	74	車	66	4.0

NO	市町村	観光資源名	観光入込客数	所要時間(分)	交通機関	口コミ件数	評価
44	豊川市	豊川稲荷	5,110,000	75	車	280	4.0
45	一宮市	国営木曾三川公園138タワーパーク	1,682,134	75	車	76	4.0
46	犬山市	成田山名古屋別院	1,649,900	75	鉄道	60	4.0
47	蒲郡市	ラグーナテンボス	2,746,100	80	車	262	3.5
48	江南市	国営木曾三川公園フラワーパーク江南	1,043,488	80	車	11	3.5
49	豊橋市	豊橋総合動植物公園	823,782	100	車	154	4.5
50	田原市	めっくんはうす	578,031	106	車	90	4.0

出典：愛知県観光レクリエーション利用者統計（2017年値を使用）、GoogleMap、旅行情報サイト「トリップアドバイザー」をもとに作成

■岐阜県

図表 III-21 岐阜県の観光資源

NO	市町村	観光資源名	観光入込客数	所要時間(分)	交通機関	口コミ件数	評価
1	海津市	海津温泉	317,852	67	車	14	3.0
2	土岐市	土岐よりみち温泉	449,202	69	車	16	4.0
3	海津市	千本松原・国営木曾三川公園	1,340,740	70	車	92	4.0
4	各務原市	国営木曾三川公園かさだ広場各務原アウトドアフィールド	282,189	70	車	—	—
5	土岐市	道の駅 志野・織部	569,387	71	車	38	4.0
6	海津市	道の駅「月見の里南濃」	488,408	74	車	38	3.5
7	海津市	道の駅「クレール平田」	362,291	74	車	28	3.5
8	土岐市	土岐プレミアム・アウトレット	7,197,450	75	車	211	4.0
9	各務原市	河川環境楽園	4,464,244	75	車	7	3.5
10	可児市	天然温泉 三峰	311,106	76	車	21	4.0
11	可児市	J A めぐみのとれっ たひろば	420,635	77	車	2	4.0
12	瑞浪市	瑞浪市農産物等直売所 きなあた瑞浪	545,474	79	車	—	—
13	各務原市	世界淡水魚園水族館 アクア・トト ぎふ	477,379	79	車	124	4.5
14	可児市	花フェスタ記念公園	368,199	80	車	103	4.0
15	土岐市	道の駅 どんぶり会館	473,234	81	車	43	4.0

NO	市町村	観光資源名	観光入込 客数	所要 時間 (分)	交通 機関	口コミ 件数	評価
16	関市	百年公園	432,899	81	車	—	—
17	養老町	養老公園（楽市楽座・養老、養老天命反転地、岐阜県こどもの国を除く）	506,135	83	車	91	4.0
18	岐阜市	岐阜公園	1,099,076	85	車	160	4.0
19	恵那市	道の駅おばあちゃん市・山岡	527,743	88	車	77	4.0
20	可児市	湯の華アイランド	1,634,202	90	車	38	4.0
21	海津市	千代保稲荷神社	1,572,618	90	車	129	4.0
22	岐阜市	伊奈波神社	1,499,000	90	車	48	4.0
23	岐阜市	岐阜メモリアルセンター（世界イベント村ぎふ）	1,286,976	90	車	22	3.5
24	美濃市	道の駅 美濃にわか茶屋	505,274	91	車	25	4.0
25	垂井町	南宮大社	416,860	91	車	32	4.0
26	池田町	道の駅池田温泉	317,852	93	車	24	3.5
27	関市	西の屋別館 武芸川温泉	449,202	93	車	17	4.0
28	中津川市	岐阜中津川ちこり村	1,340,740	93	車	49	4.0
29	恵那市	道の駅そばの郷らっせいみさと	282,189	95	車	40	3.5
30	岐阜市	岐阜ファミリーパーク	569,387	95	車	16	4.5
31	恵那市	恵那峡	353,900	95	車	122	4.0
32	岐阜市	長良公園	352,198	97	車	9	4.0
33	本巣市	道の駅「織部の里もとす」	301,914	98	車	21	4.0
34	郡上市	郡上八幡	624,646	102	車	89	4.0
35	中津川市	中山道	574,843	110	車	—	—
36	中津川市	馬籠宿	474,273	111	車	610	4.5
37	揖斐川町	谷汲山華厳寺	359,713	112	車	73	4.0
38	郡上市	道の駅 古今伝授の里やまと	406,654	112	車	36	4.5
39	中津川市	道の駅「賤母」	375,281	117	車	51	3.5
40	揖斐川町	道の駅星のふる里ふじはし	326,000	118	車	19	4.0
41	中津川市	道の駅「花街道付知」	683,374	121	車	26	3.5
42	郡上市	道の駅 明宝	549,400	123	車	39	4.0

NO	市町村	観光資源名	観光入込客数	所要時間(分)	交通機関	口コミ件数	評価
43	中津川市	道の駅「加子母」	332,935	132	車	7	3.5
44	下呂市	下呂温泉（旅館の宿泊利用及び日帰り利用）	328,584	150	鉄道	218	4.0
45	飛騨市	飛騨古川 古い町並み	362,025	162	車	193	4.5
46	白川村	道の駅白川郷	373,198	163	車	102	3.5
47	白川村	白川郷合掌造り集落	324,260	165	車	2,018	4.5
48	高山市	高山市街地エリア	302,762	170	車	1,267	4.0
49	高山市	奥飛騨温泉郷	1,233,037	203	車	35	4.5
50	高山市	新穂高ロープウェイ	385,991	223	車	922	4.5

出典：岐阜県観光入込客統計調査（2017年値を使用）、GoogleMap、旅行情報サイト「トリップアドバイザー」をもとに作成

■三重県

図表 III-22 三重県の観光資源

NO	市町村	観光資源名	観光入込客数	所要時間(分)	交通機関	口コミ件数	評価
1	桑名市	ナガシマリゾート	15,300,000	43	車	595	4.5
2	菟野町	湯の山温泉	1,727,377	63	車	31	4.0
3	桑名市	多度大社	1,502,000	65	車	87	4.0
4	津市	朝津味	494,064	77	車	5	4.0
5	鈴鹿市	鈴鹿サーキット	2,043,714	81	車	321	4.5
6	津市	高田本山専修寺	364,600	83	車	61	4.0
7	鈴鹿市	三重交通Gスポーツの杜 鈴鹿	469,549	84	車	13	4.0
8	鈴鹿市	青少年の森	292,102	84	車	10	—
9	津市	津観音寺	235,000	84	車	12	3.5
10	津市	三重県総合博物館 (MieMu)	254,801	87	車	39	4.0
11	津市	道の駅「津かわげ」	778,560	91	車	27	3.5
12	松阪市	松阪農業公園ベルファーム	580,476	92	車	56	4.0
13	伊賀市	伊賀の里モクモク手づくり ファーム	301,296	92	車	126	4.0
14	津市	津の海	213,570	95	船 & バス	—	—
15	松阪市	森林公園	90,513	96	車	5	3.0
16	大台町	道の駅「奥伊勢おおだい」	463,137	112	車	30	3.5
17	伊勢市	三重交通Gスポーツの 杜伊勢	328,371	116	車	—	—
18	伊勢市	伊勢神宮【内宮・外宮】	8,798,351	117	車	2,570	4.5
19	伊勢市	おかげ横丁	5,720,000	117	車	1,364	4.0
20	伊勢市	三重県営サンアリーナ (菓子博含む)	810,318	118	車	—	—
21	伊賀市	青山高原	238,880	118	車	17	4.0
22	鳥羽市	鳥羽市旅館街	1,726,642	120	車	—	—
23	伊勢市	二見興玉神社	1,919,910	122	車	330	4.0
24	伊勢市	伊勢夫婦岩ショッピング プラザ	592,588	122	車	16	3.5
25	鈴鹿市	椿大神社	1,525,000	125	車	125	4.5
26	鳥羽市	鳥羽水族館	842,156	127	車	751	4.5
27	紀北町	道の駅「紀伊長島マンボウ」	454,143	127	車	61	4.0

NO	市町村	観光資源名	観光入込客数	所要時間(分)	交通機関	口コミ件数	評価
28	鳥羽市	鳥羽の離島（4島）	180,377	127	車	—	—
29	紀北町	紀北PA 始神テラス	738,853	130	車	14	4.0
30	南伊勢町	海岸景観（釣り・レジャー・体験含む）（旧南勢町）	229,082	131	車	—	—
31	志摩市	英虞湾景観	146,865	132	車	—	—
32	名張市	香落溪	133,923	132	車	15	3.5
33	名張市	赤目四十八滝	143,487	137	車	190	4.5
34	鳥羽市	神明神社（石神さん）	212,257	142	車	286	4.0
35	志摩市	志摩スペイン村	1,216,000	145	車	459	4.0
36	志摩市	阿児旅館街	621,772	145	車	—	—
37	熊野市	熊野古道	337,046	148	車	269	4.5
38	熊野市	鬼ヶ城	264,806	167	車	141	4.0
39	志摩市	御座白浜海水浴場	87,791	176	車	51	4.5
40	志摩市	賢島エスパーニャクルーズ	153,577	180	車	—	—

出典：三重県観光統計（2017年値を使用）、GoogleMap、旅行情報サイト「トリップアドバイザー」をもとに作成

■その他

図表 III-23 その他の観光資源

NO	市町村	観光資源名	所要時間(分)	交通機関	口コミ件数	評価
1	京都府京都市	京都（京都駅）	88	鉄道	—	—
2	静岡県浜松市	浜名湖（館山寺）	93	車	81	3.5
3	滋賀県大津市	琵琶湖（大津駅）	113	鉄道	—	—
4	大阪府大阪市	大阪（大阪駅）	121	鉄道	—	—
5	長野県南木曾町	妻籠宿	122	車	42	4.0
6	東京都千代田区	東京（東京駅）	146	鉄道	—	—
7	神奈川県横浜市	横浜（みなとみらい駅）	160	鉄道	—	—
8	静岡県静岡市	日本平夢テラス	167	車	38	4.5
9	長野県松本市	松本城	183	鉄道	3,326	4.5
10	福井県坂井市	東尋坊	191	車	805	4.0
11	静岡県三島市	三島スカイウォーク	195	車	520	4.0
12	長野県松本市	上高地	207	車	—	—
13	石川県金沢市	金沢（金沢駅）	214	鉄道	—	—

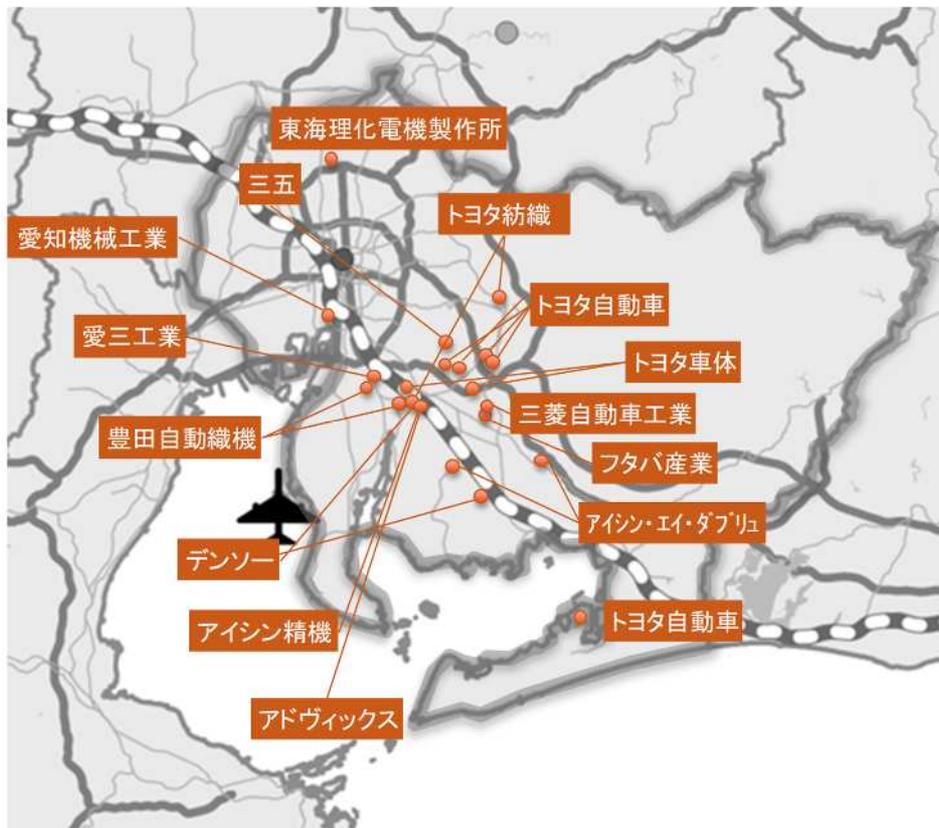
NO	市町村	観光資源名	所要時間 (分)	交通機関	口コミ 件数	評価
14	富山県立山町	立山黒部アルペンルート（立山駅）	243	車	974	4.5
15	長野県山ノ内町	地獄谷野猿公苑	305	車	2,530	4.5

出典：GoogleMap、旅行情報サイト「トリップアドバイザー」をもとに作成

2-2 モノづくり企業の集積状況

愛知県は、自動車産業、航空機産業に代表される、モノづくり産業の集積地となっている。そのため、ビジネス交流が活発であり、産業視察、工場見学といったテクニカルビジットの受入資源が豊富であることに加え、モノづくり企業の事を学び、体験できる産業観光のコンテンツが充実している。これらが当地域ならではの観光資源として、他地域と比べて優位性があるといえる。

図表 111-24 主な自動車産業（完成車・関連部品・素材メーカー）の集積状況



図表 III-25 主な航空宇宙産業の集積状況



2-3 交通機関の状況

中部国際空港からの公共交通機関の状況について整理した。

(1) 直行バス

図表 III-26 交通機関（直行バス）

行き先	所要時間	料金 (円)	備考 (往復料金、始発・終発、本数)
名古屋駅	55分	1,500	・深夜早朝便毎日各1本運行
名古屋市内ホテル	55分 ※栄まで	1,200	・セントレアリムジン ・伏見まで71分、名古屋駅（終点）まで78分 ・1日14本、60分間隔 ・始発9:15、終発22:15
藤が丘	55分	1,440	・毎時1~2本、1日17本 ・始発8:20、終発22:20
金城ふ頭	40分	1,000	・1日7本 ・始発10:05、終発17:40
半田	48分	770	・1日1本（18:00発）
知立・刈谷	62分	1,330	・1日13本

	※知立まで		・始発 8:40、終発 22:10
豊田	83分	1,750	・毎時 1~2本、1日 18本 ・始発 8:25、終発 22:15
岡崎	75分	1,750	・1日 10本 ・始発 8:30、終発 22:00
桑名・長島温泉	60分 ※長島温泉 まで	1,500	・1日 4本（内 1便は桑名直通） ・始発 11:00、終発 22:15（桑名直行）
四日市	80分	1,500	・1日 10本、60~120分間隔 ・始発 8:30、終発 22:00
京都	160分	4,000	・2月 9日運行開始 ・1日 2本
浜松	130分	3,100	・1日 17本 ・始発 7:30、終発 22:00
白馬（白馬コルチ ナ）	480分	3,500 ~6,000	・深夜バス（23時発） ・季節運行 ・1日 1本

出典：各種ウェブサイトより作成

(2) 鉄道

図表 III-27 交通機関（鉄道）

行き先	所要 時間	料金 (円)	備考 (往復料金、始発・終発、本数)
名古屋駅	27分	★1,230	・始発 5:18、終発 23:25 ★指定席料金 360円含む
名古屋市内ホテル	29分 ※伏見まで 30分 ※栄まで	★1,430 ★1,370	・始発 5:18、終発 23:25 ★指定席料金 360円含む
藤が丘	46分	★1,530	・始発 5:18、終発 22:41 ★指定席料金 360円含む
金城ふ頭	51分	★1,580	・始発 5:18、終発 22:41 ★指定席料金 360円含む
半田	27分	810	・始発 5:18、終発 23:25
知立・刈谷	34~36分	★1,420 ~1,480	・始発 5:18、終発 23:25（刈谷 23:07） ★指定席料金 360円含む
豊田	55分	★1,700	・始発 5:18、終発 22:41 ★指定席料金 360円含む
岡崎	47分	★1,790	・始発 5:18、終発 23:07 ★指定席料金 360円含む

桑名・長島温泉	47分	★1,670	・始発 5:18、終発 22:41 ★指定席料金 360 円含む
四日市	54分	★2,360	・始発 5:18、終発 22:41 ★指定席料金 870 円含む
京都	62分	★7,140	・始発 5:18、終発 22:01 ★指定席料金 1,100 円含む
浜松	60分	★6,270	・始発 5:18、終発 21:31 ★指定席料金 890 円含む
白馬（白馬駅）	208分	★8,470	・始発 5:51、終発 18:01 ★指定席料金 890 円含む ※白馬駅から白馬コルチナまで車で 30分

出典：各種ウェブサイトより作成

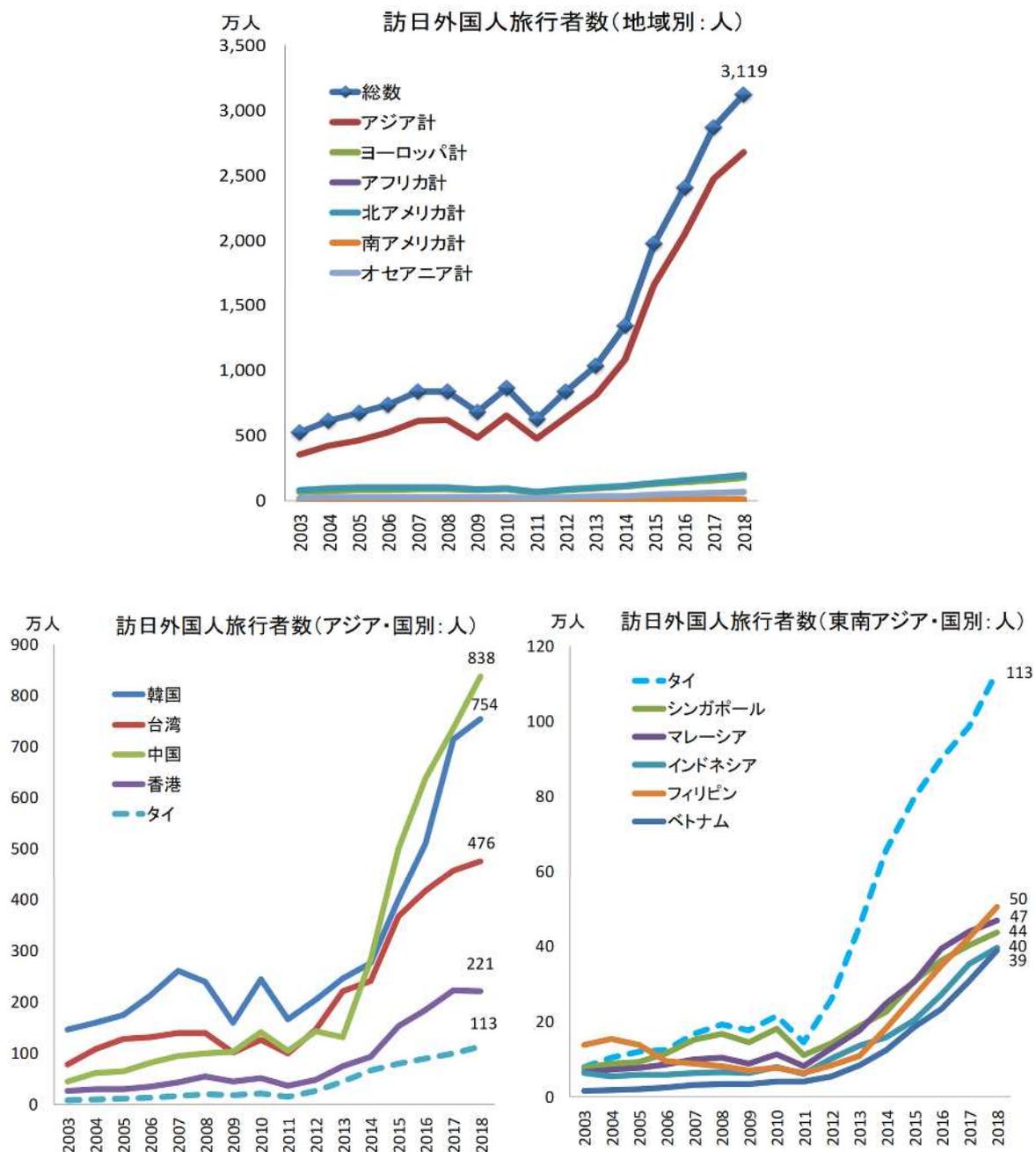
2-4 外国人旅行者の動向

中部国際空港を起点とした、当該エリアの各観光地での外国人旅行者の動向を把握するため、既往調査をもとに特徴を整理した。

(1) 我が国の外国人旅行者の推移

訪日外国人旅行者数は 2011 年以降増加し続けており、近年は急激な伸びを見せている。特にアジア（中国、韓国、台湾等）からの来訪が多く、東南アジア各国もビザ発給要件緩和の影響により、急増している。

図表 III-28 外国人旅行者の動向

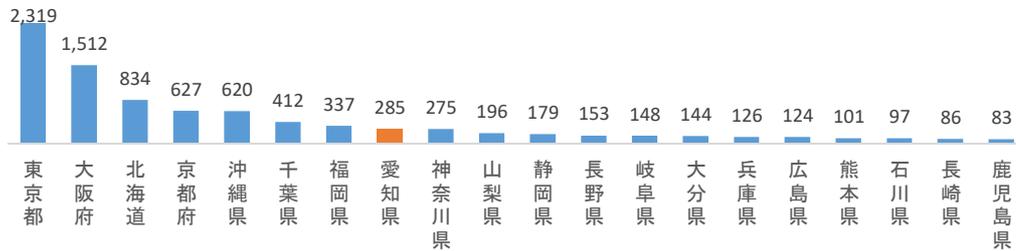


出典：日本政府観光局（JNTO） 国籍/月別 訪日外客数（2003年～2018年）

(2)都道府県別の外国人旅行者の動向

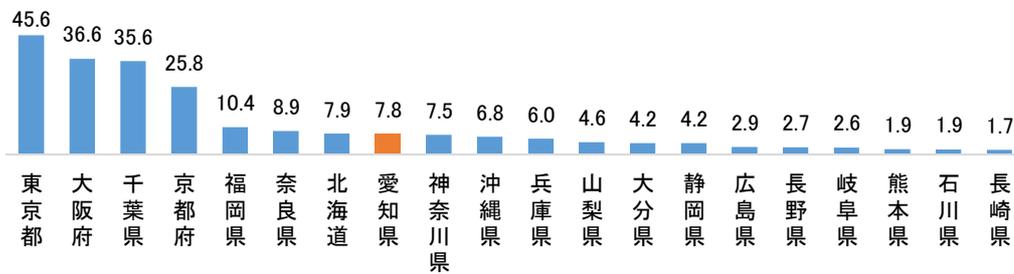
愛知県の訪日外国人延べ宿泊者数は285万人泊、訪問率は7.8%を示す。玄関口となる主要国際空港を有する東京都、大阪府、千葉県や、福岡県に比べて低い値を示す。

図表 III-29 訪日外国人延べ宿泊者数



出典：観光庁 宿泊旅行統計調査（2018年）

図表 III-30 訪問率

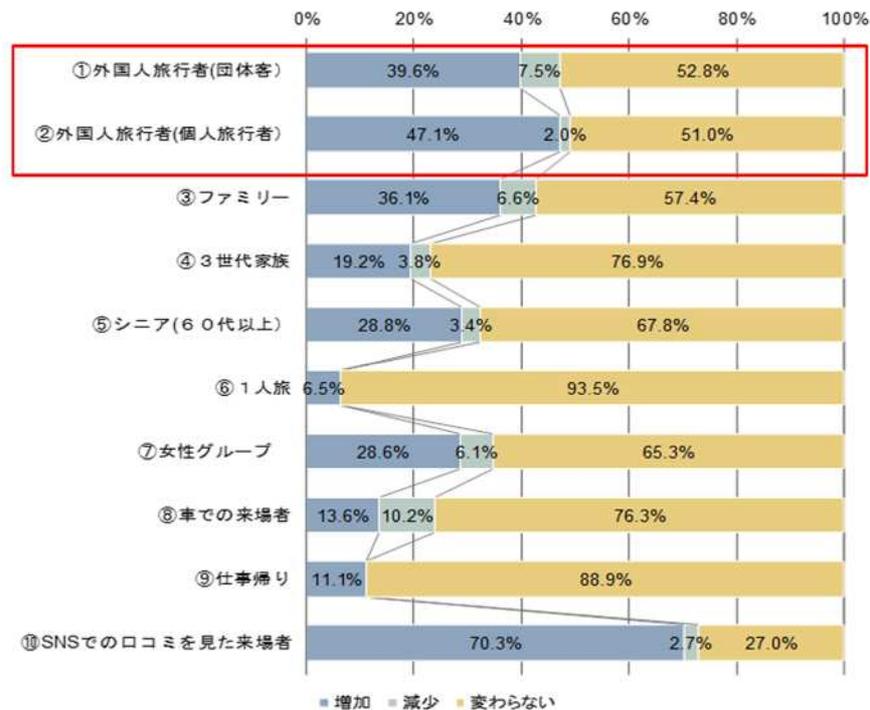


出典：観光庁 訪日外国人消費動向調査（2018年）

(3)東海3県主要集客施設における外国人旅行者の傾向

東海3県の主要集客施設での外国人旅行者の動向をみると、団体客では約4割、個人旅行者では約5割の施設が「増加」と回答している。

図表 III-31 旅行者の傾向



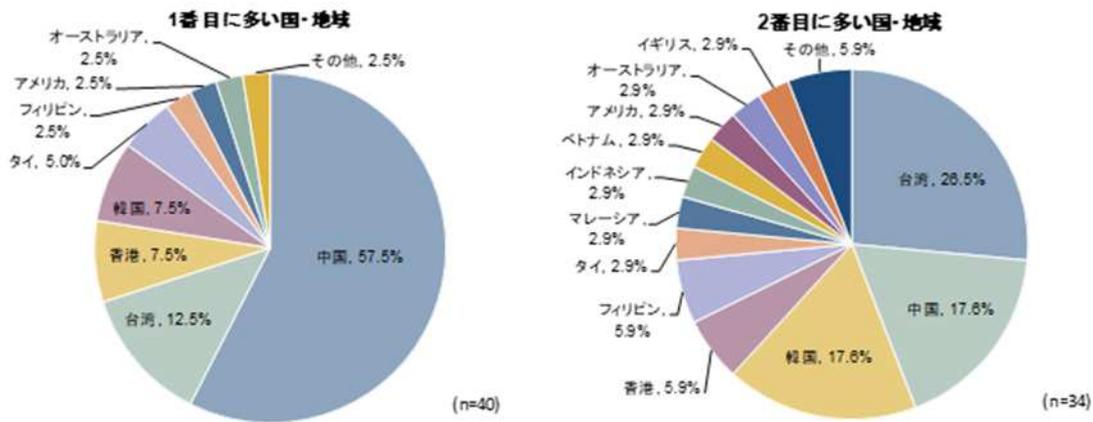
	増加	減少	変わらない	不明	対象外	有効回答合計
外国人旅行者(団体客)	21	4	28	22	0	53
外国人旅行者(個人旅行者)	24	1	26	24	0	51
ファミリー	22	4	35	14	0	61
3世代家族	10	2	40	23	0	52
シニア(60代以上)	17	2	40	16	0	59
1人旅	2	0	29	44	0	31
女性グループ	14	3	32	26	0	49
車での来場者	8	6	45	16	0	59
仕事帰り	2	0	16	57	0	18
SNSでの口コミを見た来場者	26	1	10	38	0	37

出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 2018年度東海3県主要集客施設・集客実態調査

(4)東海3県主要集客施設における外国人旅行者の国・地域

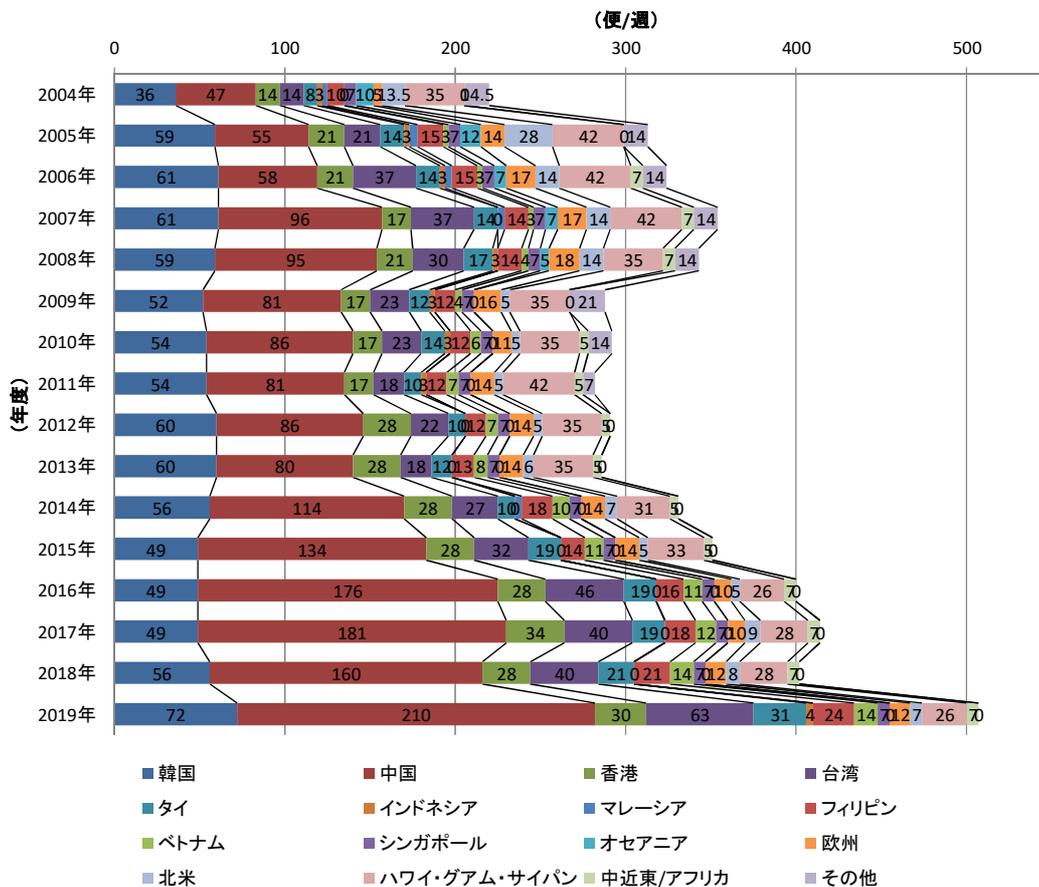
東海3県の主要集客施設に訪れる外国人旅行者の国・地域別の傾向をみると、中国が最も多く、約6割を示し、次いで台湾、香港、韓国と続いており、中部国際空港の就航先との関連性も深いと言える。

図表 III-32 外国人旅行者の国・地域



出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 2018年度東海3県主要集客施設・集客実態調査

図表 III-33 中部国際空港における国・地域別就航便の推移



※LCC 就航状況

出典：JTБ時刻表（2019年8月号）

航空会社名		就航先	便/週
エアアジア・ジャパン	DJ	台北 (桃園)	7
エアプサン	BX	釜山	7
ティーウェイ航空	TW	ソウル (仁川)	14
		グアム	1
チェジュ (済州) 航空	7C	ソウル (仁川)	16
春秋航空	9C	上海 (浦東)	7
		寧波	3
		深圳	7
香港エクスプレス航空	UO	香港	9
タイガーエア台湾	IT	台北 (桃園)	5
		高雄	2
セブ・パンフィック航空	5J	マニラ	7
タイ・エアアジア X	XJ	ドンムアン	5
タイライオンエアー	SL	ドンムアン	5
ジェットスター・ジャパン	GK	マニラ	3

出典：JTB 時刻表 (2019 年 8 月号)

2-5 大規模プロジェクトの動向

図表 III-34 主なプロジェクト・施設整備・イベント開催状況等

2019年	<ul style="list-style-type: none"> ・ G20 外相会合 開催 (名古屋市) ・ 日本医学会総会 2019 中部 開催 (名古屋市) ・ 第 57 回技能五輪全国大会、第 39 回全国アビリンピック 開催 (常滑市) ・ 第 70 回全国植樹祭あいち 2019 開催 (尾張旭市) ・ ラグビーワールドカップ 2019 (豊田市) ・ Aichi Sky Expo 開業 (常滑市) ・ 中部国際空港新ターミナル開業 (常滑市)
2020年 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人工知能国際会議 (IJCAI) 2020 開催 (名古屋市) ・ 第 58 回技能五輪全国大会、第 40 回全国アビリンピック 開催 (常滑市) ・ ワールドロボットサミット 2020 開催 (常滑市)
2021年 以降 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名古屋城木造天守復元 竣工 (名古屋市) ・ ポートメッセなごや 第 1 展示館 移転開業 (名古屋市) ・ 名駅名古屋駅地区再開発 (名古屋市) ・ ジブリパーク 整備 (長久手市) ・ 第 20 回アジア競技大会 開催 ・ リニア中央新幹線 開業 ・ 技能五輪世界大会 (招致中)

2-6 観光協会・DMOとの連携

観光資源との連携を見据え、地域の観光まちづくりを担う法人であるDMOについて、東海3県および昇龍道エリアを管轄とする団体を整理するとともに、愛知県内の各観光協会について整理した。

これらのDMOや観光協会は、今後、空港島を拠点にしたMICEを活発化させていくために、エクスカッションを企画・販売・提供をしていく上で、各地の観光の魅力について綿密に情報共有し、来訪者のニーズやMICE開催時期に合わせた旬なスポットの紹介等に対応していくため、連携を模索していく必要がある。

(1) 愛知県内観光協会

図表 III-35 愛知県内観光協会一覧

観光協会名
公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー
一宮市観光協会
瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会
一般社団法人春日井市観光コンベンション協会
一般社団法人犬山市観光協会
江南市観光協会
一般社団法人小牧市観光協会
稲沢市観光協会
(一社)尾張旭市観光協会
特定非営利活動法人いわくら観光振興会
豊明市観光協会
にしん観光まちづくり協会
清須市観光協会
長久手市観光交流協会
一般社団法人津島市観光協会
愛西市観光協会
あま市観光協会
蟹江町観光協会
飛島村観光交流協会
特定非営利活動法人半田市観光協会
一般社団法人とこなめ観光協会
東海市観光協会
大府市観光協会
知多市観光協会
阿久比町観光協会
東浦町観光協会
南知多町観光協会

内海観光協会
篠島観光協会
日間賀島観光協会
美浜町観光協会
武豊町観光協会
一般社団法人岡崎市観光協会
碧南市観光協会
刈谷市観光協会
一般社団法人ツーリズムとよた
旭観光協会
豊田市 足助観光協会
いなぶ観光協会
小原観光協会
香恋の里しもやま観光協会
藤岡観光協会
松平観光協会
安城市観光協会
一般社団法人西尾市観光協会
知立市観光協会
高浜市観光協会
みよし市観光協会
幸田町観光協会
一般社団法人豊橋観光コンベンション協会
豊川市観光協会
蒲郡市観光協会
西浦観光協会
形原観光協会
蒲郡観光協会
三谷温泉観光協会
新城市観光協会
渥美半島観光ビューロー
設楽町観光協会
東栄町観光まちづくり協会
豊根村観光協会
★愛知県東三河広域観光協議会
★一般社団法人奥三河観光協議会
★知多半島観光圏協議会 事業推進事務所

※北名古屋市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、弥富市、大治町は観光協会を有していない。

※★印：対象範囲が複数の自治体に跨がるもの。

(2)DMO

図表 III-36 DMO 一覧

対象	名称	種別
広域(※1)	(一社) 中央日本総合観光機構	広域連携 DMO
愛知県	(一社) 奥三河観光協議会	地域連携 DMO
愛知県	(一社) 愛知県観光協会	地域連携 DMO
岐阜県	(特非) ORGAN	地域連携 DMO
岐阜県	(一社) 飛騨・高山観光コンベンション協会	地域 DMO
岐阜県	(一社) 下呂温泉観光協会	地域 DMO
三重県	(公社) 三重県観光連盟	地域連携 DMO
三重県	伊勢まちづくり (株)	地域 DMO
三重県	(一社) 相差海女文化運営協議会	地域 DMO
静岡県	(公社) 静岡県観光協会	地域連携 DMO
静岡県	(公財) するが企画観光局	地域連携 DMO
静岡県	(公財) 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー	地域連携 DMO
静岡県	(一社) 美しい伊豆創造センター	地域連携 DMO
静岡県	(一社) 伊豆市産業振興協議会	地域 DMO
広域(※2)	(一財) 関西観光本部	広域連携 DMO
富山県	(公社) とやま観光推進機構	地域連携 DMO
石川県	(公社) 石川県観光連盟	地域連携 DMO
石川県	(一社) 金沢市観光協会	地域 DMO
石川県	(一社) こまつ観光物産ネットワーク	地域 DMO
石川県	(一社) 加賀市観光交流機構	地域 DMO
石川県	(一社) 白山市観光連盟	地域 DMO
福井県	(株) まちづくり小浜	地域 DMO
長野県	(一社) 長野県観光機構	地域連携 DMO
長野県	(株) 南信州観光公社	地域連携 DMO
長野県	(一社) 信州いいやま観光局	地域連携 DMO
長野県	(一社) こもろ観光局	地域 DMO
長野県	(株) 阿智昼神観光局	地域 DMO
滋賀県	(公社) びわこビジターズビューロー	地域連携 DMO
滋賀県	(一社) 近江ツーリズムボード	地域連携 DMO

※1：富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県

※2：福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県

2-7 ターゲットを見据えた施策展開

MICE 客をターゲットとした、観光周遊の考え方を以下に取りまとめる。

(1) 現状での提案

■フリーパスの活用

昇龍道エリアの観光拠点を結ぶ高速バス及び路線バスを自由に定額で利用出来るフリーパス「昇龍道フリーバスきっぷ」が外国人旅行者に人気であり、このような定額で自由に域内の観光周遊ができるフリーパスを活用し、広域で観光を楽しむ事ができる仕組みを充実させていくことが必要であると言える。

出典：名古屋鉄道 HP



■中部国際空港を拠点とした周遊観光の促進

シンガポールのチャンギ空港では、トランジットの合間にシンガポール観光を楽しんでもらうツアープログラムが充実しており、トランジット客を含めて多くの観光客に利用されている。中部国際空港では、中部国際空港を拠点とした着地型旅行商品である「OMOTENASHI TOUR」（販売者：株式会社知多半島ナビ）により、気軽に周辺地域を訪問出来るショートトリップが用意されている。これらのツアーを拡充し、中部国際空港の集客力を地域の観光客の増加に波及させていくことが有効である。



出典：CHITA CAT 資料

■セントレア拠点型の国内日帰り・1泊観光の促進

セントレアの充実した国内線網を活用し、就航先を日帰りで楽しめるモデルプラン「日帰りヒコーキ」が提案されている。これらも、中部国際空港発で行くことができる観光地の一つとして、愛知県、昇龍道エリアの観光地と同様に、中部国際空港の観光の強みとしてピーアールしていく必要があると言える。また、就航先の観光地で宿泊を促進する工夫も有効である。



出典：中部国際空港 HP

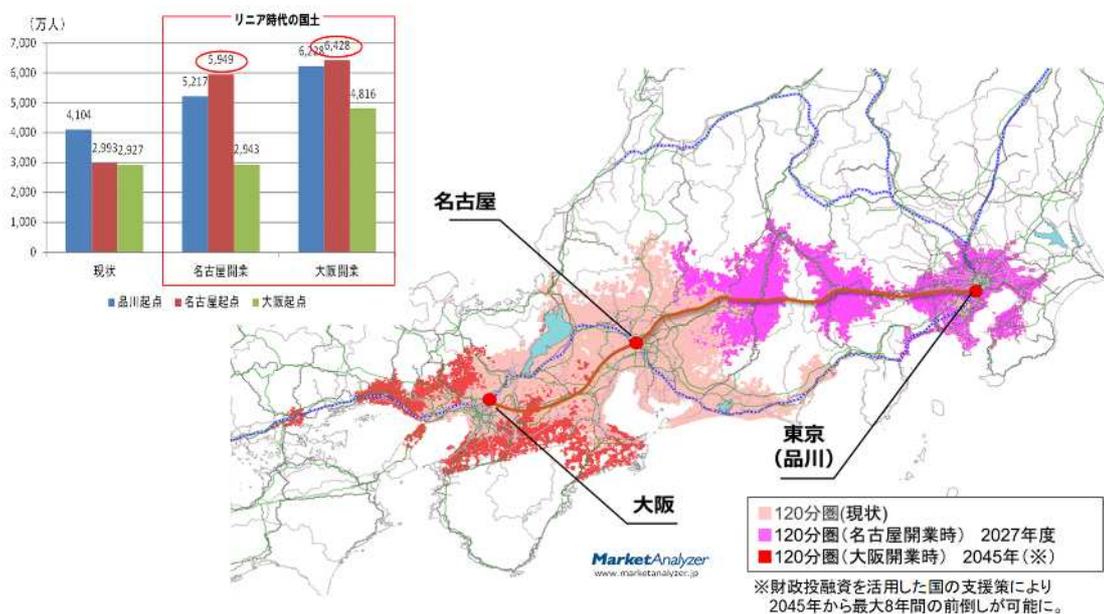
(2) 将来展望

前述の観光資源の分布状況、モノづくり企業の集積状況、外国人旅行者の動向、大規模プロジェクトの動向に加え、中部国際空港の特性を踏まえると、ターゲットを見据えた将来展望としては、「良好な交通アクセスの活用」、「集積するモノづくり産業の活用」、「最先端技術との親和性」という視点に立ち、施策を検討していくことが有効である。

■全国随一の後背圏からの呼び込み

2027年度のリニア中央新幹線開業で我が国最大の2時間後背圏人口を有することから、東京、大阪をはじめ、多方面から広域的に呼び込みが可能となる。

図表 III-37 後背圏人口の変化（名古屋駅拠点）



■名古屋駅を拠点とした国内日帰り観光

2027年のリニア開業を見据え、全面リニューアル予定の名古屋駅に設置される観光案内所においては、リニア、東海道新幹線、JR、名鉄、近鉄などの鉄道に加え、バス路線も活用した、当地域滞在中の日帰り観光コンテンツのPRが効果的と言える。



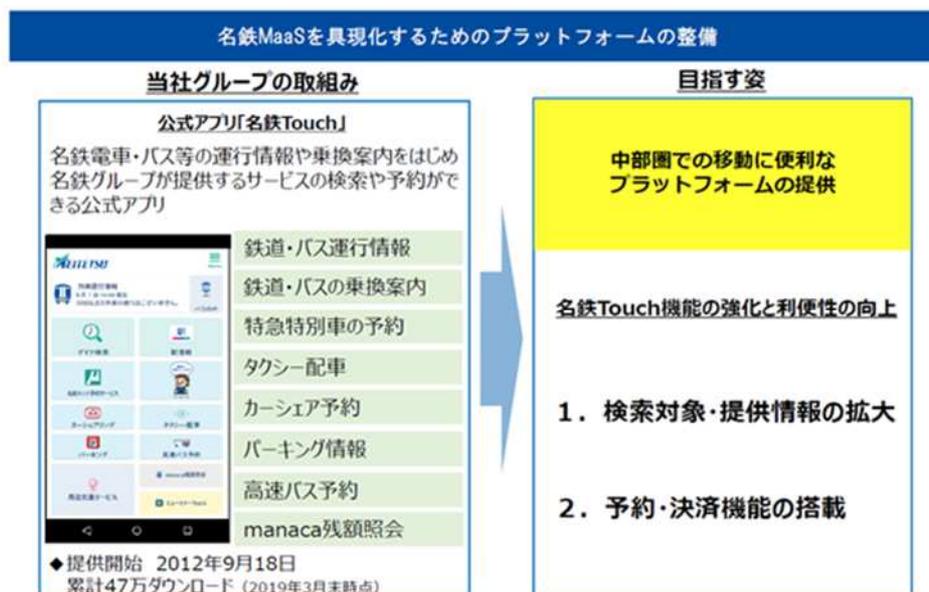
■ダイレクトアクセスの展開

交通機関が充実している当地域においても、旅行者にとって、よりわかりやすく、かつ利便性を高めるために、中部国際空港発着のシャトルバスの整備により、その時に最も旬な観光地（桜、紅葉、雪等）や祭り、イベントへの誘導や、現状往来の少ない三河地域へ観光客を送り込むことが求められている。

■観光 MaaS の導入（名鉄が展開する「名鉄 Touch」との相互連携）

交通機関の予約・決済、観光施設の予約について、中部国際空港と拠点として、周辺各地への移動やレジャーを円滑に進めるための MaaS の導入を図ることが有効である。

図表 III-38 MaaS 導入に向けた取組例



出典：名古屋鉄道ウェブサイト

■AI、IoT を活用した観光案内

観光案内をチャットボット³で対応し（洞爺湖観光協会、草津温泉観光協会等で導入）、効率化を図ると共に、個人の嗜好に応じた情報を提供出来るような仕組みの構築が期待される。

■産業観光、インセンティブツアー、テクニカルビジットの推進

愛知県に集積する、世界有数の技術力を有するモノづくり企業を活用し、産業観光コンテンツとして活用するとともに、海外からのインセンティブツアー、テクニカルビジット（産業視察）の立ち寄り先として、受入企業とも連携を図りつつ、充実させていくことが有効である。

■実証実験の場としての活用

愛知県は、モノづくり産業の強みを活かし、次世代自動車の開発、自動運転の実証実験を先進的に行ってきた。今後も空港島周辺地域を、最先端技術の実証事業を推し進める地域として、様々な業種を受入れ、最先端技術をいち早く、来訪者への利便性向上へと繋げられる地域を目指していくことが求められている。

³ チャットボットとは、人工知能を活用した自動会話プログラムで、通常、スタッフが電話、メールなどで回答する質問を自動で回答する仕組み。

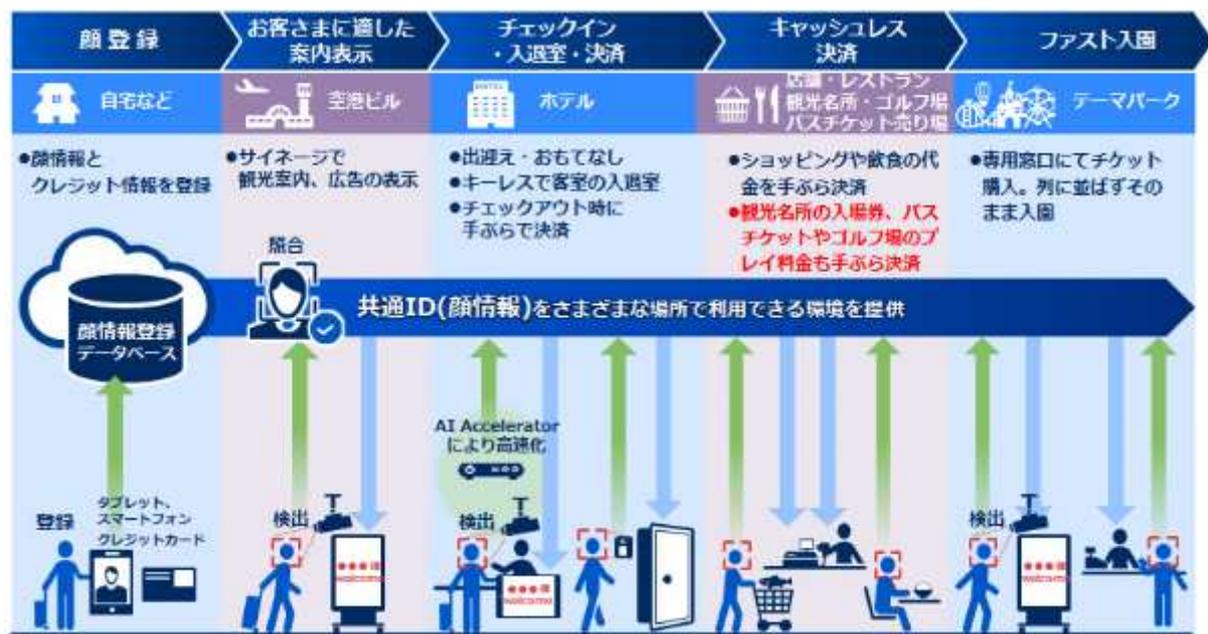


出典：愛知県資料

■スーパーシティと連動した取り組み

南紀白浜空港および白浜町で展開されている、顔認証技術を用いた観光客向けのサービスの展開に見られるように、来訪者の固有データを共有化し、予約、決済の簡素化、利便性の向上を図ることが有効である。

図表 III-39 南紀白浜での取組



出典：NEC ウェブサイト

■当地ならではの体験やコト消費に特化した案内拠点

パリ市内に複数箇所点在する「Kiosque Culture」ではパリで上映されるミュージカルや演劇の当日券を半額で販売している。またアイスランド首都レイキャビク市の「Icelandic Travel Market」ではハイキングやオフロードに特化したインフォメーションセンターとしての機能を具備し、旅行商品のみならず、ハイキング先の天候情報や荷物預かりサービスも提供している。

これら海外事例より、当地ならではの体験や、コト消費に特化した案内拠点の構築も今後求められる機能と言える。

3中部国際空港やその周辺エリアで必要な機能

前述の内容をふまえ、空港を起点とした周遊観光や、周辺エリアの観光資源との連携を促進するうえで必要な機能について、以下に整理する。

■観光案内機能

- ・魅力的な観光資源までの交通案内
- ・国内線を活用した全国の主要観光地の案内
- ・旅前情報の充実化（対象国・地域にウケのよい適確な情報提供）
- ・旬な情報（桜、紅葉、雪などの魅力資源）、広域集客力の高い祭り・イベント等の適確な情報提供
- ・トランジット、MICE の余時間を活用したショートトリップの提案

■MICE 機能

- ・大規模な展示会と国際会議が開催出来る機能を備えた会議室スペースが共存し、様々な国際展示会、国際会議に対応できる機能
- ・観光資源のユニークベニューとしての活用
- ・アフターコンベンションとしての特別感のあるエクスカージョンの提供、また地域との調整役としてのDMOとの連携・活用
- ・MICE 誘致のための、空港CIQの弾力的な運用による、空港直結の強み活用
- ・様々な用途に対応出来る施設整備

■宿泊機能

- ・大規模な国際会議に対応出来る大型のホテルを有することで、MICE 誘致の競争力を高める。
- ・国際会議のレセプション等で提供する飲食サービスを担う。

■交通機関

- ・空港機能の活用（ビジネスジェット受入拡充、ヘリコプターを活用した空港のない都市や観光地へのアクセス、空路でのレジャー拠点化）
- ・公共交通機関では行きにくい観光地までのダイレクトアクセス（直行バス等）
- ・観光地との連携（MaaS のプラットフォームの整備、サービスコンテンツの充実化）

■商業施設

- ・地元ならではの産品を販売するブースを設け、MICE 関係者の購買を促進し、地域経済に寄与していく。
- ・地域住民と MICE 来訪者との交流プラットフォームとして、場の提供をし、関係者が自由に活用出来る仕組みを構築する。

■体験型プログラム

- ・ 武将、忍者、伝統文化体験、日本のモノづくり技術のルーツを知るツアーなど、日本ならびに中部エリアならではの体験型プログラムの造成が有効。
- ・ MICE 誘致にあたり、アフターコンベンションとしてのセールスポイントとなる、周辺地域の観光資源、良好な交通アクセスを活用した広域的な観光資源、あるいは体験プログラム等のコンテンツを提供する。

■観光地連携

- ・ 昇龍道エリアにおいて、MICE 関係者のニーズにあった観光コンテンツや旬な魅力情報を効率良く収集するための、各地域からの情報収集方法を確立し、適確に情報発信する。

IV. 民間事業者等へのヒアリングの実施

「MICE を核とした国際観光都市」の実現に向けて、民間事業者や専門家へのヒアリングを行い、施策の方向性整理に向けた検討を行った。

1 ヒアリング対象

図表 IV-1 ヒアリング対象

種別	確認事項
観光関連団体	・他の観光資源との連携状況を把握
交通事業者	・交通手段連携、共通パス導入 MaaS に対する考え方
旅行事業者	・旅行商品造成、販売方法
地域団体（着地型旅行商品販売等）	・着地型旅行商品販売、商品造成の考え方、地域資源の活用方策
空港会社	・地域交流の拠点として、空港周辺地域、愛知県内および広域的なエリアの賑わい創出に寄与している取り組み
商業施設	・買い物ニーズへの対応、免税機能など必要な機能など
MICE 関連事業者 (PCO、PEO)	・国際会議等の利用者向けの付帯サービスの状況（利用者の嗜好）

2 ヒアリング結果総括

図表 IV-2 ヒアリング結果総括

種別	ヒアリング総括
観光関連団体・旅行事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・空港の強みを活かし、飛行機を使った周遊は効果があるだろう。いろいろな場所に行ける事を強みとして、MICE 誘致に関する他都市にはない強みとして売り出していける。 ・ここで MICE を開催すれば、どのような体験（エクスカージョン等）が出来るのかも含めて誘致の素材とすべき。 ・モノづくり企業が集積しているため、普段出来ないような工場見学等をエクスカージョンに組込む事も効果的。各地に、特別な体験が出来る、バリエーション豊富なエクスカージョンがあることを PR していくとよいだろう。エクスカージョンは、一般の旅行者では体験できないような特別な機会、空間、限定的なものを提供すると、多少金額が高くても選んでもらえる。 ・まずは自治体から、どのような資源があるのか、情報を集め、それらの情報を繋ぎ、パッケージ化するための調整を担う役

	<p>割だと考えている。あくまでも販売は、旅行業者である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツアーデスクは、今の時代には合わないのではないかと。人を置くことが大きなコストとなる。デジタルで予約が出来る仕組みを作って運用する方が低コストで実現出来る。 ・観光地のイメージをビジュアルで示す事が効果的で、次回、また来てもらえるような布石を打っておく事が重要だと考える。 ・近年、旅の仕方に変化があり、これまでの「周遊型」から「拠点型」にシフトしている。名古屋市内ではなく、名古屋から近距離の一宮市、刈谷市の廉価なホテルに宿泊し、ここを拠点に JR ジャパンレールパスにて各地に出かけている。 ・「何を見るか」から「どんな体験をするか」に嗜好がシフトしてきており、体験が出来ることを中心に紹介をしている。 ・愛知県内にも、観光客があまり行かない空白地があり（愛知県東三河、岐阜県美濃、関、郡上、長良川流域等）、非常に魅力があるが、アクセスがわかりにくく、啓発しにくい。そのような所へのバス（ダイレクトアクセス）があると利用しやすくなる。名古屋を拠点とした場合、1～2 時間圏が目的地になりやすい。 ・桜、紅葉のシーズンの期間限定運行のバスのアイデアもある。 ・中部国際空港にて、日本全体の魅力を紹介することは可能である。これまでは、観光案内所兼チケット販売所という位置づけであったが、今後はコンサルティング機能を持たせる必要があり、対応出来る人材を配置し、人による付加価値を付けていくものに力を入れたい。 ・観光案内所では、ラウンジ機能があった方がゆっくりと提案ができるが、回転率が悪くなるため、バランスは考える必要がある。
<p>空港島周辺立地事業者（地域団体、空港会社、交通事業者、商業施設）</p>	<p>■交通アクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aichi Sky Expo でコンサートやミュージカル等が開催されると、イベント終了後に客が一斉に中部国際空港駅を利用するため、イベント終了から1時間程度は交通機関が混雑する傾向がある。イベント開催の時間帯別来場者予測に基づき、輸送力の増強、案内係員の増員の参考としている。また、規模の大きなイベントについては、主催者と関係各社（空港会社、空港警察署、道路運営会社及び弊社）による合同打合せを行っている。 ・平日の朝間帯については、輸送余力が小さくなっているため、利用が増える整備・施策については、可能な限り時間帯の平準化が望ましい。 ・空港の24時間化に伴う運行時間の拡張については、鉄道輸送の需要を見極めたうえで判断する必要があると考えている。仮に深夜・早朝の運行時間を拡張する場合、乗務員や駅員等の要員確

保、鉄道施設の夜間保守作業時間の短縮への対応など、解決すべき課題が多い。

- ・空港利用者の移動に支障が生じないように、歩行者動線の分離や駐車場の確保が必要である。

■観光周遊

- ・訪日外国人誘客のために、「昇龍道フリーバスきっぷ」を基軸商品とし、地域やグループ会社への誘客を進めている。
- ・ターゲットとなる国籍やテーマ等に合わせ、中部圏エリアを周遊するモデルコースを設定し、旅行会社や WEB サイトを通じた情報発信についても適宜実施している。
- ・自治体とコラボし「地域観光キャンペーン」を展開している。また、季節ごとに沿線ハイキングを開催しており、各自治体主催の祭りやイベントにも参加するコースを設定している。
- ・MaaS については、旅行者が愛知県を訪れる際に目的地となる場所を国内外に知らしめるとともに、観光地としての魅力をさらに高めていく必要がある。また、アプリなどを通じて鉄道、バスなどの陸上交通と空港や航空会社との情報（運行情報、目的地の情報など）の連携や、検索や決済などの一元化など旅行者が移動をしやすくなる仕組みの整備が必要である。
- ・各地への直行便を生かした誘客、送客に係る事業を実施している。

■地域振興（CHITA CAT プロジェクトの取り組み）

- ・「連携」「多様性」「持続性」であり、競合ではなく、集客力を活かした連携をしていく必要がある。
- ・外国人旅行者向けに共通のクーポンを作り、イオンとセントレア、知多半島の各店で利用ができるようにした。また、クーポンを電子化して、データを取得し、マーケティングにも活かす。
- ・地元商店だけでは成せなかった取り組みが自分の得意分野だけでも地域活性化に関与でき、自分の店のことで精一杯で、周りから見ていただけといったスタンスだった地元メンバーを参画させ仲間を増やすことで新たな提案・取り組みも自ずと生まれ、活動の幅・連携に広がりをもたらすことができると考えている
- ・中部国際空港、イオンモール常滑は、民間企業ならではの発想・企画でエリアの活性化を牽引し、オブザーバーである常滑市、常滑商工会議所は、行政、経済団体の観光振興計画・動きとの連動、市民・企業・周辺行政等との調整・支援など、それぞれの立場で協力をいただいている。
- ・観光とまちづくりを融合させる必要があり、魅力の創出をしながら海外で PR していくと良いと考える。
- ・地元の産品を空港から輸出し、海外の店舗で展開することで、観光のための PR 出来る。

	<p>■将来の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状、空港島と前島を結ぶ鉄道、道路はともに 1 本しかないため、リダンダンシー⁴の観点からも複数あるとよいのではないかと。 ・ハード面では、鉄道駅や駐車場での ITS の活用、ソフト面では、イベントの開催、賑わいづくりといったところに注力したい。特にインバウンドの賑わいが高まればホテルもインフラ整備も必要になる。台風の時には、孤島になってしまう。リスク管理をしていく必要がある。 ・AI を使った次世代型のパーソナルモビリティの導入は、体の不自由な方や、高齢者が、車いすに乗ったまま買い物ができる。例えば、布団が欲しいと言えば、自動で布団売り場に連れて行ってくれる仕組みで、キャッシュレスで精算ができる。 ・観光以外でも、ロボットや MaaS、ITS を活用した駐車場を一括管理する仕組みを導入する、またビッグデータによりマーケティングに活かしていく等、出来ると考えられる。
<p>MICE 関連事業者 (PCO、PEO)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の学会では関連企業の展示会や共催セミナー等が同時に開催されることが多く、学会でも展示スペースが重要となる。 ・展示場と会議場では施設の種類が大きく異なるため、Convention/Conference を行う業者は、まずは国際会議場と言われる会場から候補を探す。 ・国際会議の機能として、高級感がある部屋は、見栄えが良い事が求められる際に選ばれる。国際会議に必要なものは、同時通訳設備と会議システム設備であるが、常設でなくともレンタルで十分であり、また常設が誘致の際の強みにはならない。 ・国際会議では、宿泊施設と展示スペースが誘致のキーとなる。 ・国際会議では、大人数を捌ける会場が乏しく、横浜、福岡、神戸、札幌あたりが競合となっている。 ・ユニークベニューの利用も、自治体のサポートがあり、活発化している。 ・参加者が 1 万人であれば 1 万人が一堂に会せる場所が必須である。その他に分科会用に合わせて 1 万人が収容できる中小の会議室も求められる。分科会用の会議室について、政府系会議では首脳同士の対談のための小さな会議室が必要であり、学会会議であれば 50 人～2,000 人あるいは 3,000 人の会議室が求められ、会議のタイプによって需要が異なる。 ・アクセスについて、空港や主要な都市からのアクセスが重要となり、特に空港から 1 時間 30 分以上離れると対象から外れやすい。繁華街からのアクセスも重要。

⁴ リダンダンシーとは、予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化する、あるいは予備の手段を用意しておくことを示す。

- Convention/Conference の場合、全世界から参加者が集まるため、空港の近くに会場があることは有利に働く。一方、Exhibition は地域のビジネスマンの参加が大半であるため、空港アクセスはそこまで重要性されない。
- ユニークベニューについても、そこまでの所要時間が重要となる。アフターコンベンション施設は併設されている（歩いて行ける）ことが望ましく、併設されていない場合も 1 時間以上の移動は負担が大きい。
- 観光が出来ることは重要な要素で、特に海外からの参加者は家族で参加することが多いため、本人が楽しめる観光コンテンツに加え、家族で楽しめるものがどれだけ準備できるかが訴求ポイントとなる。特別感も重要であり、一般の人が見られないものを、会議参加者だけが見ることができるよう仕立てる対応力も求められる。観光の部分については、旅行会社と組むことが多い。
- 保税区域の強みを活かすのであれば、関税の高そうな物品を取り扱う業界を見つけて営業をかけていくと良いと思われる。
- 常設展示について、採算（獲得単価）の問題になるかと思うが、収益を上げる一つの材料として考えるのは良いかもしれない。以前、高級オーディオメーカーが常設展示に手ごたえを感じていた例はあった。
- MICE 利用者への交通割引サービスの例としては、交通系 IC カードにチャージしたものを参加者に配布する取り組みも行われている。また、夜食事に行く際の割引として、複数店舗まわったら割引を受けられる等、会場内外の周遊を促すものがあると参加者の満足度も上がる。
- ケータリングについて、ハラール等の食のバリアフリー化に関する対応は必須条件である。魅力付けの方策として、ご当地料理の提供が挙げられる。
- 主催者は費用を下げたいことと同時に、収入を上げたいと考えている。そのため、協賛金集めをしやすいような機能が必要（広告用の大型液晶ビジョンやポスター設置場所、協賛企業の出展スペース、バス内で参加者に流す広告映像の作成支援等）。
- ユニークな企画（三ツ星シェフが特別な場所で料理を提供など）を提案する DMO と連携を行っている。
- MICE 誘致のための組織体づくりをしっかりと行うことが重要であり、組織体は半官半民とすることが有効である。

1 国際観光都市に相応しい都市機能の検討結果と考察

1-1 国内外の参考となる事例の収集

(1) MICE の効果

- ・国内で開催された国際 MICE 全体による経済波及効果（平成 28 年開催分）は全体の総消費額が約 5,384 億円、経済波及効果は約 1 兆 590 億円であり、国際会議が占める割合が高い。
- ・例えば伊勢志摩サミットの開催による経済効果は合計で約 5,600 億円にのぼり、特に首脳級会議による地域への高い経済効果があることがわかった。従って、展示会にとどまらず国際会議を開催できる体制が、今後求められる。
- ・MICE 開催の効果には「ビジネス・イノベーションの機会の創造」も挙げられ、この点は特にモノづくり県である愛知県にとって重要と言える。MICE によって得られる「Aichi」の知名度・プレゼンス向上は、県内企業の海外進出や海外での販路開拓を後押しするものである。
- ・また、愛知県の観光消費額を、県内・県外・訪日外国人それぞれの訪問目的を観光・ビジネスに分類して算出したところ、図表 V-1 のとおり、ビジネス目的（宿泊）の訪日外国人消費額単価が最も高くなっている。愛知県の「モノづくり」県という「強み」を活かしていくことを考えれば、「ビジネス目的」「宿泊」「外国人」をターゲットとしていくことが重要となる。

図表 V-1 観光消費額単価（円／人回）

	観光目的		ビジネス目的	
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
県内	17,257	3,180	4,452	3,583
県外	24,803	4,336	22,864	5,152
訪日外国人	42,642	7,797	104,060	9,922

出典：愛知県 2018 年愛知県観光入込客統計

- ・MICE には地域の国際化、言語や商習慣などの多様性への対応力が必要となる。国際空港隣接立地という優位性を活かし、これらへの対応力を伸ばしていくことが、他地域と競合していく上で重要となる。

(2) MICE の事例

- ・海外の主な MICE 施設には、展示場や会議場、ホテルやショッピングモール等が併設されていることが多い。ホテルは会議等参加者の宿泊を提供するのみならず、アフターコンベンションの場としても、MICE の魅力向上に貢献している。
- ・国内の主な MICE 施設は会議場と展示場のみの複合施設が多く、エンターテインメントや商業施設といった機能は母都市に依存している事例が多い。海外の MICE 施設がハイクラスホテルやアフターコンベンションを内包している例と比べると、

MICE の機能面において多様性に欠けていると言える。

(3) 会議場の事例

- ・日本の国際会議の開催件数は世界で5番目に多い(2018年)。
- ・日本では参加者数500人未満の会議が多く、2,000人以上の会議は、2014年以降は200件前後で推移している。
- ・国際会議の開催場所別では神戸大学が最も多く(180件、2018年)、次いで京都大学、九州大学と続くが、1件あたりの平均参加者数はいずれも200人未満と小規模なものとなっている。東京、神戸、大阪、横浜などの会議場では、1件あたりの平均参加者数は2,000人~3,500人程度と大規模なものが多い。
- ・愛知県では国際会議の開催件数は増加傾向にあり、2014年は179件であったが、2018年には216件となった。なお、2018年に愛知県で開催された参加者総数1,000人以上の国際会議は13件が開催されたが、その内12件は名古屋市内で開催されていた。
- ・国際会議では通常、全体会議(プレナリー)と分科会(セッション)が開かれる。そのため全体会議用の最大会議室(国内の主な国際会議場の最大会議室は定員2,500人~5,000人程度)と、同数程度の人数が収容できる分科会用の中小会議室によって構成される国際会議場が多い。
- ・国際会議の開催には会議室以外にも通訳用ブース、プレスルームなどへの転用利用、電源等の確保などが必要となる。

(4) 展示場の事例

- ・欧米各国においては、GDPと展示場面積の相関性が高いことがわかった。日本は対GDPで展示場面積(規模)が小さいが、その理由としては、商習慣の違いや極東という地理的不利が関係していると思われる。
- ・各種データによる国際比較を行う場合、展示会と見本市に区別されるべきである。展示会を示すExhibitionはTrade Fair(BtoB show、見本市)とPublic Show(展示会)に区分され、見本市は業界関係者のみに公開される。
- ・海外、特にヨーロッパでは企業活動において見本市が重視されている(企業コミュニケーション(PR等)予算の占める割合が高いなど)。
- ・展示場ビジネスでは、欧州の中央に位置するドイツに代表される地理的優位性(交通便利)、見本市が同一都市で開催を繰り返す(恒例化する)ことなどによる先発国優位性が確認された。地理的に不利な、また後発の国や地域では、エクスカージョンやユニークベニューといった周辺環境のPRが誘致等において重要視されている。

(展示場の開催概要)

- ・世界全体での開催件数は約3万2,000件、来場者数は約3億人であり、出展者は約450万社となっている。またドイツを見ると展示会来訪者は年間約1,000万人、日

本は約 500 万人であった（2018 年実績）。

- ・国内展示場は東京ビッグサイトの約 11 万 5 千㎡が最大で、愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo) は 2020 年 3 月現在、国内 4 番目の規模を有している。
- ・展示会の質を規模に求める傾向が強く、国外では大規模化が進んでいる。ドイツや中国には展示面積が 40 万㎡を超えるものもあるが、中国を除くアジアではタイ、韓国、シンガポールで 10～13 万㎡が各国内での最大規模となっている。

(5)MICE 開催に使用されるホテルの事例

- ・国内外のハイクラスホテル（いわゆる 5 つ星など）客室数は 1,000 室を下回る規模であり、スイート設置率は約 10%であった。国内の大規模ホテルでは総じてスイートの割合は少ない傾向にある。
- ・国内ホテルの客室規模は、大規模ホテルで 10～25 ㎡程度、ハイクラスホテルで 50 ㎡程度であった。スイートは概ね 50～80 ㎡程度であった。
- ・海外のハイクラスホテルの最小客室面積は 23～50 ㎡程度、最小のスイートルームの面積は概ね 50～80 ㎡程度であった。
- ・ホテルは MICE のイメージを左右するものであり、収益力の点からも MICE の中核施設といえる。
- ・MICE において、ホテルは参加者の宿泊需要以外にも、商談や会議、レセプションといった機能をも担っており、スイートルームを有するハイクラスからビジネスクラスまでの幅広さが求められる。
- ・首脳級会議、閣僚級会議を行う場合、セキュリティ面でホテルには対応力が求められる。

1-2 中部国際空港やその周辺エリアに相応しい施設の具体的な種類や機能、主な施設仕様、運営条件等

これまでの事例調査の結果を踏まえて、中部国際空港やその周辺エリアに相応しい施設の具体的な種類や機能、主な施設仕様、運営条件等を以下にまとめた。

(1) 中部国際空港やその周辺エリアに相応しい施設の具体的な種類や機能

中部国際空港やその周辺エリアを国際観光都市に相応しいものとしていくには、会議場、展示施設や宿泊施設、商業施設の拡充がのぞまれる。

図表 V-2 国際観光都市に相応しい施設・機能

施設	機能				備考
	M eeting 企業会議、 研修会合等	I ncentive 報奨旅行、 研修旅行等	C onvention 国際会議	E xhibition 展示会、文化 イベント等	
会議施設	○		○	○	
展示施設			○	○	愛知県国際展示場 (Aichi Sky Expo)
宿泊施設	○	○	○		宿泊
商業施設		(○)			アフターコンベン ション機能

(2) 会議場の規模、仕様等

- ・全体会議（プレナリー）が行える大会議室と、分科会（セッション）用の中小会議室が必要となる。
- ・東京、神戸、大阪、横浜などの会議場での1件あたりの平均参加者数は、2,000人～3,500人程度であったことから、これらの都市と競合するためには、少なくとも大会議室・中小会議室それぞれ3,000人（合計6,000人）程度の規模が求められる。
- ・大会議室・中小会議室の何れも、国際機関、政府間、経済界、学術など様々な分野の国際会議等に対応できる機能（同時通訳など）が求められる。
- ・利用の汎用性を高めるため固定座席式ではなく、ポスターセッションなどにも利用できる平床式とすることが望ましい。
- ・中小会議室は利用人数に応じて規模を変える可変間仕切りが望ましい（例：20人室と20人室を1室化できるようにしておくことで、40人も対応可）。
- ・国際会議にふさわしい格調高いデザインが求められる。
- ・国際会議では晩餐会などにおける飲食サービスの提供も必要である。

(3) 展示場の仕様等

愛知県国際展示場は、現状日本で第4位の規模にあるが、空港島の土地利用状況や、潜在市場規模を考慮すると、今後拡充に向けた検討も期待される。

(4) ホテルの仕様等

- ・国際会議等の利用も想定し、諸外国のハイクラスのホテル（いわゆる5つ星など）と比べて、スイートルームの設置率や面積、設備、要人向けサービスにおいて見劣りしないことが必要となる。
- ・アフターコンベンションの提供も、MICEにおけるホテルの重要な機能の一つと考えられる。
- ・国際空港に隣接することから、国内外からの様々な訪問者や長期滞在者の利用も想定した仕様とすべきである。
- ・ハラルを始めとした、多様化されるサービス需要にも対応できるようにすべきである。
- ・“泊まること”そのものを目的としたニーズへの対応も求められる。

(5) アフターコンベンション(商業施設)の仕様等

- ・飲食や物販などの商業施設（ショッピングモール）も想定されるが、単なる商業施設に留まらず、MICE施設利用者（ビジネス客とその家族）の滞在環境や満足度を向上させる、多彩なエンターテインメント施設も必要となる。
- ・国際空港に隣接する立地であることから、国内外の様々な利用者を想定し、それらを意識したコンテンツ提供が必要となる。
- ・中部国際空港は24時間利用可能であることから、同様に24時間営業（あるいは深夜営業）への対応も検討される必要がある。
- ・屋外のオープンスペースがあり、空と海を感じさせる場所も併設されることが望ましい。
- ・施設の陳腐化が進まないよう、ニーズや流行の変化等を踏まえた追加投資が行えるような体制が求められる。

(6) 運営条件等

1)運営方式

- ・運営について民間のノウハウを十分に活用できるスキームとすることが望ましい。そのため、各施設については、民設民営とすることも含めて検討する。
- ・会議場、ホテル、アフターコンベンションについて同一の経営主体としたり、協議会等の組織化を図るなど各施設の連携を円滑に行えるような体制が求められる。

2)運営における配慮事項

①交通対策

MICE 施設を整備することにより、多くの利用が想定されるため、交通量の集中による混雑緩和を配慮し、以下のような取り組みを検討していく必要がある。

- ・ 区域内外での交通対策
- ・ 必要な駐車場の整備（空港利用に支障を出さない）
- ・ ストレスのない移動の確保
- ・ 従業員や納品を考慮した交通計画（通勤用の専用バス運行、納品時間帯の深夜指定等）
- ・ 主にエンターテインメント施設の開催時間帯への配慮（例えば、航空機発着が集中する時間帯を避けた開催時間、来訪者の電車での帰宅を加味した開催時間等）など

②危機管理・防災対策

空港島という立地特性に配慮し、災害対応等に向け、以下のような取り組みを検討していく必要がある。

- ・ 災害時等の避難計画
- ・ 帰宅困難者対策
- ・ 救急患者の搬送対応

③多様性への配慮

国際空港に隣接する立地であることから、国内外からの多様な利用者の訪問を想定し、それぞれのニーズに対応した「おもてなし」を提供できる運営とするよう、以下のような取り組みを検討していく必要がある。

- ・ ユニバーサルデザインによる施設整備
- ・ 多様な文化、宗教、習慣への配慮
- ・ フェアトレード など

④その他

再生可能エネルギーの活用、廃棄物抑制や地域循環圏の形成など、環境負荷の低減に向け取り組む必要がある。

1-3 今後の検討課題

(1) MICE 機能の拡充に向けて

中部国際空港やその周辺エリアにおける強みは以下のとおりである。

- ・ 空港隣接立地特性：言語や商習慣、ビジネスマナー、文化の違いといった多様性への対応力を培う土壌がある。
- ・ 国内唯一の保税展示場である愛知県国際展示場を有する。

一方で、国内外の主要な MICE 施設の事例と空港島を比較すると、現状は下表のとおり、展示場以外の機能・施設が質・量共に不足している。

図表 V-3 主要 MICE 施設が備える機能例と空港島との比較

施設名	事例	空港島（現状）
会議場	3,000人以上の大規模会議場 一般的な会議から首脳級・閣僚級会合まで対応可能な多様な会議室 20~40 室	— (愛知県国際展示場等の会議室)
展示面積	5~10ha	6ha
宿泊施設	ハイクラス~ビジネスクラス 2,000~3,000 室 スイート：70 m ² 50 室程度 ビジネス：30 m ²	主にビジネスタイプ（シングルルーム）を中心に 約 3,500 室
アフター コンベンション	ショッピングモール、水族館、 劇場など	空港近接の商業施設 (FLIGHT OF DREAMS 等)

(2) MICE ビジネスにおける課題

愛知県国際展示場は主に B to B（企業同士の商談）の場として、対象は海外企業や、海外と取引を行う国内企業が対象として想定されるが、海外型の展示場運営（商談中心）を行うためには、国内の展示場との違いを鮮明にし、海外企業の商習慣に対応していくための運営戦略について検討を深めていくことが課題と考える。

また、閣僚級会合などのハイレベルな国際会議に対応可能な会議場やスイートルームを備えた高級ホテル、多様な客層に対応できるエンターテインメント施設が不足しており、それら機能の整備についても検討が必要である。

(3) 事業実施に向けた課題

空港島の現状を見ると、展示場以外の MICE 機能が不足していることに加え、大都市のようなエンターテインメント機能を持つ周辺環境も無い。このため、持続可能な MICE 事業を運営していくためには、Aichi Sky Expo に加え、ハイレベルな国際会議に対応可能な会議場、宿泊施設、そしてアフターコンベンションを提供するエンターテインメント施設等を一体的に整備していく必要がある。

加えて民間事業者へのヒアリングにおいては「会議場、展示場、ホテル、エンターテインメント施設を一体的に整備することで、MICE 施設の機能が最大限発揮される。特にビジネス客から家族連れの訪問客まで幅広く惹き付ける、エンターテインメント機能が MICE には欠かせない」との声も聞かれた。

しかしながら、これら施設の一体的整備、またその後の運営においては多額の初期投資費用や維持管理費が必要となってくるため、その採算性を見極めていくことが今後の主要な課題といえる。

2 空港を起点とした周遊観光の検討

2-1 周遊観光の拠点として必要な機能の整理

中部国際空港を拠点として、MICE 来訪者の愛知県ならびに近隣地域への周遊観光を促進していくために、必要な4つの機能について以下に整理した。

■観光案内機能

・利用者の関心等に応じ、旅行計画を提案し、必要なサービスの手配をワンストップで実施。

■多言語対応機能

・英語を含め複数の外国語（対面、表示等）で提供。

■情報提供機能

・多数の来訪客に対応できる情報提供・接客や待合のスペースを具備。

■観光コンテンツ表示機能

・日本各地の観光の魅力や旅行者に必要な情報を、VR等の最先端技術等を活用し、効果的・適切な方法で発信。

これらの機能を拡充するために、空港島および周辺地域において、どのような施設を整備し、機能を具備していくか、様々な業態の事業者の意見も取り入れながら、引き続き検討をしていく必要がある。

2-2 立地特性を活かした観光資源との連携

前述の通り、中部国際空港周辺は、武将観光や産業観光などの様々な観光資源を有するとともに、中央日本エリア9県を繋ぐ広域観光ルート「昇龍道」の起点ともなっている。

中部国際空港を拠点として、愛知県、近隣地域の様々な観光地や観光スポットは高速交通ネットワークで結ばれており、航空機を使用すれば、就航先の都市も含めた、広域的な観光地にアクセスが可能である。また、空港機能を最大限活用すれば、主に富裕層のプライベートジェット、チャーターヘリ等での自由な国内移動も可能となる。

国内外から選ばれる MICE 地域となるため、空港が隣接した国内随一の立地特性を活かし、MICE 来訪客向けに豊富なエクスカージョンを提供することで、国内外の他地域には無い強みを発揮していく必要がある。

3 民間事業者等へのヒアリングの実施

本調査事業では、観光関連事業者や MICE 分野に知見を有する事業者、団体等へのヒアリングを行い、得られた知見をもとに、今後検討していくべき視点を整理した。

■観光に関する視点

- 空港隣接立地という、アクセス面での強みを最大限活用すべきである。
- 愛知県に留まらない、周辺地域も含めた広域的な観光資源を後背圏に有するとともに、モノづくり産業の集積地としての、当地域ならではの観光資源を有する。これらを積極的にPRしていくべきである。
- MICE 来訪者が、通常行きにくい場所でも、ダイレクトにアクセス出来る交通手段を整備することが効果的。
- 多彩なイベントや魅力的なショッピングモール、エンターテインメント、日本の文化に触れられる機会を設け、賑わい空間を創出する必要がある。

■地域振興の視点

- 中部国際空港の MICE 拠点において、地場の産品やコンテンツを紹介し、購入に繋げるとともに、地域資源を活用したユニークベニューにより、MICE 拠点を核として、周辺地域に経済循環をもたらす仕組みを構築していく必要がある。
- 周辺地域の人々も楽しむことの出来るよう、快適な公共エリアや屋外ショー、オープンスペースにより、子供連れの家族、若者から高齢者までが気軽に集える、憩いの場を提供していく必要がある。

■アクセスに関する視点

- MICE 機会の増加は、交通機関の混雑を招く事から、人流のマネジメントを、周辺地域の主体が連携し、総合的に実施していく必要がある。
- 将来的には、観光 MaaS 等の新たな仕組みを導入し、利用者の利便性を高め、周辺地域への来訪を活性化していく事が有効である。

■MICE 施設の機能に関する視点

- 国際展示場と国際会議場には呼び込める MICE の種類が異なり、それぞれの機能強化が必要である。特に、大規模な国際会議を誘致するためには、宿泊施設の充実とともに、国際会議に付随する展示スペースが必要となる。
- 大規模な国際会議の場合は、家族同伴で訪れるケースがあり、家族も長期間くつろぐことが出来る施設や、魅力的で満足度の高い観光コンテンツを具備していくことも重要な要素となる。また、MICE 参加者に対し、周辺地域に観光に出かけてもらうための環境整備やフリーパス等のインセンティブも必要となる。
- Aichi Sky Expo の特徴の一つである保税展示場の強みを活かした展示会の誘致を進めて行く必要がある。

■次世代型の国際観光都市のあり方

- 空港島を中心に、自動運転、ロボット、AI 等を活用した最先端技術・サービスを積極的に導入し、人やモノの移動に伴う交通渋滞や混雑の緩和、空港利用者や地域住民の利便性向上等に取り組むスーパーシティ構想の実現に向け、様々な分野の最先端技術・サービスを結集させることで、世界の先駆けとなる「未来都市」のショーケースを実現することが求められている。

- 最先端技術・サービスの実証実験の場とし、観光面だけでなく、産業科学技術面での公益性を図っていく必要がある。
- IT、サービス、観光など、バリエーションに富んだビジネスチャンスによって、大手企業のみならず、中小企業から、スタートアップまで様々な企業のビジネス参画が促され、多種多様な雇用の創出、旺盛な起業意欲の促進へと繋げていくことが求められている。